

報告第 30 号

公益財団法人大田区文化振興協会の経営状況に関する書類の提出について
地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき、公
益財団法人大田区文化振興協会の下記の書類を提出する。

令和 8 年 6 月 16 日

提出者 大田区長 鈴木 晶 雅

記

公益財団法人大田区文化振興協会の経営状況に関する書類

- 1 令和 7 年度事業報告書
- 2 令和 7 年度決算書
- 3 令和 8 年度事業計画書
- 4 令和 8 年度予算書

**令和7年度
(2025年度)**

事業報告書

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日



公益財団法人 大田区文化振興協会

目 次

- 1 令和7年度事業報告の概要・・・・・・・・・・ 1

- 2 事業一覧・・・・・・・・・・ 2～27
 - (1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業【定款第4条第1号】
 - (2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業【定款第4条第2号】
 - (3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業【定款第4条第3号】
 - (4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業【定款第4条第4号】
 - (5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業【定款第4条第5号】
 - (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業【定款第4条第6号】

- 3 定款第4条第1号～6号の事業の経費内訳・・・・・・・・・・ 27

- 4 理事会及び評議員会に関する事項・・・・・・・・・・ 28～30
 - (1) 役員等に関する事項
 - (2) 役員会等に関する事項

- 5 附属明細書・・・・・・・・・・ 30

1 令和7年度事業報告の概要

令和7年度は、文化芸術を通じた地域のにぎわい創出と区民サービスの向上を柱に、各施設の魅力向上、事業の充実、情報発信の強化に取り組んだ一年となりました。

大田区民プラザでは、世界最高峰のスタインウェイピアノを活用した区民参加型事業を実施し、演奏機会の創出を図りました。また、舞台裏見学など新たな体験型事業を展開し、施設の魅力発信と利用促進に努めました。定期公演「下丸子 JAZZ 倶楽部」「下丸子らくご倶楽部」は引き続き高い支持を集め、地域に根差した文化拠点としての役割を果たしました。

大田区民ホール・アプリコでは、大ホールに新設した高輝度プロジェクターの活用促進に向け、見学会やホームページ、デジタルサイネージ等を活用した広報を実施しました。また、こども向け「バックステージツアー」やジャズシリーズ「KAMATA JAZZ」など多彩な事業を展開し、蒲田から新たな文化発信を行いました。

大田文化の森では、ホール棟の特定天井改修その他工事が完了し、7月から利用を再開しました。休館期間中には、耐震化に加え、舞台設備・空調・外壁の改修や Wi-Fi、映像配信設備の整備を行い、安全性と利便性の向上を図りました。再開にあたっては、リニューアル記念事業として伝統芸能公演を開催し、多世代が文化芸術に親しむ機会を提供しました。

文化資源の活用では、龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館において、魅力ある展示や講座、ワークショップ等を実施し、多くの区民に地域の貴重な文化財産に触れる機会を提供しました。特に龍子記念館では、川端龍子生誕 140 年記念特別展を開催し、区内外へ広く魅力を発信しました。

本年度より管理運営を開始した馬込アートギャラリーでは、施設の維持管理といったハード面と、寄贈絵画の保管・展示というソフト面の両面において、当協会のノウハウを最大限に活用して円滑な開館準備を進め、令和8年2月1日開館となりました。

主催事業においては、大田区民プラザの定期公演（下丸子 JAZZ 倶楽部・下丸子らくご倶楽部）にて飲食を交えた「倶楽部」らしい空間演出を行うとともに、日本の伝統芸能の発信に努めました。

展示・普及事業においても、区民の誰もが身近に文化芸術に触れることができるよう、無料や低料金で楽しめる展示、アートワークショップを行いました。区民への効果的な PR を図るため、協会が実施する事業を掲載した情報誌の作成や区内の文化・芸術情報を集めた情報紙の作成、また各種 SNS を含めたメディアを活用した情報発信を行いました。

今後も、「文化振興を通じて人の価値を高め、社会のつながりを強め、地域の魅力を創出する」というミッションのもと、区との連携を密にしながら、職員一丸となって区民に親しまれる文化振興事業に取り組んでまいります。

2 事業一覧

(1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業【定款第4条第1号】

大田区民プラザでは、32年目を迎えた定期公演「下丸子 JAZZ 倶楽部」「下丸子らくご倶楽部」で、飲食をしながら公演が楽しめる空間演出を提供いたしました。また、「和っく和っくな学び舎」など伝統文化の継承に寄与するとともに、街とつながる事業を展開し、文化拠点としての役割を強化いたしました。

大田区民ホール・アプリコでは、若手育成事業を午後の優雅な音楽シリーズへと一新し、さらに「KAMATA JAZZ/KAMATA JAZZ LAB」を始動させるなど、蒲田からの新たな文化発信を行いました。

大田文化の森では、リニューアル記念公演として開催した「お囃の森 講談と薩摩琵琶できく怪談～小泉八雲の世界」、大森地区の新たな定期公演として「大森らくご倶楽部」を開始いたしました。

OTA アート・プロジェクトでは、「馬込文士村」を軸に演劇やトークイベント、ブックフェア等を実施し、地域の歴史的魅力の再発見と発信に努めました。また、専門家によるトークイベントを通じて「大田区におけるアートの可能性」を模索し、地域社会との接続を図りました。

アウトリーチ事業としては、アーティストを学校や福祉施設へ派遣し、次世代を担う子どもたちや地域住民が本物の文化芸術に触れる機会を積極的に提供いたしました。

また、経営努力として各種助成金の獲得に努め、公費負担の削減にも配慮しております。

文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業の延べ数
来場者延べ人数 39,873 人
事業数 91
(内訳) 音楽 43、伝統芸能 6、演芸 13、演劇 2、美術 13、その他 14

大田区民プラザ

①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数	来場者数	達成率
下丸子JAZZ倶楽部 「NORASpecialLatinUnit」	4月17日	小ホール	音楽	157人	176人	112%
下丸子JAZZ倶楽部 「白石幸司&SwinginBuddies」	5月15日	小ホール	音楽	157人	149人	95%
下丸子JAZZ倶楽部 「森村献弦楽四重奏とラテンのタベ」	7月17日	小ホール	音楽	157人	171人	109%
下丸子JAZZ倶楽部 「伊藤君子が唄う “TheWayWeWere”」	11月20日	小ホール	音楽	157人	147人	94%
下丸子JAZZ倶楽部 「CrystalJazzLatinowith 赤木りえ」	1月15日	小ホール	音楽	157人	118人	75%
下丸子JAZZ倶楽部 「WatusiImprovisczario」	3月19日	小ホール	音楽	157人	102人	65%
下丸子らくご倶楽部 彦いち、白酒、古今亭菊之丞	4月25日	小ホール	演芸	176人	215人	122%
下丸子らくご倶楽部 彦いち、志ら乃、馬るこ、橘家文蔵	5月23日	小ホール	演芸	176人	174人	99%
下丸子らくご倶楽部 彦いち、白酒、志ら乃、松元ヒロ	6月27日	小ホール	演芸	176人	206人	117%
下丸子らくご倶楽部 志ら乃、馬るこ、柳家三三	7月25日	小ホール	演芸	176人	206人	117%
下丸子らくご倶楽部 志ら乃、馬るこ、柳家花緑	8月22日	小ホール	演芸	176人	181人	103%
下丸子らくご倶楽部 彦いち、白酒、立川談笑	10月24日	小ホール	演芸	176人	210人	119%
下丸子らくご倶楽部 白酒、志ら乃、馬るこ、ロケット団	11月28日	小ホール	演芸	176人	211人	120%
下丸子らくご倶楽部 白酒、志ら乃、馬るこ、三遊亭兼好	2月27日	小ホール	演芸	176人	212人	120%
下丸子らくご倶楽部 彦いち、白酒、志ら乃、馬るこ	3月27日	大ホール	演芸	176人	289人	164%
世界は音楽でつながっているアフリカ に触れる1日～ジャンベ（アフリカの 太鼓）ワークショップ	8月9日	小ホール	音楽	40人	50人	125%
世界は音楽でつながっているアフリカ に触れる1日～アフリカダンスワー クショップ	8月9日	小ホール	音楽	40人	26人	65%

世界は音楽でつながっているアフリカに触れる1日～こどもも大人もはじめてのアフリカンライブ	8月9日	小ホール	音楽	100人	113人	113%
下丸子 JAZZ 倶楽部 Happy Birthday CONCERT 「令和のラテンとジャズ～JAPANESE ラテンジャズの未来～」	9月27日	大ホール	音楽	425人	289人	68%
人形浄瑠璃文楽①義経千本桜、新版歌 祭文	11月14日	大ホール	伝統芸能	377人	482人	128%
人形浄瑠璃文楽②曾根崎心中	11月14日	大ホール	伝統芸能	377人	472人	125%
第91回新春ブラザ寄席① 林家正蔵、柳亭市馬、立川志らく、柳 家花緑	1月5日	大ホール	演芸	484人	487人	101%
第91回新春ブラザ寄席② 柳家喬太郎、立川談笑、柳家三三、春 風亭一之輔	1月6日	大ホール	演芸	484人	496人	102%

②普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数	来場者数	達成率
和つく和つくな学び舎（おおた和の祭典）《日本文化にふれる》小鼓	9月	第1音楽 スタジオ他	伝統芸能	20人	25人	125%
和つく和つくな学び舎（おおた和の祭典）《日本文化にふれる》日本舞踊	10月～11月	小ホール他	伝統芸能	20人	18人	90%
和つく和つくな学び舎（おおた和の祭典）《日本文化にふれる》茶道	12月～3月	和室	伝統芸能	16人	16人 (来場者85人)	100%
ピアノと砂のファンタジー「星の王子さま」公演関連ワークショップ「サンドアート」	8月7日	小ホール	音楽	60組	32組	53%
初めての日本画講座（秋）	10月～11月	会議室	美術	20人	20人	100%
フレッシュ名曲コンサートキャンペーン読響×アプリコ望郷の「新世界」	11月4日	大ホール	音楽	300人	77人	26%
文楽入門講座	11月14日	小ホール	伝統芸能	50人	79人	158%
アート・サロン	2月28日 3月4日	アプリコ	その他	30人	12人	40%

大田区民ホール・アプリコ

①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数	来場者数	達成率
本と音楽の素敵な出会いザ・家康・クラシック～江戸はおもしろい！邦楽と西洋音楽の魅力に迫る！！～	7月23日	大ホール	音楽	637人	348人	55%
(共同主催事業)和太鼓東京打撃団30周年記念公演	7月26日	大ホール	音楽	630人	574人	91%
(共同主催事業)しまじろうコンサート「しまじろうのミュージックアドベンチャー」①13:30開演	8月23日	大ホール	音楽	1,172人	1,226人	105%
(共同主催事業)しまじろうコンサート「しまじろうのミュージックアドベンチャー」②17:00開演	8月23日	大ホール	音楽	1,172人	1,144人	98%
(共同主催事業)しまじろうコンサート「しまじろうのミュージックアドベンチャー」③10:30開演	8月24日	大ホール	音楽	1,172人	1,271人	108%
(共同主催事業)しまじろうコンサート「しまじろうのミュージックアドベンチャー」④14:00開演	8月24日	大ホール	音楽	1,172人	1,240人	106%
(共同主催事業)しまじろうコンサート「しまじろうのミュージックアドベンチャー」⑤17:30開演	8月24日	大ホール	音楽	1,172人	751人	64%
ピアノと砂のファンタジー「星の王子さま」	10月4日	大ホール	音楽	715人	369人	52%
KAMATAJAZZLAB MartyHoloubek & Friends	10月10日	小ホール	音楽	113人	131人	116%
KAMATAJAZZLAB 大林武司 & 馬場智章	11月13日	小ホール	音楽	113人	143人	127%
KAMATAJAZZLAB カフカ軒	12月19日	小ホール	音楽	113人	120人	106%
(共同主催事業)東京混声合唱団アフタヌーン・コンサート at アプリコ	10月17日	大ホール	音楽	610人	358人	59%
東京六人組 10th Anniversary Concert	11月24日	大ホール	音楽	637人	383人	60%
アプリコ・クリスマス・フェスティバル 2025 ドロツセルマイヤー博士とくみ割り人形	12月13日	大ホール	音楽	975人	728人	75%

～アプリコ平日午後のひととき～アプリコうたのアフタヌーンコンサート Vol.7 岩谷香菜子、曾部遼平、木邨清華	1月16日	大ホール	音楽	488人	182人	37%
～アプリコ平日午後のひととき～アプリコうたのアフタヌーンコンサート Vol.8 竹村真美、塚本正美、木邨清華	3月18日	大ホール	音楽	488人	219人	45%
～アプリコ平日午後のひととき～アプリコお昼のピアノコンサート VOL.77 太田沙耶	1月19日	大ホール	音楽	390人	207人	53%
～アプリコ平日午後のひととき～アプリコお昼のピアノコンサート VOL.78 渡邊伽音	2月13日	大ホール	音楽	390人	348人	89%
～アプリコ平日午後のひととき～アプリコお昼のピアノコンサート VOL.79 鈴木美穂	3月24日	大ホール	音楽	390人	267人	68%
KAMATAJAZZ BanksiaTrio、菊地成孔クインテット	1月24日	大ホール	音楽	900人	701人	78%
フレッシュ名曲コンサート読響×アプリコ望郷の「新世界」	1月31日	大ホール	音楽	967人	1,388人	144%
(共同主催事業) 八神純子キミの街へ2026～ Sharethemomentwithyou～	2月7日	大ホール	音楽	912人	1,319人	145%
アプリコはじめのいっぽ♪コンサート2026 ようこそ♪矢部達哉のミュージックルームへ Vol.1	2月28日	大ホール	音楽	637人	432人	68%
大田区 JHS ウインドオーケストラ春風コンサート	3月8日	大ホール	音楽	500人	587人	117%
(共同主催事業) 中村勘九郎中村七之助春暁歌舞伎特別公演2026(2回公演)	3月13日	大ホール	伝統芸能	2,200人	2,771人	126%

②展示事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数	来場者数	達成率
アプリコ・アートギャラリー 第1期「朝の静けさ」	7月29日 ～9月28日	地下1階	美術	-	-	-
アプリコ・アートギャラリー 第2期「夕暮れの空」	9月30日 ～12月25日	地下1階	美術	-	-	-

アプリコ・アートギャラリー 第3期「月明り、そして夜明け」	12月27日 ～3月24日	地下1階	美術	-	-	-
第38回大田区在住作家美術展	10月30日 ～11月6日	展示室	美術	3,000人	2,980人	99%

③普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数	来場者数	達成率
夏休みアート・プログラム 「まほうのたまごを作ろう!!」	7月25・ 26日	アプリコ 展示室	美術	30人	37人	123%
OTA オペラプロジェクトこどもオペラ 体験ワークショップオペラ de あそぼう♪	8月2日	大ホール	音楽	60人	36人	60%
和つく和つくな学び舎（おおた和の祭典）《日本文化にふれる》和太鼓①親子で一緒に楽しむ和太鼓	9月～10月	Aスタジオ	伝統芸能	8組	7組	88%
和つく和つくな学び舎（おおた和の祭典）《日本文化にふれる》和太鼓②みんなで楽しむ和太鼓	9月～10月	Aスタジオ	伝統芸能	16人	12人	75%
大田区文化振興協会フレンドシップアーティスト2026年度出演者オーディション	9月～11月	大ホール	音楽	7人	7人	100%
大田区 JHS ウィンドオーケストラ 合同練習	11月～3月	区内中学校	音楽	45人	70人	156%

大田文化の森

①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数	来場者数	達成率
大森らくご倶楽部 彦いち、白酒、馬るこ、モロ師岡、立川らく兵	9月26日	ホール	演芸	196人	177人	90%
大森らくご倶楽部 彦いち、志ら乃、馬るこ、柳貴家雪之介、柳家緑太	1月23日	ホール	演芸	196人	104人	53%
お囃の森 講談と薩摩琵琶できく怪談～ 小泉八雲の世界～①小泉八雲特集	7月6日	ホール	伝統芸能	178人	219人	123%
お囃の森 講談と薩摩琵琶できく怪談～ 小泉八雲の世界～②大人の怪談囃	7月6日	ホール	伝統芸能	178人	190人	107%
OTA アート・プロジェクト馬込文士村演劇祭2025～ものがたりの世界にふれよう～	12月20日 ・21日	ホール他	演劇他	500人	842人	168%

②普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数	来場者数	達成率
初めての日本画講座（春）	5月～6月	集会室	美術	20人	21人	105%

その他

①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数	来場者数	達成率
世界は音楽でつながっているアフリカに触れる1日お寺で楽しむアフリカ音楽①	6月22日	池上養源寺	音楽	90人	133人	148%
世界は音楽でつながっているアフリカに触れる1日お寺で楽しむアフリカ音楽②	6月22日	池上養源寺	音楽	90人	132人	147%
世界は音楽でつながっているアフリカに触れる1日打楽器奏者・岩原大輔さんとつくる「音楽の図鑑」ワークショップ	7月13日	くりらぼ 多摩川	音楽	20人	20人	100%

②普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数	来場者数	達成率
大田区学校出張講座 ラテンジャズ	6月20日	六郷小学校	音楽	10校	332人	-
大田区学校出張講座 狂言	7月9日	千鳥小学校	伝統芸能		61人	-
大田区学校出張講座 弦楽カルテット	7月15日	大森第一中学校	音楽		200人	-
大田区学校出張講座 狂言	10月3日	道塚小学校	伝統芸能		84人	-
大田区学校出張講座 弦楽カルテット	10月9日	多摩川小学校	音楽		575人	-
大田区学校出張講座 狂言	10月15日	入新井第四小学校	伝統芸能		60人	-
大田区学校出張講座 狂言	10月28日	松仙小学校	伝統芸能		260人	-
大田区学校出張講座 演劇	11月21日	六郷中学校	演劇		130人	-
大田区学校出張講座 演劇	12月2日	大森第四小学校	演劇		140人	-
大田区学校出張講座 弦楽カルテット	12月22日	徳持小学校	音楽		630人	-
福祉施設訪問事業（音楽）	2月15日	特別養護老人ホーム好日苑	音楽	1施設	50人	-

福祉施設訪問事業（音楽）	2月21日	大田翔裕園	音楽	1施設	50人	-
地域連携事業 しもまるこアフリカ横丁	8月9日	下丸子駅周辺	音楽	-	500人	-
地域連携事業 おいしい道 2025	10月24日 ～26日	さかさ川通り	その他	-	7,500人	-
福祉施設訪問事業（美術）	12月1日	大田生活実習所	美術	-	-	-
福祉施設訪問事業（美術）	12月9日	のぞみ園	美術	-	-	-
OTAアート・プロジェクト トークイベント 「大田区におけるアートの可能性-アートとつながる福祉・産業・まちづくり-」	3月20日	アプリコ 展示室	美術	60人	52人	87%

（２）文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業【定款第4条第2号】

①文化芸術活動支援事業

大田区で文化芸術活動を行う団体等の活動を助成、支援しました。

事業名	実施時期	会場	団体	来場者数
【後援】日中楊貴妃の宴演～京劇・崑劇・日本舞踊の楊貴妃たち（3公演）	4月16日・17日	プラザ 大ホール	大田区日本舞踊連盟	458人
【後援】大田区在住作家展第7回初夏の小品展	5月18日～5月22日	プラザ 展示室	大田区美術家協会	443人
【後援】楽しく体験・演奏のできる和ごとふれあいコンサート（第5弾）	6月15日～7月6日	高橋舞台	和ごと株式会社	参加者 49人 来場者 15人
【協賛】 FetedeMusiqueauJapon 音楽の祭日 2025	6月12日～22日	都内	音楽の祭日 2025 実行委員会	8,000人
【後援】民謡民舞大田区連合大会	6月28日	プラザ 大ホール	公益財団法人日本民謡協会大田区連合委員会	150人
【共催】コーラスフェスティバル 2025	7月5日	アプリコ 大ホール	大田区合唱連盟	1,324人
【共催】舞響詩「田園」～踊る、鳴らす、詩（うた）う～ダ ンスワークショップ	8月7日～11月15日	アプリコA スタジオ他	公益財団法人東京都歴史文化財団東京文化会館	6人
【協賛】しもまるこアフリカ横丁～ダニエルを探せ～	8月9日	下丸子駅 周辺	シン・しもまるこプロジェクト実行委員会	500人
【協賛】大田区邦楽連盟 第32回輪の會	9月15日	プラザ 大ホール	大田区邦楽連盟	243人

【共催】第35回大田区絵画学習グループ展	9月18日～22日	プラザ 展示室	大田区絵画学習グループ連絡協議会	624人
【協賛】おおたオープンファクトリー2025	10月19日～10月25日、11月29日	アプリコ他	おおたオープンファクトリー実行委員会	3,900人
【共催】大田区太鼓連盟「和太鼓大元組25周年コンサート」	10月26日	アプリコ 大ホール	大田区太鼓連盟	1,058人
【共催】大田区アマチュアオーケストラの祭典2025（2回公演）	11月1日	アプリコ 大ホール	大田区アマチュアオーケストラの祭典実行委員会	1,881人
【共催】大田区日本舞踊連盟第41回舞踊会	11月9日	プラザ 大ホール	大田区日本舞踊連盟	386人
【後援】「馬込文士村演劇祭2025～ものがたりの世界にふれよう～連携企画馬込文士村散策～浜田広介と同時代をすごした文士達の足跡を辿って～」	12月20日～21日	大森周辺	馬込文士村ガイドの会	28人
【共催】第59回東方展	2月6日～10日	アプリコ 展示室	東方美術協会	383人
【共催】大田区華道茶道文化協会華道展	3月14日・15日	プラザ 小ホール	大田区華道茶道文化協会	332人
【共催】大田区書道連盟会員書展	3月13日～15日	プラザ 展示室	大田区書道連盟	477人

②公演サポーター事業

公演準備やお客様のご案内等の制作過程に携わることで、共に公演をつくりあげる楽しさを経験していただくことを目的に、公募により通年で募集し活動を行いました。

- ◆ 3月31日現在の登録者数 30人
- ◆ 参加事業数 45事業
- ◆ 参加人数延べ 321人

③大田文化の森活動支援事業

大田文化の森は、区民の主体的な文化活動を支援し、交流の輪を広げることを目的に設置されました。区民自らが中心となって事業運営を行う任意団体として、大田文化の森運営協議会が各種の企画事業等を実施し活発に活動しました。協会は、運営協議会の支援を通じて、地域の区民の文化芸術活動を支えました。

- ◆ 助成額 19,870,000円
- ◆ 支出額 17,060,000円

④洗足池春宵の響

大田区が実施する事業において、日本工学院専門学校からの司会進行役の選出や台本の制作等を担い、文化政策に寄与しました。

⑤大田区平和都市宣言記念事業

大田区が主催する「平和記念式典」と「平和祈念花火」に協力しました。

- ◆前年度繰越金（令和7年3月31日時点残高）382,220円
- ◆令和7年度収入（寄附金、大田区負担金等）11,858,804円
- ◆令和7年度支出（花火製作費等）10,648,259円
- ◆大田区返納1,592,765円
- ◆次回繰越金0円

（3）文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業【定款第4条第3号】

区民の貴重な文化芸術資源である龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館の収蔵作品・収蔵資料等の調査研究と適切な修復を行い、文化資源の良好な保管・展示の充実のための環境整備を進めました。また、収蔵作品等のアーカイブ化を進め、効果的な活用を行いました。

各記念館の展示においては、見やすく、親しみがもてるようなテーマを設定する等、魅力ある展示企画を実施することで、より多くの区民に大田区の貴重な文化財産に親しんでいただきました。また、他の美術館等との交流を深め、収蔵作品を有効に活用しました。

龍子記念館では、川端龍子の生誕140年を記念した特別展「川合玉堂と川端龍子」を10月から11月に開催し、近代日本美術の魅力を紹介することで、龍子記念館の周知を図るとともに、川端龍子の再評価を促しました。また、地域と連携して、美術館コンサートやジャズライブ、関連講演会、研究会、ワークショップ等を実施することにより、日本美術への関心を高め、理解を深める機会を提供し、幅広い層の来館者に向けて知名度向上に取り組みました。

熊谷恒子記念館では、年3回「かなの美展」を開催し、令和8年2月から3月まで伝統工芸士・町田久美子氏とのコラボレーション展示の他、期間限定で庭園公開等を併催し、より多くの区民に鑑賞いただきました。また、馬込アートギャラリーに常設展示コーナーを新設し、回遊性の向上に取り組みました。

各記念館では展示会や関連事業等のSNSによる発信とともに、各種ワークショップ、展覧会の会期中のギャラリートーク・講演会等を開催し、多くの区民に楽しんでいただく取組を実施しました。また、区民に日本画や、かな書等への興味と各記念館に対する理解を深めていただけるよう、龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館の学芸員による連続講座を実施するとともに、調査・研究の成果を記念館ノートとして発行しました。

なお、令和6年3月に龍子記念館および龍子公園内の旧川端龍子邸、画室が国の登録有形文化財（建造物）に登録されました。これを受け、区に対し文化財となった建造物の有効な活用方法について提案をしつつ、文化財の保存活用計画の策定を進めています。また、龍子記念館の所蔵作品や資料のデジタル化を継続的に行い、資料目録として体系化を進めました。

馬込アートギャラリーは、令和8年2月1日に開館しました。施設の維持管理、保守メンテナンスのハード面、寄贈絵画等の保管、展示などのソフト面、両面において当協会のノウハウを活かし、円滑かつ確実に業務を遂行することで区民の文化芸術の向上及び心豊かな生活の実現に向けて取り組みました。

同ギャラリーでの区民寄贈絵画等の展示では、区民が身近に絵画等を感じていただけるような鑑賞環境づくりとして、令和8年2月1日からMAG展「地域の絵画を掘り起こす/読み替える」を開催しました。3月には、地域ゆかりの若手アーティストである婦木加奈子を講師に迎え、こども向けワークショップを実施し、こどもたちの作品や成果レポートを館のロビーに展示しました。

これからも、こどもや若者が楽しめるワークショップ等を実施することで、アートに触れ、学び、楽しむ施設として文化芸術の振興に取り組みます。あわせて、バリアフリー化が困難な熊谷恒子記念館の作品等を多くの方にご覧いただけるように常設展示するとともに、熊谷恒子の活動を紹介していきます。

龍子記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	達成率
名作展「川端龍子の描き出した世界生誕140年を迎えて」	3月29日～6月22日 ※計画数は4月1日から	龍子記念館	3,000人	4,145人	138%
名作展「時局と画家川端龍子の1930～40年代」	7月12日～9月21日	龍子記念館	2,000人	2,373人	119%
東京文化財ウィーク2025公開事業龍子公園の特別公開	10月25日・26日 11月1日～3日	龍子公園	1,000人	925人	93%
川端龍子生誕140年特別展「川合玉堂と川端龍子」	10月11日～11月9日	龍子記念館	3,000人	4,015人	134%
名作展「名作展源流へのまなざしモチーフで見る川端龍子」	12月6日～3月8日	龍子記念館	2,000人	3,246人	162%
名作展「絢爛と健剛川端龍子の作品における装飾性」 併催：町立湯河原美術館収蔵平松礼二作品展	3月28日～6月7日 ※計画数は3月31日まで	龍子記念館	120人	320人	267%

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	達成率
ギャラリートーク（一般対象）	月1回	龍子記念館	360人	430人	119%
ギャラリートーク（小・中学生対象）	8月	龍子記念館	50人	111人	222%
ワークショップ（小学生対象）	8月、3月	龍子記念館	30人	23人	77%
対話型鑑賞プログラム（一般対象）	6月、8月、9月 10月、12月、1月 2月、3月	龍子記念館	45人	129人	287%
記念館講座	2月21日	大田文化の森	70人	91人	130%
図書館との連携講座	9月、2月	大森東図書館 馬込図書館	40人	42人	105%
記念館ノート発行	3月	-	-	-	-
地域連携・美術館コンサート/ ジャズライブ	5月、8月	龍子記念館	80人	134人	168%
展示作品等のYouTubeでの発信	通年	-	10,000閲覧	16,975閲覧	170%
地域連携・講演会（通常展・特別展）	7月、10月	大田文化の森	120人	150人	125%
地域連携・アート研究会	5月～10月（5回）	ギャラリー 南製作所	40人	57人	143%

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	達成率
作品貸出（石川県立美術館・1点）	7月	-	-	-	-
作品貸出（島根県立美術館・資料含む106点）	7月	-	-	-	-
作品貸出（碧南市立藤井達吉現代美術館・資料含む106点）	10月	-	-	-	-
作品貸出（湯河原町立美術館・資料含む25点）	2月	-	-	-	-

④入館者数及び入館料等の徴収事務

◆入館者数

年度	大人	小人	高齢者 (65歳以上)	幼児 (6歳未満)	招待者等	入館者合計	公園案内 合計
7年度	5,057人	120人	6,356人	70人	2,423人	14,026人	5,804人
6年度	4,062人	71人	4,215人	59人	3,976人	12,383人	5,045人

◆入館料等の徴収事務

	令和6年度末日	令和7年度末日	前年度比
ア 入館料	2,758,786円	1,744,000円	63%
イ 図録販売等	1,775,700円	1,950,310円	110%
ウ 合計(ア+イ)	4,534,486円	3,694,310円	81%

熊谷恒子記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	達成率
かなの美展「西行の『山家集』熊谷恒子が親しんだ書」	4月19日～7月6日	熊谷恒子記念館	450人	730人	162%
かなの美展「熊谷恒子と三大随筆—『枕草子』『徒然草』『方丈記』を中心に」	7月19日～12月7日	熊谷恒子記念館	500人	1,120人	224%
かなの美展「熊谷恒子と『万葉集』—晩年までの荘重な書」	12月20日～4月5日 ※計画数は3月31日まで	熊谷恒子記念館	450人	930人	207%
地域連携・コラボレーション展示	2月25日～4月5日 ※計画数は3月31日まで	熊谷恒子記念館	250人	430人	172%

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	達成率
ギャラリートーク	月1回	熊谷恒子記念館	240人	187人	78%
ワークショップ(小・中学生、親子対象)	9月13日・14日	大田文化の森	30人	37人	123%
記念館講座	12月～3月のうち1回	大田文化の森	50人	43人	86%
記念館ノート発行	3月	—	—	—	—
展示作品等のYouTubeでの発信	通年	—	—	432閲覧	—

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	達成率
庭園公開	4月6日、4月25日～27日 5月3日～6日、11月1日～3日	熊谷恒子記念館	150人	563人	375%

④入館者数及び入館料等の徴収事務

◆入館者数

年度	大人	小人	高齢者 (65歳以上)	幼児 (6歳未満)	招待者等	入館者合計
7年度	863人	27人	1,691人	23人	450人	3,054人
6年度	467人	14人	969人	18人	165人	1,633人

◆入館料等の徴収事務

区分	令和6年度末日	令和7年度末日	前年度比
ア 入館料	47,400円	87,650円	185%
イ 図録販売等	150,650円	248,470円	165%
ウ 合計(ア+イ)	198,050円	336,120円	170%

馬込アートギャラリー

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	達成率
区民寄贈絵画展示①	2月1日～ 5月10日 ※計画数は3 月31日まで	馬込アートギャラリー 1F	500人	1,169人	234%
熊谷恒子作品等展示①	2月1日～ 6月28日 ※計画数は3 月31日まで	馬込アートギャラリー 2F	500人	1,169人	234%

※各3回ずつ予定していたが、開館日が延期となり各1回に変更した。

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	達成率
アートワークショップ①	3月7・8日	馬込アートギャラリー	40人	31人	78%

※各4回予定していたが、開館日が延期となり各1回に変更した。

③入館者数

年度	入館者合計
7年度	1,169人

山王草堂記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	達成率
徳富蘇峰に関する展示	通年	山王草堂記念館	7,000 人	10,014 人	143%

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	達成率
馬込文士の足跡をたずねて散策会「大森山王の政財界人～徳富蘇峰と渋沢栄一を中心に～」	5月11日	山王草堂記念館他	30人	29人	97%
ギャラリートーク	月1回	山王草堂記念館	120人	100人	83%
記念館講座	12月～3月のうち1回	大田文化の森	50人	62人	124%
記念館ノート発行	3月	-	-	-	-

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	達成率
展示パネル更新	随時	山王草堂記念館	-	-	-

④入館者数

年度	入館者合計
7年度	10,014人
6年度	9,953人

尾崎士郎記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	達成率
尾崎士郎に関する展示	通年	尾崎士郎記念館	-	-	-

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	達成率
馬込文士の足跡をたずねて散策会「幕末・明治の偉人による大森山王開拓史」	3月28日	尾崎士郎記念館他	30人	36人	120%
ギャラリートーク	月1回	尾崎士郎記念館	120人	100人	83%
記念館講座	12月～3月のうち1回	大田文化の森	50人	54人	108%
記念館ノート発行	3月	-	-	-	-

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数	来場者数	達成率
展示パネル更新	随時	尾崎士郎記念館	-	-	-

④入館者数

※尾崎士郎記念館は、建物外から鑑賞していただく形式のため、入館者数は集計していません。

(4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業【定款第4条第4号】

区民への効果的なPRを図るため、協会が実施する事業を掲載した情報誌「Art Menu」を作成し、DMや区内施設等で配布しました。また、当協会の役割として期待されている「様々な団体とのネットワーク構築」や「文化団体の情報収集・発信」を強化するため、区内の文化・芸術情報を集めた情報紙「ART bee HIVE」を作成し、新聞折込にて区内全域に配布しました。さらに、幅広い層への情報発信として、公式ホームページ、YouTube、X、Instagram、LINE、Facebook等のSNSを中心とした様々なメディアを活用して情報発信を行いました。

令和3年度に情報紙のPR強化のため制作した公式PRキャラクター「リズビー」は、5年度に商標を登録しました。より広い範囲に活躍の場を広げることを目指し、新たにキャラクターのInstagramを開設し、広報用のキャラクターグッズの制作を行いました。今後も、協会の認知度向上に資するための取組を進めていきます。

事業名	内容	取組回数
大田区文化振興協会情報誌「Art Menu」	協会の主催・共催事業の情報、施設情報を掲載。区内公共施設・駅で配布の他、チケット購入者等へDM送付。回数：年6回偶数月発行 ●vol.172(6・7月号) 10,670部 ●vol.173(8・9月号) 10,900部 ●vol.174(10・11月号) 13,800部 ●vol.175(12・1月号) 13,800部 ●vol.176(2・3月号) 15,650部 ●vol.177(4・5月号) 13,300部	6回 ※偶数月発行
大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』	区内の文化・芸術に携わる文化人や施設、イベント情報を掲載。新聞5紙に折り込み、取材拠点への配架など区内全域に配布。 回数：年4回季刊発行 ●夏号23号(100,000部)制作発行・新聞折込 ●秋号24号(100,000部)制作発行・新聞折込 ●冬号25号(100,000部)制作発行・新聞折込 ●春号26号(100,000部)制作発行・新聞折込	4回 ※季刊発行

大田区文化芸術情報紙『ARTbeeHIVE』区民記者	大田区文化芸術情報紙『ARTbeeHIVE』の企画や取材等、情報紙制作への協力を目的として、公募により年度単位で活動を委嘱。	10名 オリエンテーション +編集会議：12回 取材レポート：6回 コラム執筆：8本
ARTbeeHIVEPRキャラクター“リズビー”	大田区文化芸術情報紙『ARTbeeHIVE』のPRキャラクターの認知度向上を目的としたキャンペーン事業を実施。 ●情報紙公式 Instagram の開設 ●広報用キャラクターグッズの制作	2件
ホームページ	協会の主催・共催事業の情報、施設情報の他、広報誌の案内、イベントカレンダーによる貸館情報を掲載。 ●公演事業に関すること（発売情報、募集情報、活動報告等） ●記念館の事業に関すること（展示情報、休館のお知らせ等） ●広報に関すること（情報紙発行のお知らせ、馬込アートギャラリーのご案内等） ●施設に関すること（抽せん会のお知らせ、施設紹介の修正、休館のお知らせ、施設使用料変更のお知らせ等）	随時
SNS	協会公式 X、LINE、Facebook、Instagram、YouTube を運営中。文字情報だけでなく、画像や動画を活用した主催・共催事業の宣伝のほか、施設情報、広報誌の発行案内などを配信。 ●X（協会）フォロワー数：1,409人（169人増） ●X（情報紙）フォロワー数：130人（17人増） ●YouTubeチャンネル登録者数：2,720人（470人増） ●Instagramフォロワー数：1,746人（479人増） ●LINE友達数：502人（91人増） ●Facebookフォロワー数：411人（24人増）	随時 （ ）は前年度からの増加数
区広報課への情報提供	区報、区設掲示板、まなびの森、シティプロモーションサイト「Unique Ota」を中心に施設、協会の主催・共催事業、広報誌に関する情報を提供。 ●公演事業に関すること（発売・募集情報等） ●記念館の事業に関すること（展示・募集情報等）	区報：毎月11日号 「催物情報」ほか。 「UniqueOta」：13件 プレスリリース：18件

(5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業【定款第4条第5号】

①管理運営の取組

大田文化の森ホールは、令和6年5月から7年6月まで特定天井改修その他工事のため休館し、7年7月に再開しました。安全・安心と快適性を増した施設となるための工事が着実に進捗するよう、区に協力しました。

各施設では、地域の文化振興につながるよう、区と連携して良質な文化の提供と区民の自主的な文化活動を支援しました。地域の中で文化活動に携わる人や団体を結び、輪を広げ、集客を図り、賑わいを創出しました。今後も、より多くの区民に利用いただけるよう、以下の点に留意し管理運営を行います。

- ◆ 特定天井改修その他工事に合わせて、施設の老朽化した設備等の改修工事を実施しました。施設や設備を良好に維持管理し、清潔な状態を保ち、安全で快適な環境づくりを行います。
- ◆ 施設利用者に、多様な文化情報の提供や施設の利用案内をすることで、コーディネート機能を発揮していきます。
- ◆ ハード面・ソフト面の安全対策を強化するとともに、文化の森所在の特別出張所や自治会等と連携し、区の防災対策を推進する上で期待されている指定管理者としての役割を果たしていきます。
- ◆ 施設の管理運営にかかる経費を不断に見直し、効率的な施設運営を行います。

②施設ごとの具体的な取組

大田区民プラザは、特定天井改修その他工事において最新機器に刷新された大ホールの舞台照明設備などを活用し、実際に機材に触れ、舞台スタッフの仕事を経験するバックステージツアーを実施しました。併せて、ホールの響きを感じながら、気軽に世界最高峰のピアノである「スタインウェイピアノ」を演奏できるイベントを実施するなど、文化に触れる機会の創出や、新たなニーズの発掘による施設のPRを行いました。

また、令和7年度に区が実施した体育室空調設置工事に際し、工事中の騒音等による利用者への影響を最小限に抑える工夫を行いました。これらの取り組みにより、大きなトラブルなく工事は完了し、体育室の環境がより安全・快適になりました。

大田区民ホール・アプリコは、大ホールに設置した高輝度プロジェクターのさらなる利用促進のため施設見学会や協会ホームページ、デジタルサイネージでの積極的なPR活動を行い、利用回数増とともに施設の稼働率向上に取り組みました。

また、8月には、地域のこどもたちを対象に「バックステージツアー」を開催し、普段見学できない舞台裏を経験するイベントとして好評のうちに終わることができました。

さらに、12月には18歳以上を対象とした「スタインウェイピアノを弾こう」を実施し、日常では触れる機会の少ないピアノの演奏体験を通じ、文化・芸術に対する視野を広げるとともにアプリコそのものを知ってもらうきっかけとしました。施設設備について

も、オーケストラピットの迫框補修工事や、大ホールホワイエにて貸出をしている長机や案内板の更新が完了し、より安全に利用できる環境を整備しました。

大田文化の森は、令和6年5月からホール棟の特定天井改修その他工事のためホール棟を休館していましたが、7年7月から利用を再開しました。天井の耐震工事に合わせ、ホール舞台設備改修工事、空調設備改修工事、外壁改修工事等、安全で利用しやすい施設にするとともに Wi-Fi や映像配信用回線等通信環境も整備しました。利用再開に向け利用案内をより分かりやすい内容にする等、施設 PR にも努めながら準備を進めました。集会棟では、エレベータ更新工事、全熱交換器更新工事、LED 化更新工事等、区が実施する工事の実施に協力し、文化活動拠点施設として快適かつ安全性が確保された環境整備を進めました。

また、区民に好評の陶芸体験教室を継続して実施したほか、避難訓練コンサートを開催し、施設の活性化を図りました。情報館の運営においては図書コーナーではホール・多目的室を中心とした催事をより楽しめるよう催事の関連資料を紹介しました。マルチメディアコーナーではハザードマップの作成や AI に関する体験講座、タイピングのゲームや Excel で小遣い帳を作る体験等、小学生も楽しめる企画を新たに実施しました。

今後も引き続き様々な年齢層の方々にご利用いただけるよう、ニーズに対応した多様な自主企画講座を提供していきます。

③施設使用料の徴収事務

◆大田区民プラザ

	令和6年度末日	令和7年度末日	前年度比 (%)
ア 施設・付帯設備使用料	64,898,665 円	84,332,945 円	130%
イ 使用料取消等返還金	3,593,090 円	6,783,615 円	189%
ウ 実質使用料収入 (ア-イ)	61,305,575 円	77,549,330 円	126%
エ 他施設の使用料	3,464,130 円	4,997,450 円	144%

◆大田区民ホール・アプリコ

	令和6年度末日	令和7年度末日	前年度比 (%)
ア 施設・付帯設備使用料	139,731,090 円	139,831,295 円	100%
イ 使用料取消等返還金	9,041,300 円	11,198,325 円	124%
ウ 実質使用料収入 (ア-イ)	130,689,790 円	128,632,970 円	98%
エ 他施設の使用料	2,922,190 円	2,817,765 円	96%

◆大田文化の森

	令和 6 年度末日	令和 7 年度末日	前年度比 (%)
ア 施設・付帯設備使用料	29,791,570 円	39,912,325 円	134%
イ 使用料取消等返還金	1,681,920 円	3,952,650 円	235%
ウ 実質使用料収入 (ア-イ)	28,109,650 円	35,959,675 円	128%
エ 駐車場の使用料	3,264,000 円	3,669,700 円	112%
オ シャワーの使用料	34,700 円	36,000 円	104%
カ マルチメディア使用料	103,100 円	123,400 円	120%
キ 他施設の使用料	3,477,150 円	3,349,485 円	96%

施設名	所在地	主な施設
大田区民プラザ	大田区下丸子 3-1-3	大ホール (509 席) 小ホール (198 m ²) 展示室 (372.9 m ²) 他、リハーサル室、音楽スタジオ、会議室、和室、美術室等
大田区民ホール・アプリコ	大田区蒲田 5-37-3	大ホール (1,477 席) 小ホール (210 m ²) 展示室 (420 m ²) スタジオ A (110.7 m ²) スタジオ B (57.7 m ²)
大田文化の森	大田区中央 2-10-1	ホール (259 席) 多目的室 (313 m ²) 展示コーナー (125 m ²) 他、音楽スタジオ、創作工房、和室、集会室、情報館等

④施設利用状況

◆大田区民プラザ令和7年4月1日～令和8年3月31日

区分	年度	午前		午後		夜間		合計		利用者数	利用者数 前年度比
		稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数		
		利用率		利用率		利用率		利用率			
大ホール	7年度	304	231	308	249	310	191	922	671	89,925	144%
		76%		81%		62%		73%			
6年度	207	173	208	177	207	145	622	495	62,552		
	84%		85%		70%		80%				
小ホール	7年度	315	205	316	261	318	154	949	620	24,952	140%
		65%		83%		48%		65%			
6年度	211	147	214	179	212	112	637	438	17,862		
	70%		84%		53%		69%				
展示室	7年度	316	197	316	213	317	184	949	594	20,793	143%
		62%		67%		58%		63%			
6年度	214	145	216	160	215	138	645	443	14,498		
	68%		74%		64%		69%				
リハーサル室	7年度	336	289	341	254	342	175	1019	718	12,457	150%
		86%		74%		51%		70%			
6年度	250	202	257	202	258	105	765	509	8,311		
	81%		79%		41%		67%				
美術室	7年度	341	213	343	248	345	5	1029	466	3,259	135%
		62%		72%		1%		45%			
6年度	258	160	258	185	259	5	775	350	2,416		
	62%		72%		2%		45%				
第1会議室	7年度	341	228	344	266	344	150	1029	644	7,768	131%
		67%		77%		44%		63%			
6年度	258	176	259	197	259	132	776	505	5,948		
	68%		76%		51%		65%				
第2会議室	7年度	343	197	345	235	345	91	1033	523	6,068	136%
		57%		68%		26%		51%			
6年度	258	149	257	183	259	91	774	423	4,456		
	58%		71%		35%		55%				
第3会議室	7年度	340	119	342	138	342	46	1024	303	2,475	141%
		35%		40%		13%		30%			
6年度	254	96	254	121	255	44	763	261	1,754		
	38%		48%		17%		34%				
第4会議室	7年度	329	242	330	262	330	139	989	643	5,449	142%
		74%		79%		42%		65%			
6年度	251	197	254	195	254	101	759	493	3,837		
	78%		77%		40%		65%				
第1和室	7年度	341	299	344	288	342	154	1027	741	3,255	159%
		88%		84%		45%		72%			
6年度	253	196	255	175	249	96	757	467	2,044		
	77%		69%		39%		62%				
第2和室	7年度	342	296	345	282	345	152	1032	730	3,018	160%
		87%		82%		44%		71%			
6年度	255	174	256	176	256	69	767	419	1,886		
	68%		69%		27%		55%				
茶室	7年度	342	117	343	160	342	35	1027	312	732	153%
		34%		47%		10%		30%			
6年度	253	64	255	112	256	18	764	194	479		
	25%		44%		7%		25%				

区 分	年度	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数	利用者数 前年度比
		稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数		
		利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率			
体 育 室	7年度	171	167	264	241	264	259	699	667	10,624	140%
	6年度	146	144	216	186	222	208	584	538		
第1音楽 スタジオ	7年度	1回2時間単位で1日5区分利用						1,678	810	13,028	141%
	6年度	1回2時間単位で1日5区分利用						1,265	539		
第2音楽 スタジオ	7年度	1回2時間単位で1日5区分利用						1,685	1,087	5,760	157%
	6年度	1回2時間単位で1日5区分利用						1,263	747		
オート テニス	7年度	1回30分単位で月・水曜は午前6区分、金曜は全日23区分								2,855	140%
	6年度	1回30分単位で月・水曜は午前6区分、金曜は全日23区分								2,044	
トレーニング ルーム	7年度									15,680	149%
	6年度									10,510	
卓 球	7年度	1回1時間単位で月・水曜は午前2区分、金曜は全日11区分								1,644	142%
	6年度	1回1時間単位で月・水曜は午前2区分、金曜は全日11区分								1,155	
合 計								7年度	229,742	143%	
								6年度	160,281		

◆大田区民ホール・アプリコ令和7年4月1日～令和8年3月31日

区 分	年度	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数	利用者数 前年度比
		稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数		
		利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率			
大ホール	7年度	317	251	317	270	315	212	949	733	205,453	96%
		79%		85%		67%		77%			
	6年度	312	256	312	271	311	195	935	722	212,995	
		82%		87%		63%		77%			
小ホール	7年度	321	254	321	295	319	237	961	786	34,347	107%
		79%		92%		74%		82%			
	6年度	321	244	321	286	319	235	961	765	32,118	
		76%		89%		74%		80%			
展示室	7年度	322	225	322	273	320	207	964	705	43,010	131%
		70%		85%		65%		73%			
	6年度	322	228	322	262	320	201	964	691	32,951	
		71%		81%		63%		72%			
Aスタジオ	7年度	1回2時間単位で1日5区分利用						1,606	1,147	21,047	104%
								71%			
	6年度	"						1,621	1,094	20,235	
								67%			
Bスタジオ	7年度	1回2時間単位で1日5区分利用						1,606	1,294	11,248	101%
								81%			
	6年度	"						1,618	1,240	11,187	
								77%			
合 計								7年度	315,105	102%	
								6年度	309,486		

◆大田文化の森令和7年4月1日～令和8年3月31日

●ホール・集会室等

区分 室場名	年度	午前		午後		夜間		合計		利用者数	利用者数 前年度比
		稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数	稼働 日数	利用 件数		
		利用率		利用率		利用率		利用率			
ホール	7年度	202	143	212	159	206	108	620	410	24,182	807%
		71%		75%		52%		66%			
6年度	21	16	21	17	22	14	64	47	2,995		
	76%		81%		64%		73%				
展示コーナー	7年度	316	134	327	135	327	114	970	383	9,968	89%
	42%		41%		35%		39%				
6年度	331	144	332	146	335	127	998	417	11,203		
	44%		44%		38%		42%				
多目的室	7年度	313	218	314	228	308	128	935	574	29,236	82%
	70%		73%		42%		61%				
6年度	325	235	333	285	331	157	989	677	35,447		
	72%		86%		47%		68%				
第1集会室	7年度	326	272	327	298	322	209	975	779	7,947	108%
	83%		91%		65%		80%				
6年度	336	260	338	313	336	184	1,010	757	7,380		
	77%		93%		55%		75%				
第2集会室	7年度	315	262	318	252	312	109	945	623	9,262	93%
	83%		79%		35%		66%				
6年度	332	284	335	265	330	97	997	646	9,960		
	86%		79%		29%		65%				
第3集会室	7年度	322	253	325	268	317	84	964	605	8,046	90%
	79%		82%		26%		63%				
6年度	335	260	334	254	335	70	1,004	584	8,896		
	78%		76%		21%		58%				
第4集会室	7年度	317	245	321	261	315	93	953	599	8,026	94%
	77%		81%		30%		63%				
6年度	335	237	336	262	335	76	1,006	575	8,555		
	71%		78%		23%		57%				
控室	7年度	313	85	313	104	317	37	943	226	590	88%
	27%		33%		12%		24%				
6年度	329	97	327	98	334	35	990	230	672		
	29%		30%		10%		23%				
和室	7年度	325	309	323	242	321	119	969	670	7,712	95%
	95%		75%		37%		69%				
6年度	336	317	336	259	335	110	1,007	686	8,150		
	94%		77%		33%		68%				
調理室	7年度	321	200	321	192	318	79	960	471	4,235	97%
	62%		60%		25%		49%				
6年度	333	204	330	203	333	48	996	455	4,366		
	61%		62%		14%		46%				
美術室	7年度	321	131	325	261	320	18	966	410	8,840	99%
	41%		80%		6%		42%				
6年度	332	132	337	269	333	25	1,002	426	8,967		
	40%		80%		8%		43%				
工芸室	7年度	325	129	324	170	316	26	965	325	2,266	104%
	40%		52%		8%		34%				
6年度	332	119	330	168	323	21	985	308	2,188		
	36%		51%		7%		31%				

区分 室場名	年度	午前		午後		夜間		合計		利用者数	利用者数 前年度比
		稼働	利用	稼働	利用	稼働	利用	稼働	利用		
		利用率		利用率		利用率		利用率			
第1音楽スタジオ	7年度	1回2時間単位で1日5区分利用						1,616	1,337	7,213	90%
	6年度	"						1,665	1,327		
第2音楽スタジオ	7年度	1回2時間単位で1日5区分利用						1,614	997	6,235	86%
	6年度	"						1,661	1,030		
第3音楽スタジオ	7年度	1回2時間単位で1日5区分利用						1,633	1,225	5,999	94%
	6年度	"						1,682	1,221		
第1スポーツ スタジオ	7年度	329	323	324	280	329	272	982	875	10,778	100%
	6年度	335	309	333	267	336	247	1,004	823		
第2スポーツ スタジオ	7年度	1回1時間単位で1日13区分利用						4,128	2,604	5,208	105%
	6年度	"						4,275	2,469		
運営協議会主催事業 全館使用事業	7年度	大田文化の森夏祭り、はっば祭り								3,893	104%
	6年度	大田文化の森夏祭り、はっば祭り								3,746	
大田区による事業 全館等使用事業	7年度	野菜と花の品評会、Oh!盛祭等								4,811	96%
	6年度	野菜と花の品評会、Oh!盛祭等								5,022	

合計		7年度	6年度	利用者数 前年度比
		164,447	154,862	106%

●情報館

区分	年度	登録者数		貸出者数	貸出冊数			
		新規	累計	年計	図書	雑誌	AV	合計
図書コーナー	7年度	1,224	8,333	119,346	267,200	10,575	14,794	292,569
	6年度	1,332	8,355	123,806	282,896	10,839	17,081	310,816
	前年度比	92%	100%	96%	94%	98%	87%	94%

区分	年度	利用者数			
		体験コーナー	インターネットコーナー	創作活動コーナー	年計
マルチメディア	7年度	2,329	6,304	133	8,766
	6年度	2,409	6,329	158	8,896
	前年度比	97%	100%	84%	99%

(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業【定款第4条第6号】

①利用者の利便性向上に資する付加サービス事業

施設利用者が主催する公演のチケットを受託し、館の窓口で販売しました。

また、大田文化の森情報館においてコピー機やプリンターを設置し、利用者へのサービス（有料）を提供しました。

②大田区から受託するスポーツ施設等の管理運営に関する事業

大田区民プラザ体育室及びトレーニングルーム、大田文化の森のスポーツスタジオは区民が安心して利用できるよう定期点検を着実に実施し適切な管理運営を行いました。

3 定款第4条第1号～6号の事業の経費内訳

項目	定款	金額
(1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業	第4条第1号	139,215,453
(2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業	第4条第2号	19,347,120
(3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業	第4条第3号	128,377,295
龍子記念館（龍子公園を含む）	-	72,064,008
熊谷恒子記念館	-	11,428,920
馬込アートギャラリー	-	31,570,354
山王草堂記念館	-	8,328,633
尾崎士郎記念館	-	4,985,380
(4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業	第4条第4号	15,437,975
(5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業	第4条第5号	555,016,903
大田区民プラザ	-	203,287,192
大田区民ホール・アプリコ	-	123,081,863
大田文化の森	-	228,647,848
(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	第4条第6号	24,006,694
(7) 上記1号から6号を達成するために必要な人件費	-	308,443,903
合 計		1,189,845,343

4 理事会及び評議員会に関する事項

(1) 役員等に関する事項

①役員及び評議員名簿（2026.3.31 時点）

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	玉川 一二	監事	中井 恭子	評議員	田島 和雄
副理事長	鴨志田 隆	監事	小泉 貴一	評議員	樋口 幸雄
常務理事	立山 睦正			評議員	伊藤由太郎
理事	鈴木 英明			評議員	小山 君子
理事	鍋谷 孝			評議員	山口 実
理事	奥田 和子			評議員	有我 孝之
理事	保下 誠			評議員	今井健太郎
理事	白鳥 信也				

(2) 役員会等に関する事項

①理事会

回数	開催年月日	議事事項
第1回	令和7年5月13日 出席理事 8人 出席監事 2人	1 令和6年度事業報告 2 令和6年度決算 3 理事就任候補者の推薦 4 常務理事の選定 5 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の改訂 6 令和7年度第1回評議員会の開催
第2回	令和7年5月28日 出席理事 8人 出席監事 2人	1 理事長の選定 2 副理事長の選定 3 事案決定規則の改定 4 令和7年度第2回評議員会(11/5)の開催 5 報告事項 令和7年度事業一覧
第3回	令和7年6月20日 書面表決理事8人 書面表決監事2人	1 評議員就任候補者の推薦 2 評議員選定委員会委員の選任 3 評議員選定委員会委員の選任
第4回	令和7年7月7日 書面表決理事7人 書面表決監事2人	1 事務局長の選任 2 理事就任候補者の推薦 3 令和7年度第2回評議員会(7/28)の開催

第5回	令和7年7月28日 書面表決理事6人 書面表決監事2人	1 常務理事の選定
第6回	令和7年11月5日 出席理事 8人 出席監事 2人	1 令和7年度3月評議員会(3/26)の開催 2 報告事項 中期事業計画令和6年度評価報告 令和7年度上半期事業報告 理事長・副理事長・常務理事の職務執行状況報告
第7回	令和7年11月28日 書面表決理事8人 書面表決監事2人	1 職員給与規則の改定 2 期限付き労働契約職員就業規則の改定
第8回	令和8年3月18日 出席理事 8人 出席監事 2人	1 令和8年度事業計画 2 令和8年度予算 3 事務局組織規則の改定 4 事案決定規則の改定 5 期限付き労働契約職員就業規則の改定 6 財務規則の改定 7 役員賠償責任保険の契約 8 評議員選定委員会委員の選任 9 報告事項 基本財産の運用 理事長・副理事長・常務理事の職務執行状況報告 令和8年度事業一覧
第9回	令和8年4月1日 書面表決理事8人 書面表決監事2人	1 評議員就任候補者の推薦 2 理事就任候補者の推薦 3 監事就任候補者の推薦 4 令和8年度第1回評議員会の開催

②評議員会

回数	開催年月日	議事事項
第1回	令和7年5月28日 出席評議員 6人 同席理事 4人 同席監事 2人	1 令和6年度事業報告 2 令和6年度決算 3 理事の選任(新任) 4 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の改訂 5 報告事項 令和7年度事業一覧

第2回	令和7年7月28日 出席評議員 5人 同席理事 3人 同席監事 2人	1 理事の選任
第3回	令和7年11月5日 出席評議員 4人 同席理事 4人 同席監事 2人	1 報告事項 中期事業計画令和6年度評価 令和7年度上半期事業報告 その他（チラシの案内）
第4回	令和8年3月26日 出席評議員 6人 同席理事 4人 同席監事 2人	1 令和8年度事業計画 2 令和8年度予算 3 報告事項 基本財産の運用 事務局組織規則の改定 事案決定規則の改定 期限付き労働契約職員就業規則の改定 財務規則の改定 役員賠償責任保険の契約 令和8年度事業一覧

5 附属明細書

(1) 附属明細書に関する事項

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

**令和7年度
(2025年度)**

決算書

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日



公益財団法人 大田区文化振興協会

目 次

貸借対照表	・ ・ ・ ・ ・	1
正味財産増減計算書	・ ・ ・ ・ ・	2・3
正味財産増減計算書内訳表	・ ・ ・ ・ ・	4・5
財務諸表に対する注記	・ ・ ・ ・ ・	6・7
附属明細書	・ ・ ・ ・ ・	8
財産目録	・ ・ ・ ・ ・	9・10
監査報告書	・ ・ ・ ・ ・	11

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	177,759,081	195,702,847	△ 17,943,766
売掛金	221,100	45,700	175,400
未収金	7,952,867	4,472,734	3,480,133
貸倒引当金	△ 81,000	△ 45,000	△ 36,000
前払金	104,850	209,000	△ 104,150
貯蔵品	445,892	454,966	△ 9,074
流動資産合計	186,402,790	200,840,247	△ 14,437,457
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	329,762,150	329,762,150	0
定期預金積立資産	237,850	237,850	0
基本財産合計	330,000,000	330,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	16,999,567	15,618,512	1,381,055
花火事業資産	0	382,220	△ 382,220
特定資産合計	16,999,567	16,000,732	998,835
(3) その他固定資産			
什器備品(美術品等)	15,134,366	15,298,819	△ 164,453
自主事業運営積立金	50,000,000	50,000,000	0
リース資産	426,063	1,278,189	△ 852,126
前払利息	278,500	278,500	0
その他固定資産合計	65,838,929	66,855,508	△ 1,016,579
固定資産合計	412,838,496	412,856,240	△ 17,744
資産合計	599,241,286	613,696,487	△ 14,455,201
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	143,005,998	168,243,570	△ 25,237,572
前受金	1,916,700	1,229,300	687,400
仮受金	11,000	0	11,000
預り金	19,432,053	11,359,953	8,072,100
未払法人税等	95,700	96,100	△ 400
賞与引当金	16,367,797	15,054,488	1,313,309
リース債務	444,812	876,442	△ 431,630
流動負債合計	181,274,060	196,859,853	△ 15,585,793
2. 固定負債			
退職給付引当金	16,999,567	15,618,512	1,381,055
リース債務	0	444,812	△ 444,812
固定負債合計	16,999,567	16,063,324	936,243
負債合計	198,273,627	212,923,177	△ 14,649,550
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取寄付金	200,000,000	200,382,220	△ 382,220
指定正味財産合計	200,000,000	200,382,220	△ 382,220
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(382,220)	(△ 382,220)
2. 一般正味財産	200,967,659	200,391,090	576,569
(うち基本財産への充当額)	(130,000,000)	(130,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	400,967,659	400,773,310	194,349
負債及び正味財産合計	599,241,286	613,696,487	△ 14,455,201

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,846,516	2,846,516	0
基本財産受取利息	2,846,516	2,846,516	0
② 特定資産運用益	43,839	3,593	40,246
特定資産受取利息	43,335	3,209	40,126
特定資産受取利息振替額	504	384	120
③ 事業収益	41,119,640	48,595,325	△ 7,475,685
主催事業収益等	41,119,640	48,595,325	△ 7,475,685
④ 受取補助金等	1,188,739,751	1,116,867,297	71,872,454
受取管理受託収入	963,541,000	849,257,500	114,283,500
受取事業補助金収入	225,198,751	267,609,797	△ 42,411,046
⑤ 受取寄付金	5,250,520	12,050,760	△ 6,800,240
受取寄付金	10,000	0	10,000
受取寄付金等振替額	5,240,520	12,050,760	△ 6,810,240
⑥ 雑収益	4,960,730	4,016,044	944,686
受取利息	864,443	191,348	673,095
雑収益	4,096,287	3,824,696	271,591
経常収益計	1,242,960,996	1,184,379,535	58,581,461
(2) 経常費用			
① 事業費	1,231,776,866	1,169,008,481	62,768,385
役員報酬	2,687,500	2,790,000	△ 102,500
給料	189,345,380	175,307,443	14,037,937
賞与	34,342,111	30,042,461	4,299,650
報酬	2,860,000	0	2,860,000
退職給付費用	4,079,523	3,140,496	939,027
法定福利費	48,655,122	44,204,534	4,450,588
福利厚生費	3,019,350	2,928,855	90,495
通勤交通費	6,227,140	6,060,061	167,079
旅費交通費	1,043,632	712,474	331,158
会議費	505,301	491,854	13,447
通信運搬費	12,737,637	10,924,781	1,812,856
減価償却費	1,016,579	972,577	44,002
役務費	1,958,500	1,426,081	532,419
消耗什器備品費	11,035,100	4,090,460	6,944,640
消耗品費	29,643,966	28,416,373	1,227,593
修繕費	36,622,434	32,385,705	4,236,729
印刷製本費	18,228,149	16,332,715	1,895,434
光熱水料費	79,365,815	63,277,055	16,088,760
広告宣伝費	1,922,613	1,755,600	167,013
賃借料	18,973,689	16,103,267	2,870,422
保険料	1,901,205	1,754,691	146,514
諸謝金	7,229,808	5,747,255	1,482,553
租税公課	21,730,400	17,977,500	3,752,900
支払負担金	226,000	226,000	0
支払助成金	19,460,000	19,074,553	385,447
支払利息	18,518	35,910	△ 17,392
事業委託費	65,445,136	95,783,787	△ 30,338,651
管理委託費	497,835,472	441,599,727	56,235,745
委託費	51,388,104	45,110,923	6,277,181
手数料	3,998,974	3,574,961	424,013
雑費	77,040	61,600	15,440

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
貸倒引当金繰入額	81,000	45,000	36,000
賞与引当金繰入額	16,184,145	15,054,488	1,129,657
大田区返納金	41,931,523	81,599,294	△ 39,667,771
②管理費	10,556,861	10,581,387	△ 24,526
役員報酬	1,602,500	1,550,000	52,500
給料	657,180	2,628,720	△ 1,971,540
賞与	278,540	557,080	△ 278,540
法定福利費	1,505,960	1,205,176	300,784
福利厚生費	7,560	26,200	△ 18,640
通勤交通費	64,408	92,066	△ 27,658
旅費交通費	131,732	99,296	32,436
会議費	13,710	9,600	4,110
通信運搬費	66,344	60,370	5,974
消耗品費	50,106	36,047	14,059
印刷製本費	94,387	23,360	71,027
光熱水料費	0	5,082	△ 5,082
賃借料	39,160	39,160	0
保険料	128,100	116,500	11,600
諸謝金	0	132,000	△ 132,000
研修費	796,100	532,300	263,800
租税公課	800	600	200
委託費	2,783,000	2,823,902	△ 40,902
手数料	24,600	22,470	2,130
雑費	26,000	11,000	15,000
賞与引当金繰入額	183,652	0	183,652
大田区返納金	2,103,022	610,458	1,492,564
経常費用計	1,242,333,727	1,179,589,868	62,743,859
当期経常増減額	627,269	4,789,667	△ 4,162,398
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入額	45,000	53,000	△ 8,000
経常外収益計	45,000	53,000	△ 8,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	45,000	53,000	△ 8,000
税引前当期一般正味財産増減額	672,269	4,842,667	△ 4,170,398
法人税等	95,700	96,100	△ 400
当期一般正味財産増減額	576,569	4,746,567	△ 4,169,998
一般正味財産期首残高	200,391,090	195,644,523	4,746,567
一般正味財産期末残高	200,967,659	200,391,090	576,569
II 指定正味財産増減の部			
(1) 特定資産運用益	504	384	120
特定資産受取利息	504	384	120
(2) 受取寄付金	4,858,300	0	4,858,300
受取寄付金	4,858,300	0	4,858,300
(3) 一般正味財産への振替額	△ 5,241,024	△ 12,051,144	6,810,120
一般正味財産への振替額	△ 5,241,024	△ 12,051,144	6,810,120
当期指定正味財産増減額	△ 382,220	△ 12,050,760	11,668,540
指定正味財産期首残高	200,382,220	212,432,980	△ 12,050,760
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,382,220	△ 382,220
III 正味財産期末残高	400,967,659	400,773,310	194,349

正味財産増減計算書内訳書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1	収1	他1	小計			
	地域文化芸術の振興	利用者の利便性向上 に資する事業	区から受託するスポ ーツ施設等の管理運営				
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	0	2,846,516	0	2,846,516
基本財産受取利息	0	0	0	0	2,846,516	0	2,846,516
特定資産運用益	43,839	0	0	0	0	0	43,839
特定資産受取利息	43,335	0	0	0	0	0	43,335
特定資産受取利息振替額	504	0	0	0	0	0	504
事業収益	41,119,640	0	0	0	0	0	41,119,640
主催事業収益等	41,119,640	0	0	0	0	0	41,119,640
受取補助金等	1,150,544,631	0	29,222,666	29,222,666	8,972,454	0	1,188,739,751
受取管理受託収入	934,318,334	0	29,222,666	29,222,666	0	0	963,541,000
受取事業補助金収入	216,226,297	0	0	0	8,972,454	0	225,198,751
受取寄付金	5,250,520	0	0	0	0	0	5,250,520
受取寄付金	10,000	0	0	0	0	0	10,000
受取寄付金等振替額	5,240,520	0	0	0	0	0	5,240,520
雑収益	4,244,030	716,700	0	716,700	0	0	4,960,730
受取利息	864,443	0	0	0	0	0	864,443
雑収益	3,379,587	716,700	0	716,700	0	0	4,096,287
経常収益計	1,201,202,660	716,700	29,222,666	29,939,366	11,818,970	0	1,242,960,996
(2) 経常費用							
事業費	1,201,940,811	355,015	29,481,040	29,836,055	0	0	1,231,776,866
役員報酬	2,687,500	0	0	0	0	0	2,687,500
給料	185,641,373	116,325	3,587,682	3,704,007	0	0	189,345,380
賞与	33,817,384	0	524,727	524,727	0	0	34,342,111
報酬	2,860,000	0	0	0	0	0	2,860,000
退職給付費用	4,079,523	0	0	0	0	0	4,079,523
法定福利費	47,805,432	0	849,690	849,690	0	0	48,655,122
福利厚生費	2,979,567	0	39,783	39,783	0	0	3,019,350
通勤交通費	6,088,792	0	138,348	138,348	0	0	6,227,140
旅費交通費	1,040,856	0	2,776	2,776	0	0	1,043,632
会議費	505,301	0	0	0	0	0	505,301
通信運搬費	12,583,447	2,090	152,100	154,190	0	0	12,737,637
減価償却費	1,016,579	0	0	0	0	0	1,016,579
役務費	1,941,987	0	16,513	16,513	0	0	1,958,500
消耗什器備品費	10,675,341	0	359,759	359,759	0	0	11,035,100
消耗品費	28,773,438	107,071	763,457	870,528	0	0	29,643,966
修繕費	35,979,659	0	642,775	642,775	0	0	36,622,434
印刷製本費	18,200,748	0	27,401	27,401	0	0	18,228,149
光熱水料費	75,803,960	0	3,561,855	3,561,855	0	0	79,365,815
広告宣伝費	1,922,613	0	0	0	0	0	1,922,613
賃借料	18,529,189	13,332	431,168	444,500	0	0	18,973,689
保険料	1,856,247	0	44,958	44,958	0	0	1,901,205
諸謝金	7,229,808	0	0	0	0	0	7,229,808
租税公課	21,125,223	47,801	557,376	605,177	0	0	21,730,400
支払負担金	223,734	0	2,266	2,266	0	0	226,000
支払助成金	19,460,000	0	0	0	0	0	19,460,000
支払利息	18,518	0	0	0	0	0	18,518
事業委託費	65,445,136	0	0	0	0	0	65,445,136
管理委託費	480,813,099	59,026	16,963,347	17,022,373	0	0	497,835,472
委託費	51,280,135	0	107,969	107,969	0	0	51,388,104
手数料	3,967,058	9,370	22,546	31,916	0	0	3,998,974
雑費	75,901	0	1,139	1,139	0	0	77,040
貸倒引当金繰入額	81,000	0	0	0	0	0	81,000
賞与引当金繰入額	15,928,721	0	255,424	255,424	0	0	16,184,145
大田区返納金	41,503,542	0	427,981	427,981	0	0	41,931,523
管理費	0	0	0	0	10,556,861	0	10,556,861
役員報酬	0	0	0	0	1,602,500	0	1,602,500
給料	0	0	0	0	657,180	0	657,180
賞与	0	0	0	0	278,540	0	278,540
法定福利費	0	0	0	0	1,505,960	0	1,505,960
福利厚生費	0	0	0	0	7,560	0	7,560
通勤交通費	0	0	0	0	64,408	0	64,408
旅費交通費	0	0	0	0	131,732	0	131,732
会議費	0	0	0	0	13,710	0	13,710
通信運搬費	0	0	0	0	66,344	0	66,344
消耗品費	0	0	0	0	50,106	0	50,106
印刷製本費	0	0	0	0	94,387	0	94,387
賃借料	0	0	0	0	39,160	0	39,160
保険料	0	0	0	0	128,100	0	128,100
研修費	0	0	0	0	796,100	0	796,100
租税公課	0	0	0	0	800	0	800

正味財産増減計算書内訳書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1	収1	他1	小計			
	地域文化芸術の振興	利用者の利便性向上 に資する事業	区から受託するスポー ツ施設等の管理運営				
委託費	0	0	0	0	2,783,000	0	2,783,000
手数料	0	0	0	0	24,600	0	24,600
雑費	0	0	0	0	26,000	0	26,000
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	183,652	0	183,652
大田区返納金	0	0	0	0	2,103,022	0	2,103,022
経常費用計	1,201,940,811	355,015	29,481,040	29,836,055	10,556,861	0	1,242,333,727
当期経常増減額	△ 738,151	361,685	△ 258,374	103,311	1,262,109	0	627,269
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
貸倒引当金戻入額	45,000	0	0	0	0	0	45,000
経常外収益計	45,000	0	0	0	0	0	45,000
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	45,000	0	0	0	0	0	45,000
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 693,151	361,685	△ 258,374	103,311	1,262,109	0	672,269
他会計振替額	179,321	△ 179,321	0	△ 179,321	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 513,830	182,364	△ 258,374	△ 76,010	1,262,109	0	672,269
法人税等	0	95,700	0	95,700	0	0	95,700
当期一般正味財産増減額	△ 513,830	86,664	△ 258,374	△ 171,710	1,262,109	0	576,569
一般正味財産期首残高	189,727,806	2,966,924	△ 1,914,960	1,051,964	9,611,320	0	200,391,090
一般正味財産期末残高	189,213,976	3,053,588	△ 2,173,334	880,254	10,873,429	0	200,967,659
II 指定正味財産増減の部							
特定資産運用益	504	0	0	0	0	0	504
特定資産受取利息	504	0	0	0	0	0	504
受取寄付金	4,858,300	0	0	0	0	0	4,858,300
受取寄付金	4,858,300	0	0	0	0	0	4,858,300
一般正味財産への振替額	△ 5,241,024	0	0	0	0	0	△ 5,241,024
一般正味財産への振替額	△ 5,241,024	0	0	0	0	0	△ 5,241,024
当期指定正味財産増減額	△ 382,220	0	0	0	0	0	△ 382,220
指定正味財産期首残高	200,382,220	0	0	0	0	0	200,382,220
指定正味財産期末残高	200,000,000	0	0	0	0	0	200,000,000
III 正味財産期末残高	389,213,976	3,053,588	△ 2,173,334	880,254	10,873,429	0	400,967,659

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)によっている。ただし公益法人会計基準注解(注1(2))取得価額と債券金額との差額について重要性が乏しいものについては、償却原価法を適用していない。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法で行い、評価方法は総平均法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

什器備品 定率法を採用している。

② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る資産については、リース期間を耐用年数として残存価額をゼロとする定額法にしている。

(4) 引当金の計上基準

① 退職給付引当金

職員の退職金の支給に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上している。

② 貸倒引当金

売掛金並びに未収金については期末残高の10/1000の貸倒引当金を計上している。

③ 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、給与規程に基づく支給見込み額のうち当会計事業年度に帰属する額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	329,762,150	0	0	329,762,150
定期預金	237,850	0	0	237,850
小計	330,000,000	0	0	330,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	15,618,512	4,079,523	2,698,468	16,999,567
花火事業資産	382,220	4,858,804	5,241,024	0
小計	16,000,732	8,938,327	7,939,492	16,999,567
合計	346,000,732	8,938,327	7,939,492	346,999,567

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	329,762,150	(199,762,150)	(130,000,000)	(0)
定期預金	237,850	(237,850)	(0)	(0)
小計	330,000,000	(200,000,000)	(130,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	16,999,567	(0)	(0)	(16,999,567)
花火事業資産	0	(0)	(0)	(0)
小計	16,999,567	(0)	(0)	(16,999,567)
合計	346,999,567	(200,000,000)	(130,000,000)	(16,999,567)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(減価償却資産のみ記載)

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	4,260,630	3,834,567	426,063
什器備品	976,665	862,299	114,366
合 計	5,237,295	4,696,866	540,429

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益	
中国電力社債第398回	50,000,000	49,301,500	△ 698,500	基本財産投資有価証券
共同発行市場公募地方債第174回	14,863,650	14,723,100	△ 140,550	基本財産投資有価証券
共同発行市場公募地方債第175回	34,898,500	34,342,700	△ 555,800	基本財産投資有価証券
国際協力機構債券第55回	30,000,000	27,648,900	△ 2,351,100	基本財産投資有価証券
住宅金融支援機構債券第350回	100,000,000	70,890,000	△ 29,110,000	基本財産投資有価証券
第108回地方公共団体金融機構債券	100,000,000	76,840,000	△ 23,160,000	基本財産投資有価証券
合 計	329,762,150	273,746,200	△ 56,015,950	

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
事業補助金等						
大田区補助金	大田区	0	216,740,000	216,740,000	0	-
花火打上事業負担金	大田区	0	5,407,235	5,407,235	0	-
助成金	公益財団法人東京都歴史文化財団	0	2,951,516	2,951,516	0	-
協賛金	明治安田生命保険相互会社	0	100,000	100,000	0	-
合 計		0	225,198,751	225,198,751	0	-

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	5,241,024
合 計	5,241,024

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	15,618,512	4,079,523	2,698,468	0	16,999,567
貸倒引当金	45,000	81,000	0	45,000	81,000
賞与引当金	15,054,488	16,367,797	15,054,488	0	16,367,797

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

単位:(円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産 退職給付引当資産	みずほ銀行蒲田支店 定期預金	職員に対する退職金の支払に 備えたもの	16,999,567
その他固定資産 什器備品(美術品等)	大田区民プラザ 美術品・彫刻「鶴の舞」 美術品・絵画「エッフェル塔の見える街」 美術品・絵画「彫刻と花」 美術品・絵画「春光」 美術品・絵画「花火水光」 サーモグラフィ受付セット ソニーデジタルビデオカメラ デジタル一眼カメラ	公益目的保有財産であり、公益 目的事業に使用している	7,000,000 1,000,000 3,000,000 120,000 3,900,000 1 27,234 87,131
自主事業運営積立金	みずほ銀行蒲田支店 定期預金 東京都職員信用組合 定期預金	公益目的事業の積立資産	30,000,000 20,000,000
リース資産	本部	公益目的保有財産の人事・給与 システム	426,063
前払利息	本部	基本財産(第398回中国電力社債) 購入時の前払利息	278,500
固定資産合計			412,838,496
資産合計			599,241,286
(流動負債)			
未払金	本部・大田区民プラザ 熊谷恒子記念館 龍子記念館 龍子公園 山王草堂記念館 尾崎士郎 区民ホール・アプリコ 大田文化の森 馬込アートギャラリー	大田区返納金等 管理系定例業務委託費 管理系定例業務委託費 管理系定例業務委託費 管理系定例業務委託費 管理系定例業務委託費 管理系定例業務委託費 管理系定例業務委託費 管理系定例業務委託費 管理系定例業務委託費	88,352,700 1,793,224 9,918,865 3,670,259 1,019,569 444,642 12,306,734 21,030,499 4,469,506
前受金	本部	令和8年度主催事業収入	1,916,700
仮受金	本部	誤入金預かり	11,000
預り金	本部	源泉所得税等 社会保険料 受託チケット預り代金 大田区収納事務による預り金	110,707 165,376 15,883,600 3,272,370
未払法人税等	本部	未払法人税等	95,700
賞与引当金	本部	令和8年度夏季賞与充当額	16,367,797
リース債務	本部	人事・給与システム (返済期間1年以内)	444,812
流動負債合計			181,274,060
(固定負債)			
退職給付引当金		職員に対する退職金の支払に 備えたもの	16,999,567
固定負債合計			16,999,567
負債合計			198,273,627
正味財産			400,967,659
負債及び正味財産合計			599,241,286

監査報告

令和8年5月11日

公益財団法人 大田区文化振興協会
理事長 玉川 一二 様

公益財団法人大田区文化振興協会

監事

中井 恭子

監事

西山 正人

私たち監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じた説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告書（事業報告及びその附属明細書）は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

**令和8年度
(2026年度)**

事業計画書

自 令和8年4月 1日

至 令和9年3月31日



公益財団法人 大田区文化振興協会

目 次

1	計画の策定にあたって	．．．．．1
2	基本理念	．．．．．2
3	事業一覧	．．．．．2～13
	(1) 文化芸術振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業（第4条第1号関係）	
	(2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業（第4条第2号関係）	
	(3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業（第4条第3号関係）	
	(4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業（第4条第4号関係）	
	(5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業（第4条第5号関係）	
	(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業（第4条第6号関係）	
4	経費内訳	．．．．．14

1 計画の策定にあたって

令和8年度は、当協会の中期事業計画（令和6年度から10年度）における折返し地点にあたり、その実効性を確固たるものとし、結実へと導く極めて重要な年度にあたります。

私たちは、これまでの歩みの中で着実に積み上げてきた多彩な鑑賞機会の提供をさらに深化させるとともに、区民一人ひとりが文化芸術の主役として輝く「参加・連携・協働」の場を、より多層的かつ有機的に創出してまいります。

本年度の大きな目標は、文化芸術を大田区全域に浸透させることにあります。小・中学校や福祉施設へと能動的に踏み出すアウトリーチ活動を一層強化し、関係機関との強固なネットワークを作りあげることで、日常の多様な場面において「本物」の文化芸術に触れ、心が震えるような感動を分かち合える環境を広げてまいります。

施設運営におきましては、大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森が持つポテンシャルを最大限に引き出し、単なる「施設利用」の枠を超え、区民の自由な創造性を誘発し、新たな文化が絶え間なく湧き出す「地域・文化・芸術交流の要」へと昇華させるフェーズへとまい進いたします。

また、令和8年2月に開館を迎えた「馬込アートギャラリー」は、区にゆかりの芸術家の作品の収蔵・展示のみならず、様々な人びとが集う場所としていきます。この新たなランドマークを、龍子記念館や熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館といった既存の施設と結びつけることで、大田区が誇る「馬込文士村」の歴史的価値を現代の感性で捉え直し、未来へ繋ぐ新たな文化資産として再構築してまいります。特に、本年秋に予定の連続テレビ小説「ブラッサム」放映を好機と捉え、区民の郷土への誇りを醸成する地域連携事業を強力に推進いたします。

文化芸術が個人と社会を強く、優しく結びつけ、困難な時代にあっても地域の活性化と魅力化を力強く牽引する原動力となるよう、私たちは「えがく・かなでる・ひびく」の理念を胸に刻み、大田区との揺るぎない連携のもと、協会職員一丸となって誠心誠意、職務に精励してまいります。

2 基本理念

当協会は、大田区における文化振興を図り、もって地域活性化と魅力のある文化のまちづくりに寄与するため、区と連携して事業の推進に全力で取り組みます。

定款に定める事業（第4条関係）

- (1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業
- (2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業
- (3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業
- (4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業
- (5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業
- (6) その他この法人の目的を達するために必要な事業

3 事業一覧

(1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業【定款第4条第1号】

大田区民プラザでは、33年目を迎える定期公演、下丸子 JAZZ 倶楽部・下丸子らくご倶楽部をはじめ、館の特色を活かした舞台作品や日本の伝統文化を発信することで、大田区の伝統文化の継承に寄与します。また、館がこれまで以上に文化拠点施設の役割を担うために、街とつながる事業企画を実施します。

大田区民ホール・アプリコでは、活弁公演を実施し、こどもも大人も楽しめる無声喜劇映画を通して、映画の魅力だけでなく蒲田の歴史も発信していきます。また、若手育成事業「アプリコ平日の午後のひととき」をはじめ、ホールの響きを存分に楽しめるアコースティックコンサートやミュージカル等、多彩なジャンルで、幅広い区民が楽しめる公演を実施します。

大田文化の森では、昨年度開始した定期公演「大森らくご倶楽部」の他、馬込文土村の文化資源を活用した地域密着型事業、OTA アート・プロジェクト馬込文土村フェスティバルを実施します。文化資源「馬込文土村」をテーマに、地域性の高いフェスティバルとし、演劇公演やブックフェア等全館を使用し、地域の魅力を発信し、文化の掘り起こしを行います。

さらに、区の文化事業である「洗足池 春宵の響」、「平和都市宣言記念事業」に協力し、大田区の豊かな地域文化の形成と活性化を図ります。

展示・普及事業においても、区民の誰もが身近に文化芸術に触れることができるよう、無料や低料金の展示、アートワークショップを行います。また、若手アーティストの発掘に取り組む他、アーティストや絵画等のアート作品を区内の学校や福祉施設へ派遣します。施設内でコンサートやワークショップを行う等、学校や地域へのアウトリーチ事業を通じて区内で本物の文化芸術に触れる機会を提供します。OTA アート・プロジェクトでは、大田区におけるアートの可能性について、トークイベントを開催します。

また、区からの補助金を抑制するため、引き続き各種助成金の獲得していきます。

OTA アート・プロジェクトとは？

大田区文化振興協会が、“アートでまちづくり”をテーマに大田区に点在する様々な文化芸術に関わるヒト・モノ・コトを文化資源として紹介し、未来に向けて新たに共創していく創造プロジェクトです。

大田区民プラザ

①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
下丸子 JAZZ 倶楽部	年 5 回	小ホール他	音楽	713 人
下丸子らくご倶楽部	年 9 回	小ホール他	演芸	1,872 人
【共同主催】MIYAKOJI OPERA2026 E.カールマン オペレッタ《チャールダーシュの女王》	5 月 9 日	大ホール	音楽	509 人
万作・萬斎「狂言」	7 月 12 日	大ホール	伝統芸能	475 人
おどる絵本『みえるとか みえないとか』2 回公演	8 月 1 日	大ホール	演劇	675 人
下丸子 JAZZ 倶楽部 Happy Birthday CONCERT	9 月 26 日	大ホール	音楽	433 人
世界は音楽でつながっている ケルト・ハロウィン・フェスティバル ～音楽とダンスと秋 のマルシェ～O'jizo LIVE	10 月 31 日	大ホール	音楽	306 人
第 92 回新春プラザ寄席①	1 月 5 日	大ホール	演芸	484 人
第 92 回新春プラザ寄席②	1 月 6 日	大ホール	演芸	484 人
【共同主催】しもまるこドリームステージ	3 月 6 日	大ホール	音楽	325 人

②普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
和っく和っくな学び舎《日本文化にふれる》篠笛	通年	第 1 音楽スタジオ オ・大ホール	伝統芸能	18 人
和っく和っくな学び舎《日本文化にふれる》長唄・唄方	通年	第 1 音楽スタジオ オ・大ホール	伝統芸能	18 人
狂言ワークショップ	7 月 12 日	大ホール	伝統芸能	20 人
おどる絵本『みえるとか みえないとか』ダンスワーク ショップ	7 月 31 日	小ホール	演劇	30 人
OTA アート・サロン（ワークショップ）	11 月～1 月	小ホール他	その他	10 人
初めての日本画講座（秋）	10 月～11 月	会議室	美術	20 人
世界は音楽でつながっている ケルト・ハロウィン・フェスティバル ～音楽とダンス と秋のマルシェ～ダンス ワークショップ	10 月 31 日	リハーサル室	音楽	30 人
世界は音楽でつながっている ケルト・ハロウィン・フェスティバル ～音楽とダンス と秋のマルシェ～ティンホイッスル ワークショップ	10 月 31 日	リハーサル室	音楽	15 人

大田区民ホール・アプリコ

①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
【共同主催】吉田正記念オーケストラ 元気が出る！映画音楽&昭和歌謡 ノスタルジーコンサート	4月10日	大ホール	音楽	1300人
【共同主催】T-BOLAN LAST LIVE TOUR2025-2026 終章 SING THE BEST HIT JOURNEY 47	4月18日	大ホール	音楽	1471人
本と音楽の素敵な出逢い Vol.4 檀ふみの文学「おと」散歩～言葉と音のある風景	6月2日	大ホール	音楽	483人
NBAバレエ団が贈る《はじめてのバレエ》 チャイコフスキー 眠れる森の美女 ダイジェスト版 2回公演	8月8日	大ホール	音楽	1,644人
蒲田モダン活弁 ～和製チャップリンと本家本元チャップリン～	8月23日	小ホール	演劇	132人
～アプリコ平日午後のひととき～アプリコうたのアフタヌーンコンサート	8月26日 12月24日	大ホール	音楽	780人
～アプリコ平日午後のひととき～アプリコお昼のピアノコンサート	9月9日 10月22日 11月11日	大ホール	音楽	1,012人
coba アコースティック・アンサンブル「Renaissance (ルネッサンス)」	9月12日	大ホール	音楽	629人
KAMATA JAZZ LAB	10月9日 11月6日 12月4日	小ホール	音楽	315人
音楽座ミュージカル	10月11日	大ホール	演劇	845人
世界は音楽でつながっている 〈特別企画〉ピーター・バラカン「ケルト音楽特集」	10月17日	小ホール	音楽	60人
フレッシュ名曲コンサート 日本フィルの「ジュピター」 天才モーツァルトが残した最後の交響曲	11月8日	大ホール	音楽	967人
【共同主催】ミュージック・ワークショップ・フェスタ 〈冬〉	11月25日 ～29日	小ホール他	音楽	180人
ギタリストたちの饗宴 「鈴木大介・大萩康司・村治奏一・朴葵姫」	12月10日	大ホール	音楽	650人
アプリコ・クリスマス・フェスティバル2026 絵本 de クラシック「くるみ割り人形とネズミの王さま」	12月19日	大ホール	音楽	713人
KAMATA JAZZ 菊地成孔とペペ・トルメント・アスカラル他	2月11日	大ホール	音楽	796人
ようこそ♪矢部達哉のミュージックルームへ Vol.2	2月23日	大ホール	音楽	637人
大田区 JHS ウインドオーケストラ 春風コンサート	3月14日	大ホール	音楽	450人

②展示事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
アプリコ・アートギャラリー	年4回	地下1階	美術	-
第39回大田区在住作家美術展	10月28日～11月5日	展示室	美術	3,000人

③普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
フレッシュ名曲コンサート キャンペーン (2回予定)	9月20日	小ホール	音楽	300人
大田区文化振興協会フレンドシップアーティスト2027 年度出演者オーディション	9月～11月	大ホール	音楽	7人
OTA アートサロン (トークイベント・ワークショップ・成果発表)	10月～2月	小ホール	その他	110人
大田区 JHS ウインドオーケストラ 合同練習	11月～3月	区内中学校	音楽	60人

大田文化の森

①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
大森らくご倶楽部	9月18日 1月29日	ホール	演芸	391人
下丸子 JAZZ 倶楽部 大森出張編	11月19日	ホール	音楽	143人
OTA アート・プロジェクト 馬込文士村フェスティバル 2026	12月12日 12月13日	ホール他	その他	322人

②普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
夏休みアート・プログラム (美術)	8月	工芸室	美術	30人
初めての日本画講座 (春)	5月～6月	集会室	美術	20人

その他

①普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	計画数
大田区学校出張講座	通年	区内小中学校	音楽/演劇	10校
福祉施設訪問事業 (音楽)	通年	区内福祉施設	音楽	2施設
福祉施設訪問事業 (美術)	調整中	区内福祉施設	美術	2施設
地域連携事業	調整中	調整中	調整中	2事業
OTA アート・プロジェクト トークイベント	調整中	調整中	美術	60人
こども向けアウトリーチ事業	調整中	調整中	美術	調整中

(2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業【定款第4条第2号】

①文化芸術活動支援事業

大田区で文化芸術活動を行う団体等の活動を助成、支援します。

②公演サポーター事業

公演準備やお客様のご案内等に從事いただくとともに、公演も楽しんでもらえる公演サポーターを、公募により通年で募集し活動を行います。

③大田文化の森活動支援事業

大田文化の森は、区民の主体的な文化活動を支援し、交流の輪を広げることを目的に設置されました。区民自らが中心となって事業運営を行う任意団体として、大田文化の森運営協議会が各種の企画事業等を実施し活発に活動しています。協会は、運営協議会の支援を通じて、地域の区民の文化芸術活動を支えています。

(3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業【定款第4条第3号】

区民の貴重な文化芸術資源である龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館の収蔵作品・収蔵資料等の調査研究と適切な修復を行い、文化資源の良好な保管・展示の充実のための環境整備を進めます。また、収蔵作品等のアーカイブ化を進め、それらを効果的に活用していきます。

各記念館の展示においては、見やすく、親しみがもてるようなテーマを設定する等、魅力ある展示企画を実施することで、より多くの区民に大田区の貴重な文化財産に接していただきます。また、他の美術館等との交流を深め、収蔵作品を有効に活用していきます。

龍子記念館では、日本屈指の現代アートコレクターとして知られる高橋龍太郎氏の現代アート作品と川端龍子の作品を展示する高橋龍太郎コレクション連携企画「川端龍子ブラスワン」を9月～翌1月に開催します。毎回注目を集め、通算4回目となる現代アート作品とのコラボレーション企画において、龍子の現代につながる作品の多様な魅力を若い世代にも強く情報発信し、再評価を促していきます。また、地域連携企画展として、川端龍子に教えを受け、大田区を拠点に活動を続ける日本画家・高頭信子の展覧会を開催します。90歳を超えてなお、力強い作品を描き続けるその信念に迫ります。さらに、展覧会に合わせて、美術館コンサートやジャズライブ、関連講演会、研究会、ワークショップ等を実施することにより、日本美術への関心を高め、理解を深める機会を提供し、幅広い層の来館者に向けて知名度向上を図っていきます。

熊谷恒子記念館では、熊谷恒子没後40年の節目に、企画展「熊谷恒子と京都江馬家の関係（仮称）」及びトークイベントを開催し、書家の生い立ちを振り返り、熊谷恒子記念館の周知をします。また、年2回かなの美展を開催し、令和9年2月から3月（予定）まで伝統工芸士・黒川朋子の作品を地域連携プログラムとして展示する他、期間限定で庭園公開等を併催し、より多くの区民に鑑賞いただきます。馬込アートギャラリーには熊谷恒子関連の常設展示コーナーを設置し、回遊性を図ります。

山王草堂記念館・尾崎士郎記念館では、NHK 朝の連続テレビ小説「ブラッサム」（馬込文士を中心人物であった宇野千代が主人公モデル）、大河ドラマ「逆賊の幕臣」（主人公のライバル・勝海舟がほぼ W 主演の形で登場）等に合わせ、各種講座や散策会、読書会の実施とともに、展示パネルの作成、展示資料の入れ替え等、機運醸成や地域連携の土台作りを行います。

各記念館では展示会や関連事業等の SNS による発信とともに、各種ワークショップ、展覧会の会期中のギャラリートーク・講演会等を開催し、多くの区民に楽しんでいただく取組を実施します。また、区民に日本画や、かな書等への興味と各記念館に対する理解を深めていただけるよう、龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館の学芸員による連続講座を実施するとともに、調査・研究の成果を記念館ノートとして発行します。

また、令和 6 年 3 月に国の登録有形文化財（建造物）に登録された龍子記念館および龍子公園内の旧川端龍子邸については、建造物の文化財としての価値をさらに高めるための有効な活用方法について提案しながら、文化財の保存活用計画の策定を進めていきます。あわせて、龍子記念館の所蔵作品や資料のデジタル化を継続的に行い、資料目録の作成やインターネット上での公開を通じて資料群の体系化を進めます。

令和 8 年 2 月 1 日に開館した馬込アートギャラリーでは、施設の維持管理、保守メンテナンスのハード面、寄贈絵画等の保管、展示等のソフト面、両面において当協会のノウハウを活かし、円滑かつ確実に業務を遂行することで区民の文化芸術の向上及び心豊かな生活の実現に向けて取り組みます。

具体的な事業としては、展示会（MAG 展）や地域連携企画展、ギャラリートークの開催により、多くの区民がアートを身近に感じていただけるような鑑賞環境をつくり、教育普及プログラムとしてワークショップ等を実施することで、アートに触れ、学び、楽しむ施設として文化芸術の振興に取り組みます。あわせて、バリアフリー化が困難な熊谷恒子記念館の作品等を多くの方にご覧いただけるように常設展示するとともに、熊谷恒子の活動を紹介していきます。

龍子記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数
名作展「絢爛と健剛 川端龍子の作品における装飾性」併催：町立湯河原美術館所蔵作品展	3 月 28 日～6 月 7 日 ※計画数は 4 月 1 日から	龍子記念館	3,000 人
名作展「タイトル未定」	6 月 20 日～8 月 23 日	龍子記念館	1,800 人
高橋龍太郎コレクション連携企画「川端龍子プラスワン」（前期）	9 月 12 日～11 月 8 日	龍子記念館	2,000 人

東京文化財ウィーク 2026 公開事業 龍子公園の特別公開	10月24日、25日、31日 11月1日、3日	龍子記念館	800人
高橋龍太郎コレクション連携企画「川端龍子プラスワン」(後期)	11月21日～1月24日	龍子記念館	2,000人
地域連携企画展「高頭信子 道一筋(仮称)」	2月11日～3月22日	龍子記念館	1,800人

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数
ギャラリートーク(一般対象)	月1回	龍子記念館	240人
子供向けギャラリートーク(小・中学生対象)	8月(3回)	龍子記念館	40人
ワークショップ(小学生対象)	8月、3月	龍子記念館	30人
高橋龍太郎コレクション連携企画関連トークイベント	12月	大田文化の森	70人
対話型鑑賞プログラム「おしゃべり鑑賞会」	年10回	龍子記念館	80人
対話型鑑賞普及のための講演会	未定	未定	50人
記念館講座	12月～3月のうち1回	大田文化の森	70人
記念館ノート発行	3月	-	-
地域連携・美術館コンサート(ジャズライブ)	5月、8月	龍子記念館	100人
展示作品等のYouTubeでの発信	通年	-	10,000閲覧
地域連携・講演会(通常展・特別展)	5月、2月	大田文化の森	120人
地域連携・アート研究会	5月～10月(5回)	ギャラリー南製作所	40人

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数
作品貸出(パラミタミュージアム/三重県・資料含む70点)	10月	-	-

熊谷恒子記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数
かなの美展「書家・熊谷恒子の原点—『古今和歌集』から振り返る—」	4月18日～9月27日	熊谷恒子記念館	500人
熊谷恒子没後40年企画展「熊谷恒子と京都江馬家の関係(仮称)」	10月17日～11月29日 (予定)	熊谷恒子記念館	300人
かなの美展「熊谷恒子の栄華—うれしいこゝろ・ありがとう—(仮称)」	12月19日～4月4日 (予定)	熊谷恒子記念館	450人
地域連携プログラム「紹(ろ)ざし 艶麗な日本刺繍(仮称)」	2月23日～3月22日 (予定)	熊谷恒子記念館	400人

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数
ギャラリートーク	月1回	熊谷恒子記念館	240人
かな書ワークショップ（小・中学生、親子対象）	9月5日、6日	大田文化の森	30人
書き初め体験	1月24日	大田文化の森	15名
記念館講座	12月～3月のうち1回	大田文化の森	50人
記念館ノート発行	3月	-	-
展示作品等のYouTubeでの発信	通年	-	-

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数
庭園公開	4月5日、5月2日～6日、10月31日～11月1日、11月3日	熊谷恒子記念館	300人

馬込アートギャラリー

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数
MAG展①	5月23日～9月6日	馬込アートギャラリー	600人
MAG展②	9月19日～11月29日	馬込アートギャラリー	400人
MAG展③	12月12日～3月22日	馬込アートギャラリー	600人
地域連携企画展	調整中	馬込アートギャラリー	500人
熊谷恒子関連常設展①	2月1日～6月28日	馬込アートギャラリー	650人
熊谷恒子関連常設展②	7月11日～11月29日	馬込アートギャラリー	650人
熊谷恒子関連常設展③	12月12日～3月22日	馬込アートギャラリー	600人

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数
教育普及プログラム① 『わたしたちの身近にいるモンスター（仮）』 講師：青山悟	8月(予定)	馬込アートギャラリー	15人
教育普及プログラム② 『Celebrate for ME(仮)』 講師：岡田裕子	3月(予定)	馬込アートギャラリー	20人
対話型鑑賞ワークショップ①	調整中	馬込アートギャラリー	調整中
対話型鑑賞ワークショップ②	調整中	馬込アートギャラリー	調整中

山王草堂記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数
徳富蘇峰に関する展示	通年	山王草堂記念館	8,000人

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数
馬込文士の足跡をたずねて散策会「大森貝塚発見物語 ～徳富蘇峰・井上馨・モースを中心に～」(仮)	3月27日	山王草堂記念館他	30人
ギャラリートーク	月1回	山王草堂記念館	100人
記念館講座	12月～3月のうち1回	大田文化の森	50人
記念館ノート発行	3月	-	-

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数
展示パネル更新	随時	山王草堂記念館	-

尾崎士郎記念館

①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数
尾崎士郎に関する展示	通年	尾崎士郎記念館	-

②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数
馬込文士の足跡をたずねて散策会「馬込文士村の花が 咲く～宇野千代と尾崎士郎～」	5月10日	尾崎士郎記念館他	30人
ギャラリートーク	月1回	山王草堂記念館	100人
記念館講座	12月～3月のうち1回	大田文化の森	50人
記念館ノート発行	3月	-	-

③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数
展示パネル更新	随時	尾崎士郎記念館	-

(4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業【定款第4条第4号】

区民への効果的なPRを図るため、協会が実施する事業を掲載した情報誌 Art Menu を作成し、DMや区内施設等で配布します。また、当協会の役割として期待されている「様々な団体とのネットワーク構築」や「文化団体の情報収集・発信」を強化するため、区内の文化・芸術情報を集めた情報紙 ART bee HIVE を作成し、新聞折込にて区内全域に配布します。さらに、幅広い層への情報発信として、区内のケーブルTV、公式ホームページ、メールマガジン、YouTube、X (旧 Twitter)、Instagram、LINE、Facebook 等のSNSを含めた様々なメディアを活用して情報発信を行います。令和3年度に情報紙のPR強化のため制作した公式PRキャラクター「リズビー」は、令和5年度に商標権を登録しました。協会全体の公式キャラクターとして活躍の場を広げることを目指し、キャラクターを活用した多様な広報活動を行うことで、協会の認知度向上に努めていきます。また、多様化する区民ニーズを収集するために、文化芸術に関するアンケート調査を実施します。

事業名	内容
大田区文化振興協会情報誌「Art Menu」	協会の主催・共催事業の情報、施設情報を掲載。区内公共施設・駅で配布の他、チケット購入者等へDM送付。回数：年6回偶数月発行
大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』	区内の文化・芸術に携わる文化人や施設、イベント情報を掲載。新聞5紙に折り込み、区内全域に配布。回数：年4回季刊発行
大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』区民記者	大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』の企画や取材等、情報紙制作への協力を目的として、公募により年度単位で活動を委嘱。
ART bee HIVE PR キャラクター“リズビー”	大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』のPRキャラクターの認知度向上を目的としたキャンペーン事業を実施。
ART bee HIVE ショートムービー	情報紙『ART bee HIVE』で収集した文化人や施設を活用した、区内の文化・芸術的資源やその魅力を伝える、配信動画。回数：年2本
ホームページ	協会の主催・共催事業の情報、施設情報の他、広報誌の案内、イベントカレンダーによる貸館情報を掲載。
SNS	協会公式X、LINE、Facebook、Instagram、YouTubeを運営中。文字情報だけでなく、画像や動画を活用した主催・共催事業の宣伝の他、施設情報、広報誌の発行案内等を配信。
区広報課への情報提供	区報、区設掲示板、まなびの森、シティプロモーションサイト「UniqueOta」を中心に施設、協会の主催・共催事業、広報誌に関する情報を提供。
大田区の文化芸術に関するアンケート調査の実施	多様化する区民ニーズを収集するために、大田区の文化芸術に関するアンケート調査を実施。

(5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業【定款第4条第5号】

①管理運営の取組

文化拠点施設には、大田区民プラザ、大田区民ホール、大田文化の森のホール・展示室・集会室等の機能を持った施設があります。

各施設では、地域の文化振興につながるよう、区と連携して良質な文化の提供と区民の自主的な文化活動を支援します。地域の中で文化活動に携わる人や団体を結び、輪を広げ、集客を図り、賑わいを創出します。より多くの区民に利用いただけるよう、以下の点に留意しながら管理運営を行っていきます。

- ◆施設や設備を良好に維持管理し、清潔な状態を保ち、安全で快適な環境づくりを行います。
- ◆施設利用者に、多様な文化情報の提供や施設の利用案内をすることで、コーディネート機能を発揮していきます。
- ◆ハード面・ソフト面の安全対策を強化するとともに、特別出張所や自治会等と連携し、区の防災対策を推進する上で期待されている指定管理者としての役割を果たしていきます。
- ◆施設の管理運営にかかる経費を不断に見直し、効率的な施設運営を行います。

②施設ごとの具体的な取組

大田区民プラザは、令和6年度以降、継続して行っている人気企画である「スタインウェイを弾こう！」をさらに発展し、国産ピアノとスタインウェイの弾き比べを行うイベントを行います。区民がハイクラスのピアノに触れて、大ホールの豊かな響きを感じる機会を創出します。また、避難訓練コンサートを開催し、災害対策への意識啓発及び施設の更なる安全強化を図ります。

令和8年度に区が実施予定の各種工事に際しては、工事期間中の利用者への影響を最小限に抑えつつ、安全で快適な環境整備のために協力します。

大田区民ホール・アプリコでは、利用者へのサービス向上と施設管理の強化のため、開館当初より使用している施設の設備や備品の更新等を行います。

令和9年1月には当館大ホールの要の設備である音響反射板ケーブルリール交換工事を行い、利用者への良好なサービスを継続的に提供できるよう整備していきます。

また、雨漏り修繕工事や停電時に稼働する蓄電池の交換等を行い、建物や設備の安全性や機能性を保ち続けられるよう施設の管理体制とともに、危機管理体制を強化していきます。

さらに、令和9年度にはアプリコ開館30周年を迎えるため、令和8年度は記念事業実施に向け検討を進め、特色を生かした事業を提供することで施設の認知度を向上させ、幅広い区民の皆様へ文化発信を行うとともに施設の稼働率向上を図ります。

大田文化の森では、ホール棟特定天井改修その他工事にて、舞台設備、空調設備等を更

新し、Wi-Fi等通信環境も整備し、映像配信等にも対応できるようになり、安全で利用しやすくなりました。集会棟ではエレベーターや全熱交換機を更新した他、照明もLED化し文化活動拠点施設として快適かつ安全性が確保された環境整備を進めました。令和8年度は、スカッシュコート予約システム運用を開始し、利便性の向上を図るとともに、予約状況の可視化を実現し、更なる利用率向上を図ってまいります。

また、区民から好評である陶芸体験教室を継続して実施する他、展示コーナー等の活用も検討し、施設の活性化を図ります。情報館の運営においても、図書コーナーではホール・多目的室を中心とした催事をより楽しめるよう、催事の関連資料を紹介します。近隣の保育園・幼稚園の団体利用を受け入れ、文化に触れる機会を提供します。マルチメディアコーナーではハザードマップの作成やAIに関する体験講座等の実施等、様々な年齢層の方々にご利用いただけるよう、ニーズに対応した多様な自主企画講座を提供していきます。

施設名	所在地	主な施設
大田区民プラザ	大田区下丸子 3-1-3	大ホール（509席） 小ホール（198㎡） 展示室（372.9㎡） 他、リハーサル室、音楽スタジオ、会議室、和室、美術室等あり
大田区民ホール・アプリコ	大田区蒲田 5-37-3	大ホール（1,477席） 小ホール（210㎡） 展示室（420㎡） スタジオA（110.7㎡） スタジオB（57.7㎡）
大田文化の森	大田区中央 2-10-1	ホール（259席） 多目的室（313㎡） 展示コーナー（125㎡） 他、音楽スタジオ、創作工房、和室、集会室、情報館等あり

（6）その他この法人の目的を達成するために必要な事業【定款第4条第6号】

①利用者の利便性向上に資する付加サービス事業

施設利用者が主催する公演のチケットを受託し、窓口で販売します。

また、大田文化の森情報館においてコピー機やプリンターを設置し、利用者へのサービス（有料）を提供します。

②大田区から受託するスポーツ施設等の管理運営に関する事業

大田区民プラザの体育室及びトレーニングルーム、大田文化の森のスポーツスタジオは、引き続き区民が安心して利用できるよう、定期点検を着実にを行い、適切な管理運営を行います。

4 経費内訳

項目	定款	金額
(1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業	第4条第1号	146,027,300
(2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業	第4条第2号	22,268,000
(3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業	第4条第3号	149,372,000
龍子記念館	-	77,705,000
熊谷恒子記念館	-	16,587,000
馬込アートギャラリー	-	40,506,000
山王草堂記念館	-	8,872,000
尾崎士郎記念館	-	5,702,000
(4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業	第4条第4号	18,454,000
(5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業	第4条第5号	589,593,000
大田区民プラザ	-	218,311,000
大田区民ホール・アプリコ	-	126,280,000
大田文化の森	-	245,002,000
(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	第4条第6号	24,987,000
(7) 上記1号から6号を達成するために必要な人件費	-	351,259,000

**令和8年度
(2026年度)**

予 算 書

自 令和8年4月 1日

至 令和9年3月31日



公益財団法人 大田区文化振興協会

令和8年度予算書(正味財産増減計算ベース)

2026年4月1日から2027年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,846,500	2,846,500	0
② 事業収益	49,403,000	45,709,000	3,694,000
③ 受取補助金等	1,262,279,300	1,260,271,000	2,008,300
④ 受取寄付金	0	5,743,000	△ 5,743,000
⑤ 雑収益	2,802,000	2,206,000	596,000
経常収益計	1,317,330,800	1,316,775,500	555,300
(2) 経常費用			
事業費	1,301,960,300	1,307,816,000	△ 5,855,700
管理費	8,568,000	8,351,000	217,000
経常費用計	1,310,528,300	1,316,167,000	△ 5,638,700
当期経常増減額	6,802,500	608,500	6,194,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,802,500	608,500	6,194,000
一般正味財産期首残高	163,465,715	162,857,215	608,500
一般正味財産期末残高	170,268,215	163,465,715	6,802,500
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	5,743,000	△ 5,743,000
一般正味財産への振替額	0	△ 5,743,000	5,743,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	370,268,215	363,465,715	6,802,500

令和8年度予算書(正味財産増減計算ベース)内訳書

2026年4月1日から2027年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1 地域文化芸術の振興	小計	収1 利用者の利便性向上に資 する事業	他1 区から受託するスポーツ 施設等の管理運営	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	2,846,500		2,846,500
基本財産運用収入	0	0	0	0	0	2,846,500		2,846,500
② 事業収益	49,403,000	49,403,000	0	0	0	0		49,403,000
主催事業収入等	49,403,000	49,403,000	0	0	0	0		49,403,000
③ 受取補助金等	1,224,948,300	1,224,948,300	0	30,393,000	30,393,000	6,938,000		1,262,279,300
管理受託収入	987,447,300	987,447,300	0	30,393,000	30,393,000	0		1,017,840,300
事業補助収入	237,501,000	237,501,000	0	0	0	6,938,000		244,439,000
④ 受取寄付金	0	0	0	0	0	0		0
寄付金収入	0	0	0	0	0	0		0
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0		0
⑤ 雑収益	2,198,000	2,198,000	604,000	0	604,000	0		2,802,000
雑収入	2,007,000	2,007,000	604,000	0	604,000	0		2,611,000
受取利息収入	191,000	191,000	0	0	0	0		191,000
経常収益計	1,276,549,300	1,276,549,300	604,000	30,393,000	30,997,000	9,784,500		1,317,330,800
(2) 経常費用								
事業費	1,271,242,300	1,271,242,300	325,000	30,393,000	30,718,000			1,301,960,300
役員報酬	2,775,000	2,775,000	0	0	0			2,775,000
報酬	2,400,000	2,400,000	0	0	0			2,400,000
給料手当	212,329,000	212,329,000	77,000	3,716,000	3,793,000			216,122,000
賞与	54,739,000	54,739,000	0	768,000	768,000			55,507,000
退職給付費用	5,622,000	5,622,000	0	0	0			5,622,000
法定福利費	55,597,000	55,597,000	0	985,000	985,000			56,582,000
福利厚生費	3,594,000	3,594,000	0	47,000	47,000			3,641,000
通勤交通費	7,274,000	7,274,000	0	134,000	134,000			7,408,000
旅費交通費	1,198,000	1,198,000	0	4,000	4,000			1,202,000
会議費	593,000	593,000	0	0	0			593,000
通信運搬費	14,394,000	14,394,000	3,000	180,000	183,000			14,577,000
役務費	1,022,000	1,022,000	0	5,000	5,000			1,027,000
消耗什器備品費	3,432,000	3,432,000	0	225,000	225,000			3,657,000
消耗品費	29,212,000	29,212,000	122,000	882,000	1,004,000			30,216,000
修繕費	33,114,000	33,114,000	0	569,000	569,000			33,683,000
印刷製本費	23,872,000	23,872,000	0	61,000	61,000			23,933,000
光熱水料費	82,986,000	82,986,000	0	3,813,000	3,813,000			86,799,000
広告宣伝費	4,901,000	4,901,000	0	0	0			4,901,000
事業委託費	61,481,000	61,481,000	0	0	0			61,481,000
管理委託費	529,673,000	529,673,000	62,000	18,395,000	18,457,000			548,130,000
委託費	50,918,000	50,918,000	0	44,000	44,000			50,962,000
雑費	266,000	266,000	0	0	0			266,000
手数料	4,380,000	4,380,000	7,000	21,000	28,000			4,408,000
賃借料	27,668,000	27,668,000	14,000	478,000	492,000			28,160,000
保険料	1,879,000	1,879,000	0	52,000	52,000			1,931,000
諸謝金	7,559,000	7,559,000	0	0	0			7,559,000
租税公課	25,672,300	25,672,300	40,000	13,000	53,000			25,725,300
支払負担金	232,000	232,000	0	1,000	1,000			233,000
支払助成金	22,460,000	22,460,000	0	0	0			22,460,000
管理費						8,568,000		8,568,000

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1 地域文化芸術の振興	小計	取1 利用者の利便性向上に資 する事業	他1 区から受託するスポーツ 施設等の管理運営	小計			
役員報酬						1,925,000		1,925,000
法定福利費						1,866,000		1,866,000
通勤交通費						47,000		47,000
旅費交通費						163,000		163,000
会議費						18,000		18,000
通信運搬費						70,000		70,000
消耗品費						50,000		50,000
委託費						3,047,000		3,047,000
雑費						60,000		60,000
手数料						30,000		30,000
賃借料						40,000		40,000
保険料						117,000		117,000
諸謝金						132,000		132,000
租税公課						3,000		3,000
研修費						1,000,000		1,000,000
経常費用計	1,271,242,300	1,271,242,300	325,000	30,393,000	30,718,000	8,568,000		1,310,528,300
評価損益等調整前当期経常増減額	5,307,000	5,307,000	279,000	0	279,000	1,216,500		6,802,500
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	5,307,000	5,307,000	279,000	0	279,000	1,216,500		6,802,500
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	5,307,000	5,307,000	279,000	0	279,000	1,216,500		6,802,500
一般正味財産期首残高	154,122,715	154,122,715	5,002,000	0	5,002,000	4,341,000		163,465,715
一般正味財産期末残高	159,429,715	159,429,715	5,281,000	0	5,281,000	5,557,500		170,268,215
II 指定正味財産増減の部								
受取寄付金	0	0	0	0	0	0		0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0	0	0	0		200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0	0	0	0		200,000,000
III 正味財産期末残高	359,429,715	359,429,715	5,281,000	0	5,281,000	5,557,500		370,268,215

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資の見込みについて

なし

報告第 31 号

公益財団法人大田区産業振興協会の経営状況に関する書類の提出について
地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき、公
益財団法人大田区産業振興協会の下記の書類を提出する。

令和 8 年 6 月 16 日

提出者 大田区長 鈴木 晶 雅

記

公益財団法人大田区産業振興協会の経営状況に関する書類

- 1 令和 7 年度事業報告書
- 2 令和 7 年度決算書
- 3 令和 8 年度事業計画書及び収支予算書

令和 7 年 度

公益財団法人大田区産業振興協会

事業報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

令和7年度 公益財団法人大田区産業振興協会 事業報告書

(目 次)

令和7年度 総括	1
1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業（定款第4条(1)関係）	2
2 区内中小企業の経営支援に関する事業（定款第4条(2)関係）	4
3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業（定款第4条(3)関係）	9
4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業（定款第4条(4)関係）	21
5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業（定款第4条(5)関係）	24
6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業（定款第4条(6)関係）	28
7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他機関等から 受託する事業（定款第4条(7)関係）	31
令和7年度 産業プラザ施設利用状況	31
施設利用収入状況	32
理事会・評議員会	34
協会組織強化	36

令和7年度総括

世界経済の先行きが不透明な状況が続く中、物価や資源価格が変動しており、企業収益や事業運営の不確実性が高まっています。こうした状況は区内産業にも影響を及ぼしており、燃料・電気代の高止まりや原材料費の上昇といった厳しい経営環境が継続しています。

公益財団法人大田区産業振興協会では、区内中小企業の皆様の事業活動を支援するため、多様な施策を展開してまいりました。相談対応の拠点である PiO フロントについては機能の強化を進め、区内中小企業にとって一層身近で信頼される支援拠点となるよう充実を図りました。

商業・サービス事業者に対しては、新たな挑戦を行う事業者への支援に加え、マルシェの開催や SNS・動画・Web サイト等を活用した情報発信を通じて区内商業事業者の魅力を広く発信しました。さらに、BtoC に加え、BtoB の視点も強化するため、バイヤー等を対象とした商談会を開催し、ビジネス機会の創出につなげてきました。

また、区内のものづくり企業が有する高い技術力について積極的に情報発信を行い、国内に加えて海外市場への販路拡大にも取り組んでまいりました。あわせて、区内中小企業の人材不足への対応として、企業の魅力発信の強化を図るとともに、採用力の向上や人材定着を促進する支援プログラムを実施してきました。

さらに、新たな分野への挑戦に取り組む区内中小企業の皆様の支援する事業として「HANEDA 共創プラットフォーム」を展開しており、「ベンチャーフレンドリー塾」「グローバルビジネス勉強会」「自社商品のつくりかた勉強会」といった各種勉強会に加え、「ビジネス英会話サロン」を実施することで、多くの挑戦意欲ある区内中小企業の皆様を力強く支援してまいりました。

公益財団法人大田区産業振興協会は、令和7年度に設立 30 周年式典を開催し、多くの皆様から励ましのエールをいただきました。これまで築いた区内中小企業の皆様との絆や豊富な経験、確かな実績に基づき、今後もチャレンジする皆様の応援に注力するとともに、大田区における中小企業支援の要として、その期待に応えてまいります。

1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業 【定款第4条(1)関係】

〔重点取組事項〕

- ・産業情報誌「テクノプラザ」は協会ホームページ上で特設ページを設置し、大田区企業の活性化を目指し、年間を通して先進的な取組を行う企業・経営者の取材記事を掲載した。
- ・大田区の「優工場」認定企業や地域の商業事業者について、SNS や Web サイトなどを活用して広く情報発信を行い、区内企業が持つ優れた技術や商品・製品の魅力を、区内外に向けて発信した。

① 大田区産業振興普及事業

【当初予算額 7,167,000 円（うち区補助）538,000 円】

【決算額 3,175,004 円（うち区補助）476,291 円】

(ア) 事業案内冊子の配布

- (a) 事業案内 令和6年度作成した3,000部の残部数を配布
- (b) 支援メニューブック 令和6年度作成した1,300部の残部数を配布



【事業案内】

(イ) 大田区工業ガイド Web 版の紹介（日本語版・英語版）

総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」及び大田区「令和6年度大田区ものづくり産業等実態調査報告書」に基づき大田区工業ガイド Web 版を公開

(ウ) 30周年記念事業

協会設立30周年を迎え、記念式典を執り行った。

② 産業情報誌の発行

【当初予算額 70,000 円（うち区補助）70,000 円】

【決算額 11,002 円（うち区補助）11,002 円】

協会 Web サイト内の「テクノプラザ Web 版」において、年間を通して先進的な取組を行う企業・経営者の取材記事を掲載した。

「テクノプラザ」	協会ホームページの更新 10回
----------	-----------------



【テクノプラザ ホームページ】

③ 産業情報受発信事業

【当初予算額 4,822,000 円（うち区補助）4,522,000 円】

【決算額 3,378,297 円（うち区補助）3,198,297 円】

(ア) 区内中小企業の情報発信

・区内中小事業者（大田区「優工場」認定企業、商い事業者、人材採用成功企業等）を、ホームページ等を通じて広く周知した。

(イ) 協会ホームページによる情報発信

<https://www.pio-ota.jp/>

・年間アクセス件数：60,180 件

・年間閲覧ページ数（PV）：224,895 件

※年間アクセス件数及び閲覧ページ数は

サブサイト「大田区産業プラザ」、「大田区研究開発型企業ガイド」、「おしごとナビ大田区」等の件数を含まない。



【協会ホームページ】

(ウ) プレスリリース配信サービスの活用

・プレスリリース配信サービス「PR TIMES」を活用し、12回の発信を行った。

(エ) 公式 LINE (OTA デジタル×Pi0) による情報発信

・公式 LINE OTA デジタル×Pi0（登録者数 2,044 人）

【重点取組事項】

- ・大田区産業プラザ1階「Pi0 フロント」では、区内中小企業の経営基盤の強化や創業促進などのため、ビジネス相談（専門家派遣）、創業相談（創業相談窓口）及びデザイン相談（Pi0 デザイン工房）を実施した。さらに、大田区産業の総合相談窓口として、館内の支援機関・団体をはじめ、各支援機関等との連携強化を図りつつ、専門的な相談窓口への橋渡しなど相談者が支援を受けるために必要なコーディネートを行った。
- ・専門相談員による「創業相談窓口」は延べ約 1,000 回の相談に対応し、継続的な相談支援や国の特定支援事業案内を行い、区内での創業を促進した。
- ・商業分野の事業では、成長意欲があり、新たな挑戦を行う事業者 15 社に対して、専門的知見の提供及び取組に係る費用の一部助成を行い、その取組の実現を支援した。

① 中小企業情報化支援

【当初予算額 5,631,000 円（うち区補助）3,090,000 円】

【決算額 4,568,406 円（うち区補助）2,527,906 円】

ホームページ PR ツール作成支援サービス（Pi0 デザイン工房）

区内中小企業のホームページをはじめ、ポスターやチラシなどの各種 PR ツールの作成を、デザインを専門とする専門員が支援することで自社製品やサービスの PR を促進した。

利用回数	延べ 265 回	新規利用者数	17 社
------	----------	--------	------

② ビジネスサポートサービス

【当初予算額 8,127,000 円（うち区補助）8,127,000 円】

【決算額 3,320,827 円（うち区補助）3,320,827 円】

(ア) ビジネスサポート相談（専門家派遣）

区内中小企業等が抱える経営、販路開拓、技術力や生産性の向上、事業継承などの様ざまな課題に対し、解決を図るため、専門家（支援協力者）等を派遣する相談事業を実施した。

専門家派遣回数	延べ 355 回	支援協力者登録数	97 人
---------	----------	----------	------

(イ) Pi0 フロント

Pi0 フロントにおける相談等利用実績

内容	利用件数（延べ）
創業相談（創業相談窓口）	997 回
ビジネス相談（専門家派遣）	355 回
デザイン相談（Pi0 デザイン工房）	265 回
窓口相談	114 回
電話相談	228 回



【Pi0 フロント】

館内案内	805 回
その他利用（他事業打合せ、見学等）	295 回
合計	3,059 回

(ウ) 経営サポートセミナー

実施日	テーマ等	参加者数
令和7年6月6日	「金融機関向け 協会商いサービス部事業説明」 会場：大田区産業プラザ 3階特別会議室 内容：商いサービス部各係の事業（商いセールス係、Pi0 フロント係、勤労者共済係）について紹介した。	31 人

③ 銘店への道事業

【当初予算額 10,547,000 円（うち区補助）10,547,000 円】

【決算額 6,479,410 円（うち区補助）6,479,410 円】

(ア) 銘店への道事業

小売店、飲食店及びサービス業事業者が行う新たな価値を創出する取組について、店舗設計や商店経営等の専門知識・経験を持つコーディネーターが支援した。加えて、その取組にかかる費用の一部を助成した。

申請件数	採択件数
28 件	15 件



【銘店への道事業案内】

(イ) デジタルを活用した情報発信

LINE 公式アカウント「商い Pi0」による情報発信・案内を実施した。

配信回数	登録者数
60 回	409 人



【LINE 公式アカウント商い Pi0】

④ 創業者支援事業

【当初予算額 22,651,000 円（うち区補助）22,651,000 円】

【決算額 18,031,754 円（うち区補助）18,031,754 円】

(ア) 創業相談窓口の設置

(a) 創業相談窓口

区内での創業希望者または創業して間もない方を対象に、事業計画作成、資金調達、販路拡大の方法など、専門相談員による創業時の様ざまな課題への助言等を行う相談業務を実施した。

相談件数	延べ 997 回

(b) 創業者交流会

実施日	テーマ等	参加者数
令和7年11月20日	「創業者交流会」 会場：大田区産業プラザ 5階会議室 内容：①資金調達セミナー（東京都信用保証協会） ②事例紹介・勤労者共済事業紹介 ③参加者による「1分自己紹介」 ④交流会（名刺交換等）	18人

(c) 大田区創業ポータルサイト「創業Pi0」

区内での創業を促進するとともに、動画講座配信に向けた基盤整備として、ビジネス環境、創業相談の概要、創業後の支援体制等を盛り込んだポータルサイトを開設した。

https://www.pio-ota.jp/management_founding/startup_support/



【創業Pi0】

(イ) ユナイト助成

助成件数 5社（申込件数 5社）	
企業名	事業テーマ
株式会社ファーマーユー	夏みかんの加工搾汁残渣アップサイクル
株式会社パルセック	心脈デバイスの設計および試作
株式会社 Dhwincycle	歯科医院向けライトケア専用新規予約システムの MVP 開発
株式会社 ICOMA	次世代電動モビリティ『tatamo（タタモ）』改良版（SXSW 向け）試作開発
BiSteed 株式会社	高齢者会話デバイス『PokePal（ポケパル）』の試作品開発



【ユナイト助成チラシ】

(ウ) ベンチャーピッチ

HANEDA 共創プラットフォームの勉強会「ベンチャーフレンドリー塾」の第20回開催において、「ベンチャーピッチ」を実施した。主にハードウェアを必要とする区内外スタートアップ企業6社がピッチに登壇し、ものづくりパートナーとの連携や資金調達、販路拡大に向けて、課題やニーズを全体にシェアした。ベンチャーフレンドリー塾会員企業のほか、ピッチ登壇者及びパートナー企業含め計49名が参加した。

概要			
開催日	令和8年2月25日	会場	Pi0 PARK
HANEDA 共創プラットフォーム「ベンチャーフレンドリー塾」の第20回として開催 【ピッチ登壇企業】（6社） 株式会社 Aladdin、株式会社ウイズアクア、KiMiTo、株式会社トコシエ、 Forex Robotics 株式会社、株式会社プラネッツ			

(エ) スタートアップ誘致

イベント名	大田区ものづくり丸わかりツアー
概要	受発注促進とスタートアップ誘致を目的とし、ビジネスモデル上、ハードウェアを必要とするスタートアップを中心に 42 人が参加。前半はテクノWING に入居するものづくり企業を視察、後半は Pi0 PARK に移動して大田区ものづくり企業とのワークショップを行った。
開催日・会場	令和7年9月24日 テクノWING
参加者数	42人

イベント名	台湾スタートアップを中心とした中小企業視察団交流イベント
概要	台湾のスタートアップ関連企業と区内企業のビジネス機会創出や誘致を目的として、Pi0 PARK にて交流イベントを開催。日本市場に興味のあるハードウェアを必要とするスタートアップ企業や AI 関連企業などが参加した。協会及び台湾企業各社のプレゼンや意見交換、名刺交換のほか、羽田イノベーションシティ Zone B の KAWARUBA (川崎重工業株式会社のイノベーション共創拠点) を見学し、今後の連携や誘致に繋がる交流機会となった。
開催日・会場	令和7年11月18日 Pi0 PARK
参加者数	台湾スタートアップ 関連企業 10社 21人 大田区企業 7社 7人

イベント名	宇宙を目指すスタートアップと製造業の交流会
概要	宇宙開発に取り組むスタートアップ企業と区内製造業企業の連携創出を目的として、本イベントを開催した。基調講演やショートピッチに加え、1対1のミニマッチングや交流会などを実施。全編を通じて、技術的なマッチングの促進や有望なスタートアップ企業の区内誘致を図った。区内外から多くの宇宙スタートアップ企業が参加したことで、新たなネットワーク層へのアプローチにつながる機会となった。
開催日・会場	令和8年2月20日 Pi0 PARK
参加者数	宇宙スタートアップ 10社 14人 大田区企業 10社 14人 来賓・オブザーバー 16人



⑤ 工場表彰制度（優工場）

【当初予算額 4,586,000 円（うち区補助）4,486,000 円】

【決算額 3,688,070 円（うち区補助）3,688,070 円】



【優工場ホームページ】

申込企業	10 社
認定工場	<p>広沢電機工業株式会社(総合部門賞及びまちに優しい部門賞) 株式会社三美テックス(総合部門賞及び人に優しい部門賞) 電化皮膜工業株式会社(審査員特別賞) 大肯精密株式会社 株式会社グーテンベルク 有限会社里中精機 三和打抜工業株式会社 信和パーツ株式会社 株式会社北海鉄工所 株式会社渡辺精機</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 【実地調査】 【優工場パンフレット】 </p>
累 計	319 社 実数 198 社（令和 8 年 3 月末時点）
実地調査	令和 7 年 9 月 1 日、3 日、4 日
審 査 会	令和 7 年 10 月 20 日
表 彰	令和 8 年 1 月 30 日

・アンケート調査の実施

前年度（令和 6 年度）認定工場 12 社にアンケートを実施。従業員の士気が向上した、認定への取組が人材採用に繋がったなど、全ての企業が同事業に対して満足しているとの回答を得ている。

〔重点取組事項〕

- ・「受・発注商談会」は、年1回（12月）参加企業169社（発注企業50社、受注企業119社）で開催。当日のキャンセルに際しても、追加商談のセットや技術連携相談員によるヒアリングなどにより空白時間をなくすことで参加企業へのサービス向上に努め、473件の商談案件を提供した。
- ・「Meet New Solution」は、会場を有楽町にある東京都のスタートアップ支援拠点「Tokyo Innovation Base (TIB)」に変更し、経済産業省関東経済産業局および東京都の後援のもと展示会を開催した。「ハードウェアスタートアップ×町工場×AI=イノベーション」を新たなテーマに掲げ、例年以上に大田区の強みである町工場の高い技術力・開発力に焦点を当てた内容とした。本展示会には、大田区、墨田区、板橋区、江戸川区をはじめ、北九州、岡山、愛知、浜松、相模原、仙台など全国有数のものづくり自治体が出展し、各地域の強みや先進的な取組を発信した。その結果、会場全体が大きな熱気に包まれ、展示会としての存在感と訴求力が一層高まった。
- ・海外取引相談では、PiO PARKにおける海外情報の提供機会として、グローバルビジネス勉強会を6回、海外取引セミナーを4回、ビジネス英会話サロンを6回実施した。このほか、令和7年9月に海外企業との取引拡大を希望する区内中小企業5社とともに、台湾の政府機関や企業など6か所を訪問し、ビジネスマッチングを実施した。さらに、海外見本市については、11月にドイツで開催された医療機器用部品をテーマにしたCOMPAMEDに区内中小企業4社と共同出展した。各出展者とも来場者に対して積極的にプロモーションを行い、数多くの商談が生まれた。その他、窓口・訪問相談や国際取引あっせん等を通じ、海外取引を志向する企業の裾野を広げるとともに、国際的な企業間連携の深化を推進した。
- ・商業分野の事業では、高い集客が見込める大田区内の2エリアで「おたイチ推しマルシェ」を開催し区内商業事業者の新規顧客獲得、販路拡大を図ると同時に、来場者には区内商店の魅力の再発見を促した。
- ・羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業では、PiO PARKの運営を通じて、区内中小企業の取引拡大等に向けた取組を展開した。

① 受・発注相談

【当初予算額 29,577,000円（うち区補助）29,049,000円】

【決算額 29,065,130円（うち区補助）28,484,230円】

(ア) 相談業務（工業）

成立件数・金額	相談件数		巡回件数
107件	受注	発注	832件
45,404千円	28件	717件	

(イ) 発注開拓（工業）

技術連携相談員及び担当職員による区外の大手企業等への発注開拓

訪問先	183 件
活動成果	成約案件：12 件 成約金額：17,503 千円

(ウ) 受・発注商談会

ものづくり受発注商談会

実施日		
令和7年12月5日 第64回ものづくり受発注商談会 in 大田		
参加企業	発注・受注	商談件数
169 社	50 社・119 社	473 件



【ものづくり受発注商談会 in 大田】

② 海外取引相談事業

【当初予算額 23,526,000 円（うち区補助）23,407,000 円】

【決算額 17,271,117 円（うち区補助）17,219,617 円】

(ア) 窓口・訪問相談

(a) 相談件数（合計 528 件）

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中国	29 件	欧州	127 件
台湾	65 件	北米	28 件
ASEAN	82 件	その他	197 件

(b) 国内における外国機関・企業との商談、打合せ件数（合計 234 件）

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中国	17 件	欧州	81 件
台湾	67 件	北米	12 件
ASEAN	31 件	その他	26 件

(c) 国際取引あつせん

発注案件紹介件数	成約件数	成約金額
54 件	6 件	13,877 千円

(イ) 国際連携の推進

(a) グローバルビジネス勉強会

実施日	テーマ及び講師	参加人数
令和7年5月22日	「オーストリアをはじめとするヨーロッパのビジネス・イノベーションプロセス」 登壇者：ウィーンエアポートシティ（VIE）	16 人

令和7年7月15日	「国際人材の活躍」 登壇者：株式会社サンパワー	20人
令和7年9月25日	「台湾出張報告および会員企業海外トピック情報共有」 登壇者：会員企業6社	24人
令和7年11月25日	「専門商社の中小企業輸出入サポート」 登壇者：日鉄物産マテックス株式会社	16人
令和8年1月28日	「海外展示会について」 登壇者：株式会社精研	24人
令和8年3月18日	「ASEAN」 登壇者：日本アセアンセンター	11人

(b) 海外取引セミナー

実施日	テーマ	参加人数
令和7年6月11日	米中関税戦争の行方 ～日本経済及び中小企業への影響～	69人
令和7年12月11日	インドビジネスの可能性と課題 ～大田区産業との親和性～	43名
令和8年2月24日	海外取引セミナー「大田区中小企業のためのドイツを 起点としたEUへの展開」	25名
令和8年3月19日	海外取引セミナー「損得から考える貿易実務と国際物 流」	24名

(c) ビジネス英会話サロン

実施日	テーマ	参加人数
令和8年2月2日	「海外商談の基礎理解」	26人
令和8年2月9日	「製品紹介の効果的な表現」	27人
令和8年2月16日	「価格提示と交渉の基礎」	24人
令和8年3月2日	「模擬海外展示会」	20人
令和8年3月9日	「クレーム発生時の交渉術」	23人
令和8年3月16日	「中華圏ビジネスパーソンとの英会話」	16人

(ウ) 外国語文書翻訳・海外企業信用調査

文書翻訳サービス	11件
海外企業信用調査	11件

(エ) 英文企業ガイドの活用

Web版の英文企業ガイド「PROFILES OF COMPANIES」を活用し、海外見本市への出展や、海外企業・機関との打合せの際に区内中小企業をPRした。区内中小企業57社を掲載中。

<https://www.manufacturers-ota-tokyo-japan.net/>



(オ) 海外市場開拓（商談会）

日程、訪問国・地域	参加企業数	訪問機関・企業数	成果
令和7年9月9日から12日まで 台湾	区内中小企業 5社	台湾研究機関・ 企業など6か所	各所にて区内企業と 台湾企業が相互にブ レゼンテーション等 を実施した。
令和8年1月21日から24日まで タイ	協会単独	タイの日系企業 など6か所	各所にて区内産業を PR



(カ) 海外機関、企業からの来訪

件数	人数	主な視察者
13件	192人	台湾金属工業開発研究センター、ザンビア視察団、 在日ドイツ商工会議所、エチオピア視察団、台湾 ITRI 中部院、米国フロリダ州パスコ郡経済開発公 社、台湾スタートアップ視察団、日独産業協会、台 湾新創業総会など

③ 大田区加工技術展示商談会

【当初予算額 19,360,000円（うち区補助）16,610,000円】

【決算額 19,337,403円（うち区補助）16,559,903円】



開催日	参加企業・団体	来場者	商談件数
令和7年 9月5日	107社・団体	821人	1,302件
概要	<p>「企画展示」として、国内の工作機械メーカーを誘致し、実機を展示することで、出展者及び来場者の双方にとって有益かつ意義のある展示となるように工夫した。当日は台風の影響により、来場者数は減少したものの滞留時間が長く、商談を目的とした来場者が多かったため、活発な商談が行われた。会場となった東京流通センターでは初開催ではあったが、関係者や出展者との緊密な連携により、内容の濃い商談会となった。</p>		 <p>【会場風景】</p> 

④ 国内見本市への出展支援

【当初予算額 17,405,000 円（うち区補助）13,521,000 円】

【決算額 16,529,094 円（うち区補助）12,722,094 円】

(ア) ものづくり産業 PR 展示会

展示会名	会期及び会場	成 果
テクノフロンティア 2025	令和7年7月23日から25日まで 東京ビッグサイト	商談件数 1,546 件
概要	<p>会場では、「技術に魂。『東京・大田区』」のキャッチコピーを掲げ、大田区パビリオンを大きく設置した。3日間の通常出展に加え、出展経験の浅い企業を対象としたワンデー枠を設け、出展機会を提供した。また、自治体連携エリアにおいては、出展者によるプレゼンテーションや大田区の立地等のPRを積極的に実施した結果、多くの来場につながった。</p> <p>【主催者】一般社団法人日本能率協会 【大田区パビリオン参加企業】20社</p>	
		 <p>【大田区パビリオン】</p>  <p>【出展企業と協会職員】</p>

(イ) 新製品・新技術コンクール受賞企業 褒賞出展 8社

展示会名	会期及び会場	出展企業
第10回 ものづくり ワールド [名古屋]	令和7年4月9日から11日まで ポートメッセなごや	株式会社グーテンベルク
INTERMOLD 2025(第36回金型加工技術展)／金型展2025	令和7年4月16日から18日まで 東京ビッグサイト	フィーサ株式会社
バリシップ2025	令和7年5月22日から24日まで テクスポート今治	株式会社カットランドジャパン
JECA FAIR 2025	令和7年5月28日から30日まで インテックス大阪	株式会社三桂製作所
第37回 ものづくり ワールド [東京]	令和7年7月9日から11日まで 幕張メッセ	株式会社三和デンタル
テクノフロンティア2025	令和7年7月23日から25日まで 東京ビッグサイト	株式会社塩原製作所
第100回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2025	令和7年9月3日から5日まで 東京ビッグサイト	トキ・コーポレーション株式会社
JAPAN SHOP2026	令和8年3月3日から6日まで 東京ビッグサイト	株式会社 OUTSENSE

⑤ 海外見本市への出展支援

【当初予算額 12,009,000 円（うち区補助）10,951,000 円】

【決算額 10,358,173 円（うち区補助）8,855,073 円】



【ドイツ COMPAMED 出展】

共同出展

展示会名、会期及び会場	成 果	参加企業
ドイツ COMPAMED 2025 令和7年11月17日から20日まで	商談件数 272 件 継続案件 49 件	区内中小企業 4社との共同出展 (うち新規出展3社)

⑥ 自主企画展示会（産業フェア）

【当初予算額 19,450,000 円（うち区補助）16,689,000 円】

【決算額 15,609,300 円（うち区補助）15,380,800 円】

(ア) おおたイチ推しマルシェ

会 期	会 場	参加事業者数	購買人数
(1) 令和7年8月23日、24日 (2) 令和7年11月1日、2日	(1) イトーヨーカドー 大森店 (2) 大岡山駅前広場	(1) 18 店舗 (2) 15 店舗	(1) 1,228 人 (2) 2,109 人
概 要	<p>大田区の人通りの多い場所で区内商業事業者による販売・PR イベントを開催し、新規顧客獲得や販路拡大を目指すとともに、区民をはじめとした来場者には、大田区の商店の魅力の再発見と区内回遊を促した。</p> <p>また、会場で事業者や近隣商店街・大学との連携企画や子供向けのワークショップを実施することで、地域の賑わいを創出すると同時に、イベント価値の向上を図った。</p>		






【おおたイチ推しマルシェ案内チラシ】



【会場風景】

(イ) Meet New Solution OTA

会 期	参加事業者数	来場者数
令和7年12月12日	126 社（団体）	807 人
創出された出会いの件数	2,851 件（うち新規取引など出展目的達成につながる可能性が高い案件 400 件）	

概 要	<p>全国 11 の自治体をはじめ、創業支援施設・実証実験施設・スタートアップ支援機関など全国約 120 のチーム・団体が出展する中、「ハードウェアスタートアップ×町工場×AI＝イノベーション」を新たなテーマに掲げ、例年以上に大田区の強みである町工場の高い技術力・開発力に焦点を当てた内容とした。「Meet」「Inspire」「Challenge」「Dream」「Support」をキーワードに、社会的課題を解決する新たなソリューションを創出する企業が一堂に会し、大田区から次世代の成功に向けた挑戦と創造の推進を目的に開催。</p> <p>【企画・イベント】</p> <p>①特別講演 「AI が新たな労働力となる ～ハードウェア&ソフトウェアにおけるものづくりへのインパクト～」 講師：(株) pluszero</p> <p>②ピッチイベント 「全国から集結！スタートアップピッチ 2025」</p> <p>③基調講演 「ハードウェアスタートアップ支援最前線：政策と地域産業の交差点から」 講師：(独) 中小企業基盤整備機構</p> <p>④トークセッション 「日本一ベンチャーフレンドリーなまち 大田区を目指して」 登壇者：中小企業基盤整備機構 創業・スタートアップ支援部長、 (株) 浜野製作所、(有) 安久工機、(株) ICOMA、東日本旅客鉄道(株)</p> <p>⑤各団体・企業の事業紹介（東京都、大田区、東京工科大学など）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【会場風景】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【トークセッション】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【全国から集結！スタートアップピッチ】</p> </div> </div>
-----	--

⑦ 商い・サービス産業取引相談

【当初予算額 23,972,000 円（うち区補助）23,172,000 円】

【決算額 21,188,565 円（うち区補助）20,130,365 円】



(ア) 相談業務（商業）

専門相談員（あきない活性化コーディネーター）による区内商
い関連事業者への訪問調査

訪問件数	延べ 853 件
------	----------



【商いPiO ホームページ】

(イ) フード展示商談会

実施日・会場	内 容
令和7年10月10日 PiO PARK	「第9回フード展示商談会 in 大田」 ・出展者（売り手側）18社 ・来場者（買い手側）104人 ・商談件数：100件

(ウ) 大田区次世代商人～あきない成長プログラム～

現役で活躍しているバイヤー・専門家等が講師となり、個別講義を中心としたプログラムを実施することで、区内商業事業者の経営力・商品力をより一層向上させ、今後の販路拡大や経営者としての成長を目指した。

参加店舗数	個別講義回数
8店舗	42回

(エ) 商業の魅力発信



大田区の商業・商店の魅力をより広く伝え、大田区のイメージ向上、店舗への集客向上を図ることを目的に、個性的な店舗を集めた「珈琲御朱印マップ」を製作した。掲載店舗を回遊する御朱印スタンプラリーを実施することで、広い層に対して大田区商業をアピールするとともに、各店舗への訪問者・購買者の増加に寄与した。



参加店舗数	制作部数
21店舗	4,200部



【珈琲御朱印マップ】

(オ) 商業系展示会への出展

展示会名	会期及び会場	成 果
東京インターナショナル ギフト・ショー秋 2025 第18回 LIFE×DESIGN	令和7年9月3日から5日まで 東京ビッグサイト	名刺交換件数 799件 商談件数 203件
概要	<p>日本最大のパーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市である「ギフト・ショー」に大田区パビリオンを設け、区内事業者と共同出展した。同展示会は100回目を迎えるメモリアルな開催であり、セミナーなどのイベントが積極的に行われ、3日間を通して来場者も多く、会場全体で賑わいが見られた。</p> <p>【主催者】株式会社ビジネスガイド社 【大田区パビリオン参加企業】12社</p>	 <p>【大田区パビリオン】</p>  <p>【商談の様子】</p>

展示会名	会期及び会場	成 果
第 60 回スーパーマーケット・ トレードショー2026	令和 8 年 2 月 18 日から 20 日まで 幕張メッセ	名刺交換件数 1,459 件 商談件数 468 件
概要	<p>食品流通業界に最新情報を発信する業界最大級の商談展示会「第 60 回スーパーマーケット・トレードショー2026」に共同出展した。</p> <p>同展示会は全国から多数の小売・卸・メーカーが来場し、会場全体で活発な商談が行われた。また完全招待制であることから、他の食品系展示会と比較してもターゲットが明確であり、確度の高い具体的な商談が活発に行われた。</p> <p>【主催者】一般社団法人全国スーパーマーケット協会 【大田区パビリオン参加企業】10 社</p>	 <p>【大田区パビリオン】</p>  <p>【商談の様子】</p>

⑧ 羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業

【当初予算額 37,814,000 円（うち区補助）23,930,000 円】

【決 算 額 29,624,358 円（うち区補助） 8,035,938 円】



PiO PARK のイベント開催、コワーキング及びショーケーシングの運営を適時かつ適切に行った。また、独自のイベント開催等を通じて利用者や区内中小企業への産業支援、連携促進にも取り組み、イベントやショーケーシングをきっかけとした連携や成約事例が生まれた。



【PiO PARK】

（ア） PiO PARK 利用促進

SNS(X、TikTok 等)を活用して、PiO PARK で開催されるイベント情報等を発信するほか、ホームページを充実させ施設利用促進のためのプロモーションを行った。また、ショーケーシングエリアを大幅にレイアウト変更するとともに展示品にもバラエティを持たせ、より多くの方々が楽しめるスペースとした。

（イ） 協会や区が主催するイベントの運営・支援

協会主催のイベントでは、宇宙開発に取り組むスタートアップ企業と区内製造業企業の連携創出を目的としたマッチングイベントなどを開催し、技術的なマッチングの促進や有望なスタートアップ企業の区内誘致を図った。

(ウ) 利用者に対する産業支援

HANEDA 共創プラットフォームをはじめとする協会主催事業への参加促進、利用者からの個別相談対応、利用者と区内中小企業との連携促進を行った。また、Pi0 PARK を活用して羽田イノベーションシティ入居者全体向けの交流会を適時開催し、交流機会を創出した。

(エ) 区外企業・機関との連携促進

区外（海外含む）からの視察の受け入れやイベント連携を積極的に行い、区内中小企業の技術力のPR、Pi0 PARK の紹介、連携機会の創出、産業の活性化を図った。

(オ) Pi0 PARK 利用実績

(a) Pi0 PARK 利用実績

延べ利用者数 合計	25,457 人			
イベント	開催件数	160 件	来場者 総数	延べ 10,557 人 (オンライン参加 715 人を含む)
コワーキング	内容			利用者数
	月額プラン契約件数（令和 8 年 3 月末時点）			32 件
	月額プラン利用者数			延べ 4,252 人
	1 日フリープラン利用者数			延べ 23 人
	時間利用者数			延べ 111 人
	無料体験者数			328 人
	特別会議室利用			63 件/延べ 902 人
ゲスト来訪者	視察者数（海外関係機関視察者(28 件 491 人)を含む)			1,981 人
	ショーケース見学見学者数			延べ 6,153 人
	その他（テナント企業利用等）			延べ 1,150 人
マッチング	ショーケース等をきっかけとした成約数			2 件

(b) イベント【協会主催イベント（抜粋）】

超専門技術ミニ展示会（テーマを絞ったニッチ分野の小規模展示会）

イベント名	内容			
「大きいモノ、 数モノ展」	「大物部品の加工」や「量産技術」			
	令和 7 年 7 月 17 日	出展者 21 社	来場者 371 人	商談件数 493 件
「長持ち展」	「高耐久化」「長期利用」「省エネに貢献する技術」 「社会インフラのメンテナンス効率化の技術」			

	令和7年12月4日	出展者 23 社	来場者 361 人	商談件数 637 件
「すっきり展」	「浄化」・「鈍化」・「美化」・「整理整頓」の技術			
	令和8年3月12日	出展者 20 社	来場者 205 人	商談件数 341 件

HANEDA 共創プラットフォーム（会員制の勉強会）

内容	開催回数	参加者数
グローバルビジネス勉強会	6 回	延べ 111 人
ベンチャーフレンドリー塾	6 回	延べ 225 人
自社商品のつくりかた勉強会	6 回	延べ 112 人
ビジネス英会話サロン	6 回	延べ 136 人

(c) ショーケーシング

レイアウトを変更し、より見やすい魅力的なスペースとした。常設展示（約 30 社のサンプルを展示）を随時増やしているほか、テーマ別の企画展示を行い、区内中小企業の技術力や連携事例等を発信した。

期 間	企画展示内容
令和7年7月から8月まで	インダストリアルパーク羽田大田区産業施設 入居企業企画展示

⑨ 知的財産・シンクタンク事業

【当初予算額 980,000 円（うち区補助）830,000 円】

【決 算 額 197,456 円（うち区補助）197,456 円】

(ア) 知的財産の保護・活用

知的財産の戦略的活用による区内中小企業活性化、国際競争力強化、リスク低減や新事業創出などを目指し、大手企業の開放特許の区内中小企業活用を促進した。令和7年7月には、東京都知的財産総合センターと連携し、知財マッチングイベントを開催した。

イベント 開催日	概要	参加者数 (区内中小企業)
令和7年 7月29日	知的財産マッチング会 in 大田区 【シーズ発表】4社（株式会社ディスコ、三菱重工業株式会社、パナソニック IP マネジメント株式会社、日産自動車株式会社） 【主催】東京都知的財産総合センター 【後援】（公財）大田区産業振興協会	37 人 (21 人)

(イ) 客員社会連携コーディネーター制度による新事業創出

PiO PARK を主要拠点とした区内中小企業やスタートアップの課題解決と連携・支援強化の実現を目指す目的で、法政大学経営大学院と連携し、同コーディネーターの活動に求められる講義を実施。主に大田区に拠点を置く金融機関担当者や自治体職員、大田区産業振興協会職員などを講

義参加対象とし、受講修了者を社会連携コーディネーターとして認定した。

講義 開催日	概要	社会連携コーディネーター認定者数
令和7年 12月5日	社会連携コーディネーターの教育・育成に向けた講義 【会場】法政大学新一口坂校舎1階101教室 【参加対象】主に大田区に拠点を置く金融機関担当者や自治体職員、大田区産業振興協会職員など 【講師】法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科	34人 【認定者所属企業・団体】 大田区、大田区産業振興協会、さわやか信用金庫、芝信用金庫、城南信用金庫、三井住友銀行

(ウ) 各種イベントによる区内企業の知財活用促進

区内中小企業の知的財産の戦略的活用を目指して、INPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）や東京都知的財産総合センターと連携し、情報提供のセミナーを開催。

セミナー 開催日	概要	参加者数(区内中小企業)
令和7年 5月30日	市場×事業×知財で戦略的な経営判断を実現！IP ランドスケープ活用セミナー 【会場】大田区産業プラザ6階 F会議室 【参加対象】区内企業、協会職員、技術連携相談員等 【講師】独立行政法人工業所有権情報・研修館 【主催】（公財）大田区産業振興協会	3人 (3人)
令和7年 6月26日	他社と差がつくブランディング戦略と知財情報検索ツール活用セミナー 【会場】羽田イノベーションシティ ZONE K 201 PiO PARK 【参加対象】区内企業、協会職員、技術連携相談員等 【講師】独立行政法人工業所有権情報・研修館 【主催】（公財）大田区産業振興協会	21人 (17人)

4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業【定款第4条（4）関係】

【重点取組事項】

- ・おしごとナビ大田区は、ユーザーの視点を重視したサイトづくりを進め、求職者の利用を促進するとともに、求人企業の採用活動を後押しした。
- ・若者と中小企業とのマッチング事業において、前期では「採用力の向上」、後期では「若手人材の定着」をテーマに、セミナー、個別指導、就活生とのマッチングや対話イベント、フィードバックセミナー等を組み合わせた総合的な人材確保支援を行った。
- ・+WORK（内職あっせん・相談）事業は、求職者データベースのデジタル化に加え、求人企業データベースのデジタル化を進めた。求職者に対し、求人企業のニーズを意識したきめ細かいヒアリングを実施することでマッチング率を高め、採用につなげた。また、求人開拓の範囲を広げた結果、新たな募集案件の獲得につながった。

① おしごとナビ大田区

【当初予算額 2,406,000 円（うち区補助）482,000 円】

【決算額 1,614,272 円（うち区補助）48,730 円】



（ア）求人情報サイト「おしごとナビ大田区」の管理運営

	掲載社数・更新数等
求人広告掲載企業	128 社
新規登録企業数	25 社



【おしごとナビホームページ】

（イ）民間広告媒体を活用したPRの実施

「おしごとナビ大田区」ページへの流入促進を図り、令和7年12月、令和8年1月及び3月の3か月間、WEB広告（DSP広告）を実施。

② 中小企業次世代ものづくり人材の育成事業

【当初予算額 6,614,000 円（うち区補助）6,514,000 円】

【決算額 6,205,286 円（うち区補助）6,185,286 円】

（ア）都立産業技術高等専門学校との連携

都立産業技術高等専門学校（高専）の教授陣と連携し、同校で中小企業の若手技術者育成を目的として講座を実施した。基礎講座は通学型の講座として品川区と共同で実施。

講座科目別実績

	科目	単位 2時間/1回	開催期間	受講者数 (大田区在勤)
基礎講座 (大田区・品川区)	機械設計のための基礎	15 回	令和7年9月1日から10月17日まで	12(5) 人
	工業材料の基礎	6 回	令和7年10月21日から11月10日まで	10(6) 人
	加工と測定の基礎	6 回	令和7年11月12日から11月28日まで	2(1) 人

	ICTの基礎	6回	令和7年11月7日から12月12日まで	5(3)人
	電気回路の基礎	8回	令和7年9月24日から10月21日まで	13(4)人
	シーケンス制御の基礎	10回	令和7年10月23日から11月25日まで	10(4)人
出前講座 (大田区)	金属材料、プラスチック講座	2回	令和7年11月18日、25日	18人

(イ) おおた少年少女発明クラブの支援

小学生を対象としたものづくり教室の開催・運営を行うおおた少年少女発明クラブ
(事務局：NPO 法人大田教育支援の会) に対し助成を行った。

内 容	詳 細	活動日数	参加人数
定期活動	期間：令和7年4月から令和8年3月まで(毎月1～2回) 会場：大田区池上会館(科学室) ・「プチロボ」製作 ・「マルメロちゃん」製作 ・「電気回路基礎」(LEDの話、電気回路の実験) ・「ピカピカツリー」製作及び発表会 ・「キュートロボ」製作及び発表会	20日	会員数 30人 延べ参加者 482人
臨時活動	令和7年7月24日 「テクノフロンティア展示会」見学 令和7年8月4日 「工場見学」 令和7年7月22、28日、8月6、18日 「少年少女チャレンジ創造コンテスト」説明会・指導会 令和7年8月21日 「少年少女チャレンジ創造コンテスト」大田地区大会 令和7年12月12、13日 「少年少女チャレンジ創造コンテスト」全国大会 令和7年10月17日 「さわやか信用金庫物産展 展示発表」 令和8年1月18日 「ものづくり教育・学習フォーラム」参加	11日	

③ 若者と中小企業とのマッチング事業

【当初予算額 1,757,000円(うち区補助)1,657,000円】

【決算額 1,738,307円(うち区補助)1,598,307円】

前期：区内企業の採用力向上を主眼とした総合的な採用支援を行った。

参加企業数	7社
採用力向上セミナー	令和7年7月3日
参加企業への個別指導	令和7年7月17日、7月18日
オンラインマッチングイベント	令和7年8月5日(参加企業4社 参加求職者12人) 令和7年8月6日(参加企業3社 参加求職者11人)
フィードバックセミナー	令和7年8月22日
ハローワーク大森「大田区ものづくり企業バスツアー見学会」	令和7年12月19日 (参加企業5社 参加求職者 午前10人、午後8人)

区内専門学校の大田区近隣 業界セミナーへの参加	令和8年2月12日（参加企業1社）
----------------------------	-------------------

後期：区内企業の若手人材定着を主眼とした総合的な人材確保支援を行った。

参加企業数	7社
定着率を高める組織づくり セミナー	令和7年12月18日
参加企業への個別指導	令和8年1月21日、1月22日
対面＋オンライン就活生と の対話イベント	令和8年2月13日（参加企業3社 参加求職者8人） 令和8年2月16日（参加企業4社 参加求職者8人）
フィードバックセミナー	令和8年2月25日

④ +WORK（内職あっせん・相談）事業

【当初予算額 407,000円（うち区補助）407,000円】

【決算額 373,281円（うち区補助）373,281円】

（ア）あっせん相談

（a）あっせん・相談状況

求職 登録人数	求人		あっせん		採用 人数	問合件数
	企業数	人数	企業数	人数		
307人	112社	221人	199社	213人	124人	1,982件

（b）出張相談会

ハローワーク大森	6回開催
----------	------

（イ）求人開拓

求人企業への企業訪問	46件
------------	-----

（ウ）普及啓発用印刷物の作成

項目	内容	枚数等
内職求人開拓用 印刷物の作成・配布	世田谷区・目黒区・杉並区の中小企業等	986枚
	東京都立城南職業能力開発センター 大田校、各工場ア パート等にポスター掲示	10枚
内職求職者用 印刷物の作成・配布	大田区子育て支援課（区内児童館54か所を含む）に チラシ設置	約2,700枚
	ハローワーク大森 マザーズコーナーにチラシ設置	約300枚
	大田区シルバー人材センター、大田区いきいきしごと ステーション、大田区生活再建就労サポートセンター JOBOTAにチラシ設置	約300枚

〔重点取組事項〕

- ・ トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成は、高度先進的な製品・技術だけではなく、社会的課題解決やSDGsといった観点からも優れたものが多く採択された。採択企業は、概ね計画通りに開発を進め、本事業を通じて、次世代産業分野を見据えた新製品・新技術開発の促進につながった。
- ・ 新製品・新技術コンクールにおいても、社会的課題解決やSDGsといった観点から優れたものの応募が増えており、その中から有望な製品9件を選出した。最優秀賞は株式会社丸山製麺のらーめん缶「醤油らーめん」「ピリ辛味噌らーめん」が受賞。また、優秀賞は株式会社ICOMAの「タタメルバイク」とShisei Medical株式会社の上肢用揺動訓練装置「ハンドジグリング」が受賞した。
- ・ 次世代産業創造・産業クラスター形成事業においては、展示会への出展、各種セミナーの開催、大手企業（自動車メーカー）とのオープンイノベーション（出張展示会）などを行い、区内中小企業に次世代産業参入やイノベーション創出を後押しした。また、おた研究・開発フェアでは、引き続きコングレスクエア羽田で開催し、国内から多くの来場を集めた。

① 新製品・新技術開発支援事業

【当初予算額 77,763,000円（うち区補助）77,763,000円】

【決算額 56,385,566円（うち区補助）56,385,566円】

(ア) トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成

企業名	事業テーマ
AMX 株式会社	純国産大田区モデル新型光造形3Dプリンター向け材料開発における市場調査
デザイン&テクノロジー合同会社	犬の健康状態可視化システム
ユー・エー株式会社	最新の低侵襲内視鏡手術トレーニングに対応した、脳神経および泌尿器領域を含む人体モデルの開発
株式会社 cosmobloom	3U/6U型 CubeSat 向け膜面式デオービット装置の開発
ジオ・サーチ株式会社	護岸壁裏空洞調査システムの開発
株式会社 Piezo Sonic	ピエゾソニックモータを利用した小型ジンバルシステムの開発
株式会社 Xenoma	ヒューマンインタラクションハードウェアの量産化検討
有限会社プロトタイプ	モーターサイクルシミュレータを使用したリアルタイムモーションキャプチャスーツの開発

実用化製品化助成	助成4社 (申込件数 18社)
企業名	事業テーマ
株式会社クマクラ	超音波援用スクライバー (マイクロスクライバー) の製品化
株式会社 OUTSENSE	「SORIORIPANEL」の不燃化/高機能化に向けた検討
株式会社グーテンベルク	高機能樹脂「PEEK」の造形を可能とする新型 3D プリンターの開発
フィーサ株式会社	安定したイオンバランスの超薄型静電気除去装置

(イ) 新製品・新技術コンクール

新製品・新技術コンクール		表彰 9件 (申込件数 29件)
賞名	受賞企業及び製品・技術名	
最優秀賞	株式会社丸山製麺 らーめん缶「醤油らーめん」「ピリ辛味噌らーめん」	
優秀賞	株式会社 ICOMA タタメルバイク	
	Shisei Medical 株式会社 上肢用揺動訓練装置「ハンドジグリング」	
奨励賞	株式会社 Piezo Sonic 超音波モータ用 2 軸位置制御コントローラ「PSMC-RP1」	
	株式会社ロボットテクニカルセンター PC 遠隔操作溶接ロボットシステム「WELDEMOTO」	
	株式会社三桂製作所 ロックアウト差込み式 (クイックロック) 樹脂製ケーブルグランドコネクタ型式「E2BGQ」	
	株式会社ウィズアクア 「おてがる水産®」無換水魚介類飼育システム	
	株式会社コスモネット プレスショットカウンター「PSC-07MTL」	
	フィーサ株式会社 やさしい風のイオナイザ「M1」	





【新製品・新技術コンクール
第37回パンフレット】

② 次世代産業創造・産業クラスター形成

【当初予算額 52,808,000 円（うち区補助）50,124,000 円】

【決算額 37,717,981 円（うち区補助）35,296,081 円】

（ア）区内の研究開発型企业に関する情報の発信

項目	対象・内容目的等	参加社数・発行部数等
大田区研究開発型企业ガイド (Web サイト)	研究開発型の区内中小企業を Web サイト上で紹介。大学等研究機関や企業の研究開発者からの共同研究や実験用機材等の製作・加工、試作品製作等のニーズと大田区中小企業とのマッチングを促進 	149 社
大田区研究開発型企业ガイド (冊子)	登録企業の情報を掲載した冊子を作成。全国の大学、研究機関、企業へ送付及び各種展示会等で配布  【大田区研究開発型企业ガイド】	2,500 部
技術相談	Web サイトから大学や企業研究機関による技術相談に関する問い合わせ件数	76 件
研究開発マッチングシステム 登録会員企業への情報発信	会員企業に対し、区内外のセミナーやイベント、助成金、マッチング事業など技術革新や事業拡大、新事業参入等に役立つ情報をモノマッチニュースで配信	23 回
メールマガジンの配信	区内外企業、大学、研究機関等の登録者へ協会事業や各種産学連携等に関する情報を Future innovation OTA ニュースで発信	23 回

（イ）産学交流相談

技術連携相談員による相談業務の実施

項目	相談件数
研究開発相談	165 件

（ウ）オープンイノベーションマッチング

展示会名	会期及び会場	出展者数 (区内企業)	成果
京浜地域産業クラスター 新パートナー/新事業創生展示会	令和 7 年 7 月 10 日、11 日 トヨタ自動車本社内	40 社 (20 社)	交流件数 1,309 件

(エ) 各種セミナー・ワークショップの開催

次世代産業創造・産業クラスター形成セミナー/ワークショップ

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和7年 4月23日	「続アルミニウムの世界～その製造方法と合金の特長～」 講師：株式会社UACJ マーケティング・技術本部 R&D センター	39人 (36人)
令和7年 9月18日	「続・続アルミニウムの世界～表面処理の特長と製品例～」 講師：株式会社UACJ マーケティング・技術本部 R&D センター	31人 (22人)
令和7年 12月18日	「AMの期待と現状～AM何から始める?～」 講師：一般社団法人日本AM協会	43人 (19人)
令和8年 2月13日	「医工連携セミナー・見学会 -医療現場とつながる第一歩-」 講師：①学校法人藤田学園 藤田医科大学 事務局 産官学連携推進センター ②学校法人藤田学園 藤田医科大学東京 先端医療研究センター	17人 (17人)

(オ) 新産業分野の展示会への出展

展示会名	会期及び会場	成果
未来モノづくり国際 EXPO2025	令和7年7月16日から19日まで インテックス大阪	相談件数 31件

③ おおた研究・開発フェア

【当初予算額 20,752,000円（うち区補助）17,122,000円】

【決算額 20,560,152円（うち区補助）16,712,352円】

開催日	出展者数、商談件数等
第15回おおた研究・開発フェア 令和7年10月30日、31日	出展者数：93社・機関 来場者数：869人 商談件数：4,947件
概要	<p>大学等研究機関や企業が有する最先端の技術シーズの展示とともに、開発した技術の用途開発や共同研究先を探す出展者と技術革新を目指す来場者との出会いの場を提供することで、日本産業全体の技術革新や新産業分野への参入といったイノベーションの創出につなげた。</p> <p>特別講演① 令和7年10月30日 テーマ：「空想から始まる未来のモノづくり～ヒューマノイドロボットがいる未来の生活とは～」 講師：フューチャリスト ロボットデザイナー otuA Inc. 代表 デジタルハリウッド大学 教授 会場：PiO PARK 受講者数：74人</p> <p>特別講演② 令和7年10月31日 テーマ：「ペロブスカイト太陽電池の革新と実用化への展望」 講師：桐蔭横浜大学 医用工学部・特任教授 会場：PiO PARK 受講者数：147人</p>



【重点取組事項】

- ・ 1階 Pi0 フロントに移設した勤労者共済窓口では、大田区産業プラザの改修工事期間中においても窓口の場所が利用者に分かりやすくなるよう、案内掲示や会報誌等での周知を強化した。
- ・ 相次ぐ物価高騰により、チケット等の仕入価格が上昇している中、販売価格を可能な限り抑制するとともに、夏休み宿泊補助にキャンペーン補助の上乗せをしたほか、勤労者共済40周年記念事業として新企画や新商品を充実させた。
- ・ 区内での消費を促すことに加え、区内の魅力を知っていただくため、独自企画として屋形船での花火鑑賞・食事プラン、区内商業事業者の商品を集めた通販企画等を実施した。

① 加入促進事業

【当初予算額 25,050,000円（うち区補助）15,416,000円】

【決算額 19,801,590円（うち区補助）13,891,687円】

(ア) 勤労者共済事業の周知

大田区勤労者共済会報誌「ふれあい」を、全10回制作した。

このうち8回は全8頁フルカラーで印刷発行、2回はWeb版として発行した。

発行回数	発行部数
年10回（うちWeb版2回）	各号4,200部



【会報誌「ふれあい」】

(イ) 会員管理と事業参加・給付状況把握及び加入促進

勤労者共済会の募集リーフレットや入会案内冊子を活用し、加入促進員による個別訪問を継続実施した。

共済会員入会推移	令和5年3月末 (令和4年度)	令和6年3月末 (令和5年度)	令和7年3月末 (令和6年度)	令和8年3月末 (令和7年度)
事業所(社) (前年度比)	1,336 (-43)	1,290 (-46)	1,252 (-38)	1,214 (-38)
会員(人) (前年度比)	3,966 (-88)	3,847 (-119)	3,837 (-10)	3,777 (-60)

※令和8年3月31日末時点での数字であり、退会の届出の事情により、年度を遡って会員数等が変動する場合がある。

② 福利厚生事業

【当初予算額（自主）45,961,000円】

【決算額（自主）39,355,495円】



【大田区勤労共済 ホームページ】

(ア) 健康の維持増進に関する事業

スポーツ施設や人間ドック等の利用補助、インフルエンザ予防接種費用助成を行った。

人間ドック・ミニドック	利用補助	32件
インフルエンザ予防接種	〃	216件
公衆浴場入浴券	利用券の割引あっせん	1,348セット
区営プール利用券	〃	1,138枚
区営スポーツセンター	〃	18セット

(イ) レクリエーション事業

バスツアーの利用あっせん・補助の実施。

バスツアー補助	34件
---------	-----

(ウ) 宿泊補助

ライフサポート倶楽部の宿泊施設の利用に対し2,000円×6泊の補助を実施。

HIS 宿泊補助（国内外旅行）の利用に対し3,000円の補助を実施。

ライフサポート倶楽部宿泊補助	284件
HIS 宿泊補助	3件

(エ) 契約施設等の利用

大田区を含む4つの勤労者サービスセンターと協同し、レジャー施設や日帰り温泉施設の利用補助券を配布したほか、会員に好評の東京ディズニーリゾート補助券の配布、ならびにゴルフや大田区文化振興協会主催事業の利用補助券を発行した。

レジャー施設等	1,144枚	潮干狩り	13枚
東京ディズニーリゾート	1,003枚	大田区文化振興協会公演	62枚
釣り船	27枚	ゴルフ場	28枚
コストコ年会費補助	65件		

(オ) 各種チケットの割引あっせん

都内・近県のホテルやレストラン等バラエティに富んだ食事券や、映画、観劇、コンサート、美術館等のチケットをあっせんした。スポーツでは、プロ野球、大相撲のチケットをあっせんした。

映画鑑賞チケット	3,187 枚	大相撲観戦チケット	21 枚
映画デジタルチケット補助	1,258 枚	スポーツ観戦チケット	43 枚
スパ等チケット	444 枚	美術展チケット	868 枚
東京ドームシティ 得10 チケット	94 枚	食事券（施設利用購入分）	1,508 枚
プリペイドカード	825 枚	鑑賞券（演劇・音楽等）	365 枚
おふろの王様チケット	407 枚	物販	66 件
恋活パーティー参加	22 人	エアキャビン乗車券	94 枚
独自企画イベント	48 枚	その他テーマパーク等	796 枚

③ 給付事業

【当初予算額（自主）8,040,000 円】

【決算額（自主）5,201,700 円】

（ア） 共済会員への「祝金」「見舞金」「弔慰金」の給付

祝 金	102 件	計 220 件
見 舞 金	42 件	
弔 慰 金	76 件	

（イ） 入学祝・継続会員記念品の贈呈

入学祝	125 件	計 491 件
5年継続	147 件	
10年継続	131 件	
20年継続	65 件	
30年継続	23 件	

7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他の機関等から受託する事業
【定款第4条（7）関係】

【重点取組事項】

- ・令和7年度から開始された大規模改修工事による制限下で施設を最大限に活用するため、利用者に対して丁寧な案内や掲示を行い満足度が向上した。
- ・「Pi0 周辺マップ」の名称を「Pi0 さんぽ」に改称し、利用者にとって親しみやすい冊子に変更を行った。また近隣の新規オープン店なども積極的に勧誘を行い掲載につなげ、区内経済の活性化を図った。
- ・大規模改修工事が円滑に進むよう、大田区をはじめとする関係者との連絡調整・準備業務を行った。

① 産業プラザ展示ホール等の管理運営

【当初予算額（利用料金） 145,786,000 円】

【決算額（利用料金） 122,745,243 円】

大田区産業プラザの指定管理者として、大手企業や学会を中心に産業プラザの紹介及び利用を促進する営業活動を行うことで、区内産業振興につながる MICE 誘致を行った。また、近隣や全国展示場連絡協議会に属する貸館との情報交換に努め、施設運営におけるさまざまな業務改善策を講じた。その他、施設の災害対策として、蒲田消防署と連携して大田区産業プラザ館内勤務者を対象とした消防訓練を行ったほか、防災センターをはじめとする館内勤務者の危機管理意識の向上を図った。



【イベントの様子】

令和7年度 産業プラザ施設利用状況

（ア）展示ホール

施設名	前 半 9:00～14:00		後 半 14:00～19:00		年間 利用率	年間 利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数		
	利用率		利用率			
大展示ホール	88	40	88	43	47.2%	38,147 人
	45.5%		48.9%			
小展示ホール	171	67	171	70	40.1%	22,884 人
	39.2%		40.9%			
合 計 (1)						61,031 人

(イ) コンベンションホール・会議室他

施設名	午 前		午 後		夜 間		利用率	利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数		
	利用率		利用率		利用率			
コンベンションホール	171	102	171	124	171	106	64.7%	54,887人
	59.6%		72.5%		62.0%			
A会議室	171	143	171	153	171	85	74.3%	9,525人
	83.6%		89.5%		49.7%			
B会議室	171	141	171	146	171	69	69.4%	9,688人
	82.5%		85.4%		40.4%			
C会議室	88	59	88	67	88	30	59.1%	6,029人
	67.0%		76.1%		34.1%			
D会議室	88	65	88	66	88	37	63.6%	8,569人
	73.9%		75.0%		42.0%			
E会議室	88	63	88	69	88	41	65.5%	3,414人
	71.6%		78.4%		46.6%			
F会議室	88	62	88	66	88	57	70.1%	2,376人
	70.5%		75.0%		64.8%			
G会議室	88	57	88	66	88	41	62.1%	2,603人
	64.8%		75.0%		46.6%			
特別会議室	301	202	301	224	301	109	59.2%	24,978人
	67.1%		74.4%		36.2%			
和 室	171	122	171	117	171	101	66.3%	5,672人
	71.3%		68.4%		59.1%			
					合 計 (2)			127,741人
					総合計 (1) + (2)			188,772人

施設利用収入状況

利用料金収入		74,641,968円
内 訳	・施設利用料：	34,734,717円
	・前年度収納分：	36,314,351円
	・駐車場利用料：	3,592,900円

② 施設貸与に伴う付加サービス事業

【当初予算額（自主）4,882,000 円】

【決算額（自主）2,653,212 円】

「イベントサポートガイド PiO 倶楽部」及び「PiO 周辺マップ」をそれぞれ刷新した。

「イベントサポートガイド PiO 倶楽部」の掲載企業を中心に協力関係を築き、MICE 誘致及び施設利用者の催事成功に向けてきめ細かなサポートを行った。

「PiO 周辺マップ」については、名称を「PiO さんぽ」に改称し、蒲田だけでなく PiO PARK 等の HiCity 訪問者をターゲットに羽田周辺も掲載を行った。



【大田区産業プラザ
Web サイトなど広報媒体】

③ 産業プラザ施設維持の管理運営

【当初予算額（受託）59,990,000 円】

【決算額（受託）41,940,155 円】

産業プラザは建築後 30 年が経過しており、協会では、受託業務の範囲での小破修繕工事を適切に実施した。また、令和 7 年度から始まった大規模改修工事の工事進捗を確認し、円滑に進むよう、関係者との連絡調整・準備業務を行った。

実施した維持補修等の工事

工事名	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 階便所詰まり除去（緊急） ・ 1 階男子トイレ排気ファン入替 ・ 防災センター防犯カメラ修理（緊急） ・ 1 階排煙装置修繕工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防設備点検による指摘箇所修繕 ・ 防災センターITV 設備既設レコーダー不具合修繕 ・ 1 階植栽部ブロック設置等 26 件

大田区が長期修繕計画等に基づき実施した工事等

工事名
令和 7 年度から開始の大規模改修年度のため、なし

◆理事会・評議員会

●理事会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第34条第1項に基づき、理事長が招集した理事会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

第1回	令和7年5月13日 出席理事 6人 欠席理事 0人 同席監事 1人	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度事業報告について 令和6年度決算について 令和7年度補正予算について 定時評議員会の開催について 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
第2回 ※	決議のあった日 令和7年6月6日 同意した理事 6人 同意した監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 代表理事である理事長の選定について 評議員選定委員の選任について
第3回 ※	決議のあった日 令和7年8月26日 同意した理事 6人 同意した監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 基本財産の運用について
第4回	令和7年11月19日 出席理事 6人 欠席理事 0人 同席監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 規程の改正について <ol style="list-style-type: none"> 評議員選定委員会に関する規程 職員の旅費に関する規程 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
第5回 ※	決議のあった日 令和7年12月9日 同意した理事 6人 同意した監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 公益財団法人大田区産業振興協会職員の給与等に関する規程の改正について
第6回	令和8年3月27日 出席理事 6人 欠席理事 0人 同席監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度事業計画及び収支予算について 規程の改正について <ol style="list-style-type: none"> 事務局の組織及び処務に関する規程 職員の給与等に関する規程 職員の退職手当に関する規程 非常勤職員規程 勤労者共済事業実施規程 役員賠償責任保険の契約更新について

※公益財団法人大田区産業振興協会定款第37条に基づき、決議を行った理事会である。

●評議員会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第 18 条に基づき、理事長が招集した評議員会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

臨時 評議員会 ※	決議のあった日 令和 7 年 4 月 8 日 同意した評議員 7 人	・役員（監事）の選任について
定時 評議員会	令和 7 年 5 月 29 日 出席評議員 6 人 欠席評議員 1 人 同席監事 2 人	・役員（理事）の選任について ・令和 6 年度事業報告について ・令和 6 年度決算の承認について

※公益財団法人大田区産業振興協会定款第 21 条に基づき、決議を行った評議員会である。

●評議員選定委員会

第 1 回	令和 7 年 4 月 16 日 出席委員 5 人 欠席委員 0 人	・評議員の選任について
第 2 回	令和 7 年 5 月 29 日 出席委員 4 人 欠席委員 1 人	・評議員の選任について
第 3 回	令和 7 年 6 月 24 日 出席委員 5 人 欠席委員 0 人	・評議員の選任について
第 4 回	令和 7 年 11 月 12 日 出席委員 5 人 欠席委員 0 人	・評議員の選任について

◆協会組織強化

●協会内研修

研修名	開催日	対象者	目的	参加人数
情報セキュリティ研修	4月1日 10月1日 (同内容開催)	新任職員等	協会のセキュリティについて学ぶ。	延べ5人
総務・ワークフロー研修	4月2日 10月2日 (同内容開催)	新任職員等	協会の基礎知識、会計、契約、文書、服務、規程等について学ぶ。	延べ5人
産業プラザ施設勉強会	4月2日 10月2日 (同内容開催)	新任職員等	産業プラザや施設の整備について学ぶ。	延べ5人
HANEDA×PiO 研修	4月3日 10月7日 (同内容開催)	新任職員等	HANEDA×PiO 施設を見学し、今後の事業展開について学ぶ。	延べ5人
協会職員研修	5月29日	協会職員	協会の設立目的や在り方など、協会の今後の展開について学ぶ。	32人
PiO 職員合同研修	6月2日	協会職員 (産業振興課職員ほか)	各担当から事業の今後の展開について学ぶ。	15人
官学連携人材育成講座 (東邦大学)	6月26日	協会職員	職場での熱中症対策や熱中症の現状と課題について学ぶ。	40人
理事長職員研修	10月17日	1、2年目協会職員	理事長から区の政策や財政の仕組みについて学ぶ。	14人
経済安全保障セミナー	12月2日	協会職員 (産業振興課職員)	技術搾取等の最新動向や手口を理解し、流出防止に向けた意識向上とリスク管理の重要性を学ぶ。	25人
個人情報保護研修	1月8日	協会職員	個人情報漏洩等による被害や影響について知り、個人情報保護の重要性について学ぶ。	54人
コンプライアンス研修	1月23日	協会職員	法律・規程の正しい理解を深めるとともに、ハラスメント事例を学ぶ。	延べ43人
情報セキュリティ研修	1月27日	協会職員	中小企業における情報セキュリティ対策を学ぶ。	31人
創業・中小企業支援研修	3月9日 3月10日	協会職員	創業者に寄り添う支援の考え方や実践的なスキル、他機関と連携する力などを学ぶ。	延べ22人

その他、職層研修等は大田区及び民間の開催する研修へ参加。

令和7年度

公益財団法人大田区産業振興協会

決算書

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日

目 次

1 財 務 諸 表

- (1) 貸 借 対 照 表 1
- (2) 正味財産増減計算書 2
- (3) 正味財産増減計算書内訳書 7
- (4) 財務諸表に対する注記 13
- (5) 付 属 明 細 書 15
- (6) 財 産 目 録 16
- (7) 監 査 報 告 書 20

貸借対照表

(令和8年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	207,168,405	266,732,352	△ 59,563,947
未収金	51,238,522	1,246,045	49,992,477
前払金	3,811,093	1,732,542	2,078,551
流動資産合計	262,218,020	269,710,939	△ 7,492,919
2 固定資産			
① 基本財産			
投資有価証券	500,000,000	500,000,000	0
基本財産合計	500,000,000	500,000,000	0
② 特定資産			
退職給付引当資産	7,502,962	4,125,036	3,377,926
運営資金等積立資産	88,075,705	92,541,555	△ 4,465,850
給付金等準備積立資産	49,154,622	46,416,990	2,737,632
産業プラザ修繕等準備積立資産	44,160,157	44,160,157	0
特定資産合計	188,893,446	187,243,738	1,649,708
③ その他固定資産			
車輛運搬具	213,217	396,917	△ 183,700
什器備品	3,300,005	3,300,008	△ 3
電話加入権	0	74,984	△ 74,984
出資金	10,000	10,000	0
保証金	150,000	0	150,000
その他固定資産合計	3,673,222	3,781,909	△ 108,687
固定資産合計	692,566,668	691,025,647	1,541,021
資産合計	954,784,688	960,736,586	△ 5,951,898
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	161,655,862	170,841,974	△ 9,186,112
未払消費税	0	2,375,200	△ 2,375,200
未払法人税等	70,000	70,000	0
預り金	1,741,584	1,697,773	43,811
前受金	45,139,108	36,888,601	8,250,507
賞与引当金	21,809,000	19,324,000	2,485,000
流動負債合計	230,415,554	231,197,548	△ 781,994
2 固定負債			
退職給付引当金	7,502,962	4,125,036	3,377,926
固定負債合計	7,502,962	4,125,036	3,377,926
負債合計	237,918,516	235,322,584	2,595,932
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	500,000,000	500,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(500,000,000)	(500,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	216,866,172	225,414,002	△ 8,547,830
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(181,390,484)	(183,118,702)	(△ 1,728,218)
正味財産合計	716,866,172	725,414,002	△ 8,547,830
負債及び正味財産合計	954,784,688	960,736,586	△ 5,951,898

正味財産増減計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	5,013,015	4,214,616	798,399
1 基本財産受取利息	5,013,015	4,214,616	798,399
② 特定資産運用益	468,177	365,007	103,170
1 特定資産受取利息	468,177	365,007	103,170
③ 事業収益	169,671,777	347,074,836	△ 177,403,059
1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業収益	740,000	535,000	205,000
(1) 産業情報受発信事業に関する収益	180,000	535,000	△ 355,000
(2) 30周年記念事業に関する収益	560,000	0	560,000
2 区内中小企業の経営支援に関する事業収益	2,040,500	1,909,600	130,900
(1) 中小企業情報化支援事業に関する収益	2,040,500	1,909,600	130,900
(2) 工場表彰制度事業に関する収益	0	0	0
3 区内中小企業の取引拡大支援事業に関する事業収益	31,595,020	30,917,970	677,050
(1) 受・発注相談事業に関する収益	580,800	492,000	88,800
(2) 海外取引相談事業に関する収益	51,500	88,150	△ 36,650
(3) 大田区加工技術展示商談会事業に関する収益	2,777,500	2,222,000	555,500
(4) 国内見本市への出展支援事業に関する収益	3,807,000	3,111,000	696,000
(5) 海外見本市への支店支援事業に関する収益	1,503,100	1,306,000	197,100
(6) 自主企画展示会事業に関する収益	228,500	2,205,500	△ 1,977,000
(7) 商い・サービス産業取引相談事業に関する収益	1,058,200	809,325	248,875
(8) 羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業に関する収益	21,588,420	20,683,995	904,425
4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業収益	1,725,542	1,721,286	4,256
(1) おしごとナビ大田区事業に関する収益	1,565,542	1,661,286	△ 95,744
(2) 中小企業次世代ものづくり人材育成事業に関する収益	20,000	0	20,000
(3) 若者と中小企業とのマッチング事業に関する収益	140,000	60,000	80,000
5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業収益	6,267,800	5,223,900	1,043,900
(1) 次世代産業創造事業に関する収益	2,420,000	1,989,900	430,100
(2) おおた研究・開発フェア事業に関する収益	3,847,800	3,234,000	613,800
6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業に関する収益	50,405,322	53,126,744	△ 2,721,422
(1) 共済掛金等の収益	23,359,300	23,841,200	△ 481,900
(2) 余暇活動等の収益	27,046,022	29,285,544	△ 2,239,522
7 産業プラザ展示ホール等の管理運営収益	76,897,593	253,640,336	△ 176,742,743
(1) 産業プラザ展示ホール等の管理運営収益 (利用料金制度対象)	74,641,968	248,197,733	△ 173,555,765
(2) 産業プラザ展示ホール等の管理運営収益 (施設貸与に伴う付加サービス対象)	2,255,625	5,442,603	△ 3,186,978

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
④ 補助金等収益	872,030,275	752,072,000	119,958,275
1 区補助金収益	763,937,000	698,037,000	65,900,000
(1) 事業費補助分	381,413,000	381,439,000	△ 26,000
(2) 運営費補助分	382,524,000	316,598,000	65,926,000
2 区受託事業収益	108,093,275	54,035,000	54,058,275
(1) 産業プラザ施設維持の管理運営業務受託料収益	59,990,000	54,035,000	5,955,000
(2) 産業プラザ展示ホール等の管理運営に係る補填金	48,103,275	0	48,103,275
⑤ 受取寄附金収益	600,000	1,350,000	△ 750,000
1 受取寄附金収益	600,000	1,350,000	△ 750,000
⑥ 雑収益	629,154	457,714	171,440
1 受取利息	590,594	195,760	394,834
2 受取配当金	4,360	4,217	143
3 雑収益	34,200	257,737	△ 223,537
経常収益計	1,048,412,398	1,105,534,173	△ 57,121,775

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常費用			
① 事業費	915,131,222	977,134,122	△ 62,002,900
報酬	78,466,043	82,114,562	△ 3,648,519
委員報酬	100,000	200,000	△ 100,000
給料手当	289,959,042	264,706,564	25,252,478
退職給付	2,432,543	0	2,432,543
福利厚生費	60,695,211	60,427,098	268,113
会議費	286,904	223,111	63,793
旅費交通費	8,477,073	8,168,287	308,786
通信運搬費	3,388,230	3,993,490	△ 605,260
消耗什器備品費	2,699,562	3,864,383	△ 1,164,821
消耗品費	8,713,756	11,951,381	△ 3,237,625
修繕費	14,095,969	22,240,147	△ 8,144,178
印刷製本費	6,943,560	10,440,776	△ 3,497,216
燃料費	91,881	109,333	△ 17,452
賃借料	30,549,578	26,880,705	3,668,873
情報使用料	18,466,730	13,132,010	5,334,720
保険料	1,077,214	1,225,686	△ 148,472
諸謝金	14,022,242	14,305,803	△ 283,561
租税公課	1,358,363	4,400,950	△ 3,042,587
負担金	17,992,804	110,300,555	△ 92,307,751
助成金	64,263,028	78,356,177	△ 14,093,149
委託費	236,402,811	201,212,740	35,190,071
宣伝広告費	5,344,653	9,054,965	△ 3,710,312
利用補助費	4,476,656	5,121,190	△ 644,534
施設利用券購入費	33,234,839	36,920,611	△ 3,685,772
給付金	5,201,700	4,909,700	292,000
渉外費	253,606	218,433	35,173
雑費	2,613,131	2,502,382	110,749
減価償却費	183,700	153,083	30,617
退職給付引当金繰入額	3,340,393	0	3,340,393
② 管理費	5,129,747	5,560,938	△ 431,191
委員報酬	20,000	20,000	0
役員報酬	420,000	560,000	△ 140,000
給料手当	3,257,966	3,371,337	△ 113,371
退職給付	27,332	0	27,332
福利厚生費	679,193	786,899	△ 107,706
会議費	79	4,224	△ 4,145
旅費交通費	1,365	960	405
通信運搬費	7,944	6,347	1,597
費用弁償	60,000	75,000	△ 15,000

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
消耗什器備品費	1,692	36,484	△ 34,792
消耗品費	17,628	33,629	△ 16,001
修繕費	2,870	88,446	△ 85,576
印刷製本費	1,467	1,023	444
燃料費	456	862	△ 406
賃借料	60,235	72,416	△ 12,181
情報使用料	160,545	116,191	44,354
保険料	7,466	9,664	△ 2,198
諸謝金	22,564	26,469	△ 3,905
租税公課	2,737	3,050	△ 313
負担金	191,616	196,498	△ 4,882
委託費	129,960	132,885	△ 2,925
宣伝広告費	6,346	3,094	3,252
渉外費	3,294	3,467	△ 173
雑費	9,459	11,991	△ 2,532
減価償却費	0	2	△ 2
退職給付引当金繰入額	37,533	0	37,533
③ 大田区返納金	129,527,172	127,549,137	1,978,035
1 区補助金分	111,477,327	75,958,544	35,518,783
(1) 事業費補助分	85,602,677	65,125,030	20,477,647
(2) 運営費補助分	25,874,650	10,833,514	15,041,136
2 区からの受託事業費	18,049,845	5,243,291	12,806,554
(1) 産業プラザ施設維持の管理運営費	18,049,845	5,243,291	12,806,554
3 産業プラザ利用料金分	0	46,347,302	△ 46,347,302
(1) 産業プラザ利用料金分	0	46,347,302	△ 46,347,302
経常費用計	1,049,788,141	1,110,244,197	△ 60,456,056
特定資産評価損益等	△ 7,097,100	△ 7,859,040	761,940
当期経常増減額	△ 8,472,843	△ 12,569,064	4,096,221

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	678,723	△ 678,723
① 退職給付引当金取崩額	0	678,723	△ 678,723
(2) 経常外費用	74,987	0	74,987
① 固定資産除却額	74,987	0	74,987
当期経常外増減額	△ 74,987	678,723	△ 753,710
当期一般正味財産増減額	△ 8,547,830	△ 11,890,341	3,342,511
一般正味財産期首残高	225,414,002	237,304,343	△ 11,890,341
一般正味財産期末残高	216,866,172	225,414,002	△ 8,547,830
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金等	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	0
III 正味財産期末残高	716,866,172	725,414,002	△ 8,547,830

正味財産増減計算書内訳書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計			
	公 1	小 計	収 1	他 1
	区内中小企業の振興 を図る事業			産業プラザの指定 管理に伴う付加 サービス事業
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用収益	3,342,010	3,342,010	0	0
基本財産運用収入	3,342,010	3,342,010	0	0
② 特定資産受取利息	347,137	347,137	0	121,040
特定資産運用収入	347,137	347,137	0	121,040
③ 事業収益	111,488,086	111,488,086	2,255,625	50,405,322
支援事業収入等	111,488,086	111,488,086	2,255,625	50,405,322
④ 受取補助金等収益	748,009,413	748,009,413	0	55,578,000
受取大田区補助金	703,577,000	703,577,000	0	55,578,000
受取大田区受託料	44,432,413	44,432,413	0	0
⑤ 受取寄附金	600,000	600,000	0	0
寄附金収入	600,000	600,000	0	0
⑥ 雑収益	629,154	629,154	0	0
雑収入	34,200	34,200	0	0
受取利息収入	590,594	590,594	0	0
受取配当金収入	4,360	4,360	0	0
経常収益計	864,415,800	864,415,800	2,255,625	106,104,362
(2) 経常費用				
事業費	757,924,377	757,924,377	2,658,734	103,248,660
報酬	78,466,043	78,466,043	0	0
委員報酬	0	0	0	100,000
給料手当	241,089,540	241,089,540	651,593	27,366,921
退職給付支出	2,021,449	2,021,449	5,466	229,588
福利厚生費	50,342,886	50,342,886	139,957	5,705,218
会議費	285,178	285,178	0	1,726
旅費交通費	8,367,199	8,367,199	0	69,368
通信運搬費	2,436,295	2,436,295	31,516	908,299
消耗什器備品費	1,945,628	1,945,628	0	14,215
消耗品費	6,097,318	6,097,318	31,382	412,919
修繕費	1,261,508	1,261,508		24,107

(単位：円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引 消去	合計
他2	他3	小計			
産業プラザの指定 管理に伴う公益目 的外貸出に伴う事 業	大田区産業プラザ 施設の維持・管理 業				
0	0	0	1,671,005		5,013,015
0	0	0	1,671,005		5,013,015
0	0	121,040	0		468,177
0	0	121,040	0		468,177
5,522,744	0	58,183,691	0		169,671,777
5,522,744	0	58,183,691	0		169,671,777
3,670,862	59,990,000	119,238,862	4,782,000		872,030,275
0	0	55,578,000	4,782,000		763,937,000
3,670,862	59,990,000	63,660,862	0		108,093,275
0	0	0	0		600,000
0	0	0	0		600,000
0	0	0	0		629,154
0	0	0	0		34,200
0	0	0	0		590,594
0	0	0	0		4,360
9,193,606	59,990,000	177,543,593	6,453,005		1,048,412,398
9,193,606	42,105,845	157,206,845			915,131,222
0	0	0			78,466,043
0	0	100,000			100,000
1,303,187	19,547,801	48,869,502			289,959,042
12,048	163,992	411,094			2,432,543
308,464	4,198,686	10,352,325			60,695,211
0	0	1,726			286,904
26,362	14,144	109,874			8,477,073
12,120	0	951,935			3,388,230
121,425	618,294	753,934			2,699,562
152,366	2,019,771	2,616,438			8,713,756
61,985	12,748,369	12,834,461			14,095,969

科 目	公益目的事業会計			
	公 1	小 計	収 1	他 1
印刷製本費	4,275,989	4,275,989	578,333	2,089,238
燃料費	31,290	31,290	0	3,831
賃借料	26,446,362	26,446,362	36,300	2,998,140
情報使用料	16,507,606	16,507,606	0	1,733,576
保険料	997,614	997,614	184	62,711
諸謝金	13,832,704	13,832,704	0	189,538
租税公課	700,964	700,964	0	22,992
負担金	15,709,647	15,709,647	90,000	2,181,575
助成金	64,263,028	64,263,028	0	0
委託費	212,605,908	212,605,908	1,081,696	15,000,982
宣伝広告費	5,291,345	5,291,345	0	53,308
利用補助費	0	0	0	4,476,656
施設利用券購入費	0	0	0	33,234,839
給付金	0	0	0	5,201,700
渉外費	225,940	225,940	0	27,666
雑費	1,761,831	1,761,831	4,800	824,274
減価償却費	183,700	183,700	0	0
退職給付引当金繰入額	2,777,405	2,777,405	7,507	315,273
管理費				
委員報酬				
役員報酬				
給料手当				
退職給付支出				
会議費				
福利厚生費				
旅費交通費				
通信運搬費				
費用弁償				
消耗什器備品費				
消耗品費				
修繕費				
印刷製本費				
燃料費				
賃借料				
情報使用料				
保険料				
諸謝金				

(単位：円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引 消去	合計
他2	他3	小計			
0	0	2,667,571			6,943,560
0	56,760	60,591			91,881
78,666	990,110	4,103,216			30,549,578
225,548	0	1,959,124			18,466,730
11,185	5,520	79,600			1,077,214
0	0	189,538			14,022,242
42,211	592,196	657,399			1,358,363
11,582	0	2,283,157			17,992,804
0	0	0			64,263,028
6,796,518	917,707	23,796,903			236,402,811
0	0	53,308			5,344,653
0	0	4,476,656			4,476,656
0	0	33,234,839			33,234,839
0	0	5,201,700			5,201,700
0	0	27,666			253,606
14,926	7,300	851,300			2,613,131
0	0	0			183,700
15,013	225,195	562,988			3,340,393
			5,129,747		5,129,747
			20,000		20,000
			420,000		420,000
			3,257,966		3,257,966
			27,332		27,332
			79		79
			679,193		679,193
			1,365		1,365
			7,944		7,944
			60,000		60,000
			1,692		1,692
			17,628		17,628
			2,870		2,870
			1,467		1,467
			456		456
			60,235		60,235
			160,545		160,545
			7,466		7,466
			22,564		22,564

科 目	公益目的事業会計			
	公 1	小 計	収 1	他 1
租税公課				
負担金				
委託費				
宣伝広告費				
渉外費				
雑費				
退職給付引当金繰入額				
大田区返納金	107,239,120	107,239,120	0	4,082,091
経常費用計	865,163,497	865,163,497	2,658,734	107,330,751
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 747,697	△ 747,697	△ 403,109	△ 1,226,389
特定資産評価損益等	0	0	0	△ 2,631,250
当期経常増減額	△ 747,697	△ 747,697	△ 403,109	△ 3,857,639
2. 経常外増減の部				
経常外収益				
退職給付引当金取崩額				
経常外費用				
固定資産除却額				
法人税、住民税及び事業税				
当期経常外増減額				
他会計振替額	0	0		
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高				
II 指定正味財産増減の部				
受取寄附金等	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高				

(単位：円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引 消去	合計
他2	他3	小計			
			2,737		2,737
			191,616		191,616
			129,960		129,960
			6,346		6,346
			3,294		3,294
			9,459		9,459
			37,533		37,533
0	17,884,155	21,966,246	321,806		129,527,172
9,193,606	59,990,000	179,173,091	5,451,553		1,049,788,141
0	0	△ 1,629,498	1,001,452		△ 1,375,743
0	0	△ 2,631,250	△ 4,465,850		△ 7,097,100
0	0	△ 4,260,748	△ 3,464,398		△ 8,472,843
					0
					0
					74,987
					74,987
					0
					△ 74,987
					0
					△ 8,547,830
					225,414,002
					216,866,172
0	0	0	0		0
					0
					500,000,000
					500,000,000
					716,866,172

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

その他の有価証券

・時価のあるもの・・・決算日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・・・・・・定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・・・ 職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、賞与支給見込額のうち、当事業年度の負担額を計上している。

退職給付引当金・・・・ 職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	500,000,000	0	0	500,000,000
小 計	500,000,000	0	0	500,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	4,125,036	3,377,926	0	7,502,962
運営資金等積立資産	92,541,555		4,465,850	88,075,705
給付金等準備積立資産	46,416,990	7,368,882	4,631,250	49,154,622
産業プラザ修繕等準備積立資産	44,160,157	0	0	44,160,157
小 計	187,243,738	10,746,808	9,097,100	188,893,446
合 計	687,243,738	10,746,808	9,097,100	688,893,446

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
投資有価証券	500,000,000	500,000,000	0	0
小 計	500,000,000	500,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	7,502,962	0	0	7,502,962
運営資金等積立資産	88,075,705	0	88,075,705	
給付金等準備積立資産	49,154,622	0	49,154,622	
産業プラザ修繕等準備積立資産	44,160,157	0	44,160,157	
小 計	188,893,446	0	181,390,484	7,502,962
合 計	688,893,446	500,000,000	181,390,484	7,502,962

- 5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車 輛 運 搬 具	550,000	336,783	213,217
什 器 備 品	4,194,280	894,275	3,300,005
合 計	4,744,280	1,231,058	3,513,222

- 6 満期保有目的の債券の内容並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内容並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	時 価	評価損益
基本財産			
東海東京証券 第5回群馬県公募公債(20年)	100,000,000	94,120,000	△ 5,880,000
野村証券 第185回地方公共団体金融機構債券	100,000,000	89,664,400	△ 10,335,600
SMBC日興証券 大阪府公募公債 第430回	100,000,000	97,490,000	△ 2,510,000
SMBC日興証券 第69回東京電力パワーグリッド	100,000,000	91,940,000	△ 8,060,000
東京都公募公債(東京グリーン・ブルーボンド)第9回	100,000,000	97,720,000	△ 2,280,000
合 計	500,000,000	470,934,400	△ 29,065,600

※すべて満期時における元本が保証されている円建ての債券である。

- 7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金(事業費, 運営費)	東京都大田区	0	763,937,000	763,937,000	0	-
合 計		0	763,937,000	763,937,000	0	

- 8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常外収益への振替額	該当なし

付 属 明 細 書

- 1 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表の注記に記載

- 2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	19,324,000	21,809,000	19,324,000	0	21,809,000
退職給付引当金	4,125,036	3,377,926	0	0	7,502,962

財 産 目 録
(令和8年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
【流動資産】			
現 金	手許保管	運転資金として	722,241
" (共済口)	勤労共済手許保管		36,100
" (施設口)	予約センター手許保管		509,620
普通預金	みずほ銀行 蒲田支店	運転資金として	128,767,534
	" 共済		6,881,523
	" 施設使用料		53,591,725
	" 給料		766,073
	" 給油・ETC		60,062
	" 産業施設		0
	" 国補助		0
	" 退職金口		11,022
	三菱UFJ銀行 蒲田支店		761,092
	さわやか信用金庫 東糞谷支店		3,075,016
	中央労金 蒲田支店		5,196,052
	共立信用組合 蒲田支店		5,779,279
	城南信用金庫 蒲田支店		1,001,055
	芝信用金庫 蒲田支店		10,011
未収金	勤労者共済事業	収納代行料	473,750
	羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業収入	PiO PARK利用料	1,370,427
	産業プラザ管理運営経費	施設利用料	48,103,275
	消費税中間納付還付		1,025,700
	その他		265,370
前払金	年会費等(スーパーマーケット協会他)	令和8年度分	2,104,260
	新聞購読料	"	130,010
	郵券等購入費等	"	621,249
	勤労者共済事業施設利用券購入等	"	609,400
	保険料金	"	66,790
	その他	"	279,384
流動資産合計			262,218,020

(単位：円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
【固定資産】			
(基本財産)	第5回群馬県公募公債(20年)		100,000,000
	第185回地方公共団体金融機構債券	公益目的保有財産であり、運用益を各中小企業支援に係る事業等の財源として使用	100,000,000
	大阪府公募公債 第430回		100,000,000
	第69回東京電力パワーグリッド		100,000,000
	第9回東京都公募公債		100,000,000
(特定資産)			
退職給付引当資産	みずほ銀行 蒲田支店 普通預金	退職金の支払に備えた引当資産	7,502,962
	みずほ銀行 蒲田支店 定期預金	退職金の支払に備えた引当資産	0
運営資金等積立資産	共立信用組合 蒲田支店 定期預金	運営資金として保有し運用益を各中小企業支援に係る事業等の財源として使用	24,185,285
	第157回利付国債20年		40,100,800
	第179回利付国債20年		13,789,620
	芝信用金庫 蒲田支店 定期預金		10,000,000
給付金等準備積立資産	第157回利付国債20年	勤労者共済事業の給付金等の支出に備え保有し運用益を勤労共済事業の財源として使用	40,100,800
	さわやか信金 東糞谷支店 普通預金		9,053,822
産業プラザ修繕等準備積立資産	みずほ銀行 蒲田支店 定期預金	大田区産業プラザの修繕等に備え保有し、運用益を各中小企業支援に係る事業の財源として使用	14,160,157
	共立信用組合 蒲田支店 定期預金		30,000,000
車輛運搬具	たためる電動バイク		213,217
什器備品	美術品・書「山の湖」	寄付により受け入れた大田区産業プラザ利用者サービスに供する書	2,500,000
	美術品・書「養浩」		800,000
	その他備品		5
保証金	旅行業営業保証金		150,000
出資金	中央労働金庫		10,000
固定資産合計			692,566,668
資産合計			954,784,688

(単位：円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
【流動負債】			
未払金	明細は別紙「未払金内訳書」による		161,655,862
未払消費税			0
未払法人税等			70,000
預り金	源泉徴収所得税	令和8年3月分	779,855
	特別徴収住民税	〃	847,000
	その他		114,729
前受金	大田区産業プラザ施設等利用料金等	令和8年度分	44,959,108
	その他	〃	180,000
賞与引当金		賞与の支払いに備えた引当金	21,809,000
流動負債合計			230,415,554
【固定負債】			
退職給付引当金		退職金の支払いに備えた引当金	7,502,962
固定負債合計			7,502,962
負債合計			237,918,516
正味財産			716,866,172

令和7年度未払金内訳書

内 容		金 額
1	大田区返納金	129,527,172
2	大田区産業プラザ 運営補助委託3月分	3,758,507
3	勤労者共済事業施設利用券購入費等	2,745,120
4	職員社会保険料	2,584,785
5	次世代産業創造事業 相談員報酬3月分	2,115,798
6	職員退職金	1,832,404
7	PiO PARK サポート業務委託料3月分	1,796,025
8	「活躍人材育成プログラム」実施業務委託	1,705,000
9	大田区産業プラザ 会場設営委託料3月分	1,534,843
10	ものづくり取引促進事業 相談員報酬3月分	1,889,419
11	PiO PARK ホームページ保守料	995,500
12	創業者支援事業 創業相談員報酬3月分	903,250
13	大田区産業プラザ 建物管理経費3月分	850,812
14	海外取引相談事業 海外ビジネス相談員報酬3月分	818,527
15	大田区産業振興協会 Webサイトページ運用保守業務委託	696,300
16	職員人件費等3月分	831,926
17	創業者支援事業 特定創業者支援動画作成委託	495,000
18	人財育成・確保事業「おしごとナビ大田区」掲載データ作成委託	483,992
19	ビジネスサポート支援協力者支援謝礼3月分	362,997
20	中小企業情報化支援事業 デザイン相談員報酬3月分	360,250
21	共済会会報「ふれあい」発送業務委託	303,160
22	勤労者福祉事業 給付金3月分	290,000
23	次世代産業事業パンフレット作成	239,800
24	商い活性化コーディネータ報酬3月分	211,727
25	PiO PARK電気料金負担額3月分	204,234
26	大田区産業振興協会事務所内電話配線工事	201,850
27	勤労者福祉事業 システム改委託	195,800
28	大田区産業振興協会サーバクラウドランニング費用	188,356
29	会報「ふれあい」5月号制作業務委託	177,870
30	その他99件	3,355,438
合 計		161,655,862

監 査 報 告 書

令和8年5月12日

公益財団法人大田区産業振興協会

理事長 川野正博様

監事 安岡大作

監事 西山正人

私たち監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度における理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告書について、検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類等及びその附属明細書並びに財産目録等について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 組織の運営及び事業は、経営理念に則り、各種規程を遵守し適切に執行されているものと認めます。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当協会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) その他

大田区の所管部局とより十分な連携を図り、さらに事業の効率化に努めてください。

以上

令和 8 年 度

公益財団法人大田区産業振興協会

事業計画書 及び 収支予算書

自 令和 8 年 4 月 1 日

至 令和 9 年 3 月 31 日



公益財団法人大田区産業振興協会

目 次

- 1 基本方針 P. 1
- 2 事業計画 P. 2～15
- 3 収支予算書 P. 16
- 4 資金調達及び設備投資の見込みについて・・ P. 23

記載上の注意事項

●公益認定事業区分

(1) 公益目的事業

区内中小企業の振興を図る事業

(2) 収益事業等

〔1〕収益事業

施設貸与に伴う付加サービス事業

〔2〕その他の事業（相互扶助等事業）

区内中小企業勤労者の福祉向上を図る事業

大田区産業プラザの公益目的外貸与事業

大田区産業プラザ施設の維持・管理

●予算額の記入例

無印 … 事業予算額

(補) … 事業予算額のうち区補助金充当額

(利) … 利用料金収入で対応する事業の予算額

(委) … 区等からの委託料で対応する事業の予算額

※予算額は、人件費及び事業管理費を除いた事業費分のみを記載。

基本方針

設立 30 年を経て(公財)大田区産業振興協会は、これまで培ってきた産業者の皆様との信頼関係と支援実績を礎に、令和 8 年度も次代への飛躍と共創の広がり大切に、着実に歩みを進めてまいります。また、大幅な組織改正を実施し、大田区実施計画に掲げる「豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち」の実現に向け、区内産業の持続的な成長と地域経済の活性化に取り組みます。あわせて、関係機関との連携を一層強化し、継続的な取引や新たな価値創出につながる支援を推進してまいります。

総務部は、総務・コンプライアンス機能を強化するとともに、企画広報係を設置します。社会経済動向や区内産業のニーズを踏まえた事業企画・調整を担い、協会の取組や区内産業の魅力を効果的に発信し、透明性と戦略性の高い組織運営を推進します。

商いサービス部は、従来の展示会に加え、新たな展示会への共同出展を通じて、販路開拓とビジネスチャンスの拡大を推進します。1 階 PiO フロントでは、区内企業の IT 化促進や勤労者共済事業のデジタル化を進め、利用者の利便性と職員の業務効率の向上を図ります。

産業者支援部は、国内・海外の取引支援を統合し、一体的かつ戦略的な支援体制を構築します。国内見本市の出展支援では、機械要素技術展への共同出展を再開し、商談機会の創出やフォローアップを充実させ、区内企業の販路拡大と競争力向上を後押しします。また、MICE(施設・催事)・観光係を統合し、施設管理と事業運営のスキルを融合させた体制を整備することで、職員の専門性向上と施設活用の高度化を図り、利用者満足度と事業効果の最大化を目指します。

そして、羽田イノベーション推進部は、PiO PARKの利用促進とスタートアップ支援機能の強化のため、イノベーション係を統合し、スタートアップ支援体制の一元化と機動力の向上を進めます。企業の成長段階に応じた伴走支援と交流機会を創出し、イノベーション創出拠点としての情報発信と機能向上を推進します。

私たち大田区産業振興協会は、今後も「現場」から「世界一」の産業都市を目指し、循環型社会の実現に向けて、区内産業者とともに新たな価値を創造し、区内産業の成長と地域経済の活性化に全力で取り組んでまいります。

事業計画

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

第1号事業 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業

区内産業者の高度な技術力や特徴等をPRし、大田区産業の持つ魅力を幅広く情報収集・発信するほか、協会が実施する各種事業やサービスの紹介、産業プラザをはじめ産業振興の拠点となる産業支援施設について、協会 Web サイトや公式 LINE「OTA デジタル×PiO」など、さまざまな情報手段を用いて区内外へPRする。

[事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和8年度の 具体的な取組(内容)	予算額(千円) 及び対象等
<p>産業情報受発信事業 協会事業および区内事業者に関する情報発信を積極的に行い、協会事業の認知向上、区内事業者へ先進的な取り組みや積極的な事業展開、DX化等への関心・意識の向上を促進する。Webサイトや公式X、公式 LINE「OTA デジタル×PiO」等を活用し、産業施策、協会、区等の施策の案内だけでなく企業成長やシティプロモーションにつながる最新の情報を適宜、発信する。</p> <p>(ア) 事業案内の作成・配布 協会事業・取組を紹介する事業案内を作成し、周知を図る。</p> <p>(イ) 協会 Web サイトの更新 協会 Web サイトについて解析ツールを活用して、随時更新・改善をおこなっていく。</p> <p>(ウ) 産業情報コンテンツの発信(テクノプラザ) 製造業を中心とした取組事例等を協会Webサイト上で公開し、幅広い層に速報性の高い情報提供を図り、アクセス数を増加させる。</p>	<p>Webサイト・SNS やプレスリリース配信サービスを活用し、区内産業者向けだけでなく全国の企業や一般消費者にも区内外の有益な産業情報を発信する。</p> <p>(ア) 事業案内の刷新 (イ) Web サイト解析ツールを活用した更新・改善 (ウ) 取引拡大、人材確保等における先進的な取組事例等を紹介する他、有益な情報をタイムリーに発信する。</p>	<p>5,225 (補) 5,045</p> <p>区内産業者 及び勤労者、 一般消費者等</p>
計		<p>5,225 (補) 5,045</p>

第2号事業 区内中小企業の経営支援に関する事業

区内産業者の経営基盤の強化や創業促進等に向けて、経営状況の段階に応じた情報提供や相談、助成を行い、幅広くサポートする。また、優れた工場に対する表彰を行うことによって、経営革新の促進やチャレンジ精神の醸成を図り、区内産業の維持発展を図る。

[事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和8年度の具体的な取組(内容)	予算額(千円)及び対象等
1 中小企業情報化支援 区内産業者のWebサイトをはじめとした各種PRツールの作成を支援する「PiOデザイン工房」により、自社製品やサービスのPRを促進する。	創業者支援事業の利用者にデザイン工房の利用を促すなど、特に小規模事業者が情報発信力を高められるサービス案内を積極的に行う。	5,602 (補) 3,061 区内産業者
2 ビジネスサポートサービス (ア) ビジネスサポート相談 経営改善、販路開拓、技術・生産性の向上、知的財産の活用、事業承継などに取組む区内産業者に対し、各分野の専門家を派遣する。 (イ) PiOフロント 大田区産業プラザの総合相談窓口として、区内産業者に有益な情報を提供するほか、産業プラザに所在する各支援機関の専門的な相談窓口への橋渡しなど、必要な支援を受けるためのコーディネートを行う。	(ア) IT化をはじめとした新たな挑戦を行う区内産業者の利用促進を目指し、関係支援機関等へ広報周知を行う。 (イ) 産業プラザの各団体をはじめとした支援メニューの把握により、利用者や相談者へ適切な案内を行う。	7,480 (補) 7,480 (ア)、(イ) 区内産業者
3 新規チャレンジ支援プログラム(旧銘店への道事業) 新たな挑戦や価値の創出に取り組む商業事業者への支援を行うことで、経営基盤の拡充や販路拡大を図り、成長へとつなげる。	事業周知及び職員によるフォローを強化し、申請者の増加を図る。	9,976 (補) 9,976 区内商業事業者
4 創業者支援事業 区内で創業を希望する方や創業後間もない方に対して、専門相談員による助言や動画講座等を通じて、創業に必要な知識の習得と初期課題の解決を支援する。	創業者の経営の安定及び区内定着を図るため、創業後の個別フォローや創業者同士の交流機会の提供を行う。	12,649 (補) 12,649 区内で創業しようとする者
5 スタートアップ支援 アイデアを有するスタートアップ企業と、そのアイデアを形にする区内企業が連携・協業することで、社会課題の解決や区内企業の受発注の拡大を促進するとともに、ハードウェアスタートアップが集積するまちを目指す。 (ア) ユナイト助成 区内へのスタートアップ企業の立地促進を行うとともに、スタートアップ企業が区内企業に対し試作等を依頼・発注する際に係る経費の3分の1もしくは2分の1(上限100万円もしくは上限50万)を助成する。 (イ) ベンチャーピッチ 創業者や新規事業部門の方などに対し、ピッチイベントの場を提供し、VC・CVCなどとのマッチングを促進する。 (ウ) スタートアップ誘致 東京に拠点づくりを目指す国内外のスタートアップ	(ア) スタートアップ企業よりの区内発注を促進させるとともに、HANEDA×PiO登録企業をはじめ、ベンチャーフレンドリーな区内企業や六郷BASE入居企業に対して、積極的に周知し、申請者数の増加を図る。 (イ) Meet New Solution in OTAなどのイベントと連携することで、登壇者及びオーディエンス参加者の増加を図る。 (ウ) 東京イノベーションベース(TIB 有楽町)をはじめ	25,836 (補) 25,670 (ア)、(イ) スタートアップ企業または創業予定者で、大田区内の企業に試作を依頼・発注する者。 (ウ) 区外のスタートアップ企業 (エ) 区内外のスタートアップ企業及び町工場等

<p>企業向けに、大田区の利便性や支援制度の充実、さらにはものづくりフレンドリーといった強みをアピールすることで、区内への誘致を図り、区内産業のイノベーションを促す。</p> <p>(エ) Meet New Solution in OTA 区内外のスタートアップ・ベンチャー企業等による、社会的課題解決に資する新製品・新サービス等を展示する。展示をきっかけに、製造業をはじめ VC・金融機関など幅広い分野から人が集まり、様々な「出会い」が生まれることで、さらなるイノベーションの創出を目指す。</p> <p>(オ) スタートアップ展示会への共同出展 スタートアップ展示会に区内スタートアップ企業複数社と共同出展することで、「ベンチャーフレンドリーなまち大田区」を国内外に効果的に発信し、区内へのスタートアップ企業の誘致や新たなビジネス案件の獲得等につなげる。</p> <p>(カ) スタートアップ支援人材の育成 起業家やスタートアップ企業を支援する専門家「インキュベーションマネージャー(IM)」養成研修を受講し、専門知識や実践的スキルを習得することで、PiO PARKをはじめ区内インキュベーション施設に入居している企業への支援力を強化する。</p> <p>(キ) 社会連携コーディネーター認定 羽田 PiO を主要拠点とした新事業創出やスタートアップと区内ものづくり企業の連携など、地域産業活性化に向け活動する社会連携コーディネーター認定事業を運営する。</p>	<p>め、大学・関係機関などで出張相談会を開催し、大田区への立地を促進する。</p> <p>(エ) 令和 8 年度も東京都との関係強化を図るため、TIB で開催する。また、全国の自治体間連携を促進し、スタートアップ企業の出展数を増やす。</p> <p>(オ) アジア最大級のスタートアップ展示会「スシテック」への共同出展を行う。</p> <p>(カ) インキュベーションマネージャー(IM)養成研修を受講し、専門知識や実践的スキルの向上を図る。</p> <p>(キ) スタートアップ支援に造詣の深い大学や専門機関などと連携し、地域密着型の金融機関職員や自治体職員、協会職員を社会連携コーディネーターとして認定する。</p>	
<p>6 工場表彰制度 人に優しい、まちに優しい、経営や技術に優れた工場を「優工場」に認定し、その中で特に優秀な工場を表彰する。この認定・表彰を通じて、区内ものづくり産業に従事する人のやりがい、ものづくりの喜びの一助とするとともに、区内町工場の優秀性を内外に PR し、大田区工業の振興に寄与する。</p>	<p>優工場の新規申請を掘り起こすため、認定工場のニーズを踏まえて内外に対する周知方法について検討し、認定工場数の増加促進を図る。</p>	<p>4,787 (補) 4,787 区内の工場</p>
計	<p>66,330 (補) 63,623</p>	

第3号事業 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業

大田区産業の柱である「ものづくり」をはじめ、商い・サービス業に対して、職員・専門相談員等による支援を行う。また、おたイチ推しマルシェによる自主企画展示会、各種商談会を実施するほか、国内外の見本市への出展等を支援することで、ビジネスチャンス拡大へのサポートを行い、地域産業の活性化を図る。

[事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和8年度の具体的な取組(内容)	予算額(千円)及び対象等
<p>1 受・発注相談 区内中小企業の取引を促進するため、国内外からの受・発注あっせん相談に対応可能な専門の相談員を配置し、適切な区内中小企業の紹介を行うとともに、幅広く商談機会を提供する。</p> <p>(ア) 相談業務 技術連携相談員による受・発注のあっせん相談、区内中小企業への巡回訪問を行う。</p> <p>(イ) 発注開拓 職員、技術連携相談員が大手・中堅企業の企画・開発部門等へ積極的にアプローチし、発注案件の開拓を行う。</p> <p>(ウ) 受・発注商談会 新規顧客開拓・情報交換の場として、大田区の製造業者を中心に全国の発注企業と受注企業が一堂に会する商談会を開催する。(年1回)</p> <p>(エ) 出張型商談会 国内外の企業や団体に対して、区内企業の技術力や製品・新技術・新工法等を紹介・提案する機会を設け、区内企業の取引拡大や新規事業分野への進出を図る。</p> <p>(オ) 利益追求セミナー 適切な価格転嫁を実現するために、原価管理体制の整備や原価を根拠とした価格交渉のノウハウを構築し、「稼ぐ力」の向上を図るためのセミナーを実施する。</p>	<p>(ア) 高付加価値案件に対応可能な区内企業の発掘など区内中小企業への巡回訪問に注力し、最新の状況を把握する。また、「試作」・「開発」・「加工」等、受・発注相談と親和性の高いキーワードを用いてリスティング広告を実施・強化することで、相談件数の増加及び事業認知度の向上を図る。</p> <p>(イ) 企業訪問・出張相談会に加え、機械要素技術展・テクノフロンティア共同出展の来場者リストを最大限に有効活用しながら発注開拓を進め、区内中小企業の取引機会を創出する。</p> <p>(ウ) 協会に蓄積した企業データベースの活用や、今年度より共催予定の世田谷区等共催機関との連携により、発注企業の参加を増やす。また、東京商工会議所主催の受・発注商談会において受注相談もを行い、相乗効果を狙う。</p> <p>(エ) 自動車関連企業及び関連団体への事前のニーズ調査を実施することで、より効果的な展示商談会に繋げる。</p> <p>(オ) 東京都中小企業振興公社が実施する価格交渉支援事業及び原価管理支援事業とも連携・協力しながら実施する。</p>	<p>33,064 (補) 32,316</p> <p>区内外の中小企業</p>
<p>2 海外取引相談事業 区内中小企業の海外取引拡大のワンストップ窓口として個別課題に対応する。</p> <p>(ア) 窓口・訪問相談 貿易実務や売買契約等、国際ビジネス全般に関する</p>	<p>(ア) 区内中小企業の国際化推進に向けた窓口・訪問相談や、勉強会などを通じた海外取引に必要な情報提供等を強化</p>	<p>24,733 (補) 24,550</p> <p>区内中小企業</p>

<p>る相談業務を行う。職員及び専門相談員が助言するほか、国内外の公的機関とのネットワークを駆使して区内中小企業の課題やニーズに対応する。</p> <p>(イ) 国際連携の推進 海外市場の開拓を行うとともに、国内においても各国の出先機関との連携強化を図る。 また、グローバルビジネス勉強会及び海外セミナーを通じて各国の市場性、投資環境などの情報や発注案件を区内中小企業に提供する。同時に国際化に向けた区内中小企業間の連携関係を構築する。</p> <p>(ウ) 外国語文書翻訳・海外企業信用調査 区内中小企業の企業カタログ、マニュアル、契約書等の翻訳サービスを行う。また、取引開始時に貴重な判断材料となる外国企業の信用調査をサポートする。</p> <p>(エ) 海外向け PR 強化支援 区内中小企業の海外向け PR 支援を行う。また、製品・技術を海外市場に向けて発信するため、英文の企業ガイドを作成し、Web上で展開してプロモーションを行う。</p> <p>(オ) 国際ビジネス商談会の実施 海外ビジネスパーソンの来日時にタイムリーに開催する。</p> <p>(カ) 海外企業・機関誘致 東京に拠点づくりを目指す海外企業・機関に、大田区の利便性や支援制度の充実、製造業の集積などの強みをアピールすることで、区内への立地を促す。</p>	<p>する。</p> <p>(イ) 各国関係機関等との連携を通じ、特に欧米台湾及び ASEAN との取引拡大に注力する。</p> <p>(ウ) 新規利用企業増加に向けて、各種サービスの PR を強化する。</p> <p>(エ) 英文企業ガイドの新規掲載企業の募集を強化する。</p> <p>(オ) 主に欧米台湾及び ASEAN の企業・機関の来訪時に区内中小企業との商談機会を創出する。</p> <p>(カ) ハードウェア系の海外企業の立地による区内中小企業との成約を目指す。</p>	
<p>3 大田区加工技術展示商談会 区内中小製造業の約8割を占める 10 人以下の企業のうち、加工を専門とする企業の技術力を全国の大手・中堅企業に PR し、取引成立を目指す展示商談会を開催する。(年1回)</p>	<p>受注機会の拡大とともに、最先端の加工技術(AM 技術等を予定)を来場者に触れてもらう企画展示を実施する。また、出展者に向けた出展実践セミナー及び大規模展示会の視察・見学ツアーの開催を行う。</p>	<p>19,640 (補) 16,890 区内中小企業</p>
<p>4 国内見本市への出展支援 区内中小企業が開発・製造した優秀な製品や優れた技術力の PR 及び取引促進機会の拡大を目的に、全国規模の展示会に出展するための支援を行う。</p> <p>(ア) 展示会への共同出展 主に首都圏で開催される大規模展示会に区内企業とともに共同出展することで、大田区のものづくりを PR するとともに、区内中小企業への発注案件・開発案件の獲得等、取引促進機会の拡大につなげる。また、受・発注相談等、当協会の事業周知につなげる。</p> <p>(イ) 新製品・新技術コンクール受賞企業 褒賞出展 新製品・新技術コンクールに受賞した企業に向け、各種展示会への出展支援を行うことにより受賞企業の販路拡大や取引促進機会の拡大につなげる。</p>	<p>(ア) 機械要素技術展とテクノフロンティアへの共同出展を行う。また、共同出展ブースについては、工数削減や周知の強化、環境等の観点から、両展示会共通の装飾とする。</p> <p>(イ) 受賞企業(9社)が希望する展示会への出展サポートなどの後方支援とともに、各種相談等の伴走支援も行い企業の取引拡大を目指す。</p>	<p>31,374 (補) 22,889 区内中小企業</p>

<p>5 海外見本市への出展支援 区内中小企業が有する技術・製品のニーズが見込まれる海外見本市に区内中小企業と共同で出展する。海外からの取引機会を促進するほか、見本市会場にて区内産業全体をPRする。</p>	<p>欧州地域の見本市に出展する。海外市場開拓を目指す企業を増やすため、海外見本市に新規出展する企業を積極的に支援する。</p>	<p>12,274 (補) 10,995 区内中小企業</p>
<p>6 自主企画展示会 おおたイチ押しマルシェ 大田区内の商店を集め、多くの人が集まる場所でマルシェを開催し、各出店事業者の販路拡大とともに、地域の賑わいを創出する。</p>	<p>地域の商店街やイベントとのコラボによる集客の強化や、ワークショップを取り入れた企画などにより各マルシェの魅力を高めていく。</p>	<p>3,453 (補) 3,101 区内商業事業者及び一般区民</p>
<p>7 商い・サービス産業取引相談 商業事業者の経営改善・取引促進のため、対面での相談や成長を促すプログラムの実施、情報発信を行う。</p> <p>(ア) 相談業務 商業事業者の経営課題、経営環境の改善等に対して専門相談員による相談や情報提供を行い、商業活動の活性化を図る。</p> <p>(イ) 大田区次世代商人～あきない成長プログラム～ 現役の経営者などを講師に迎え、受講者である商業事業者に対して全体講義・個別講義を実施し、経営者としての成長を促す。加えて、展示会などのイベントへの参加を支援することで実践的な知見・経験の獲得も後押しする。</p> <p>(ウ) 商業の魅力発信 大田区の商業・個店の魅力をより広く伝え、大田区のイメージ向上及び店舗への集客向上を図る。</p> <p>(エ) デジタルを活用した情報発信 LINE 公式アカウント「商いPiO」を活用して協会からの情報提供・案内を行い、事業メニューの利用を促す。</p>	<p>(ア) 取引促進等のための相談のほか、協会事業と親和性のある商業事業者に対しては事業への参加を積極的に促し、新たな販路開拓等に取り組む事業者の増加を図る。</p> <p>(イ) 学ぶことの習慣化及び実践の場を広げるため、プログラムの受講期間を数カ月程度延長する。</p> <p>(ウ) 大田区出身の著名人によるコラムや区内商業者の動画をウェブ上で展開する他、テーマを絞り個性的な店舗を集めたマップを作成するなど、多くの人に大田区商業をアピールする。</p> <p>(エ) 区内事業者にタイムリーな情報を発信するとともに、利用者登録数を増加させる。</p>	<p>12, 830 (補) 12, 830 区内商業事業者</p>
<p>8 商業系イベント事業 大田区企業限定の展示商談会を開催することで、商業事業者の成長・販路開拓を後押しする。加えて、多数のバイヤーが集まる展示会へ事業者と共同出展することで、参加事業者の負担を減らしつつ、BtoB の商談、販路開拓を促進する。</p> <p>(ア) フード展示商談会 in 大田 区内食品関連事業者を集め、展示商談会を開催することで、大手食品関係者・バイヤーとの商談・取引を創出する。</p> <p>(イ) 東京インターナショナル・ギフト・ショー 国内有数のギフト関係の展示会に大田区企業と共に出展することで、出展企業の雑貨やアイデア商品の販路拡大・マーケティングを促進する。</p>	<p>(ア) より多くの商談を創出するため、来場バイヤー数の増加、個別マッチングの促進を図る。</p> <p>(イ～エ) 出展の成果を最大化するため、準備段階から展示会に向けての啓発セミナーを実施することに加え、展示会終了後、フォローメールのテンプレートの提供などを行う。</p>	<p>15, 225 (補) 13, 893 区内の食品事業者</p>

<p>(ウ)スーパーマーケット・トレードショー 食品関係のバイヤーが多数集まる国内最大級の「食」に関する展示会。区内食品関連事業者と共同で出展することで、多様な商談の創出、販路拡大を促進する。</p> <p>(エ)通販食品展示商談会 通信販売・EC、宅配で販売する食品に特化した展示商談会に出展し、通販・EC 事業に取り組む商業事業者の効率的な取引促進を支援する。</p>		
<p>9 羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業 PiO PARK (ピオパーク)のPR活動や管理・運営を通じて、区内外の企業・機関の利用促進や連携強化等を行い、イノベーションを推進する。</p> <p>(ア) PiO PARK の利用促進 コワーキング、イベント及びショーケーシングの管理・運営、HP等、様々な広報手段を活用し、施設利用を促進するためのプロモーションを行う。</p> <p>(イ) 協会や区が主催するイベントの運営・支援 HANEDA共創プラットフォームや各種セミナーなど、PiO PARK でイベントを積極的に開催し、利用者やテナント企業との連携を促進する。</p> <p>(ウ) 利用者に対する支援 羽田の立地および大田区の産業特性を活かした日本全体のものづくりニーズへ対応する場所の提供、職員や専門相談員による助言や関係先の紹介及びビジネスマッチングを通じ、利用者の経営的成長と満足度向上につなげる。</p> <p>(エ) 区外企業・機関との連携促進 PiO PARK を接点に、区内企業(当施設利用者含む)と区外企業、イベント開催によって培った大学や各種機関等との連携を活性化させ、大田区の産業集積との相乗効果創出を図り、産業の高度化につなげる。</p>	<p>(ア) 従前の取組に加えて利用者同士が交流できる機会を設けるなど利用促進を強化する。</p> <p>(イ) 協会や区が主催するイベントに加えて、連携先によるイベントなどを行うことで、将来新たなビジネスを担う若手人材等、幅広い利用者層にアプローチしていく。</p> <p>(ウ) 協会が常駐しているメットを活かし、協会のネットワーク(区内企業や区外支援機関、大学、海外機関等)の紹介や区、都、国レベルのサービスを紹介するなど、利用者への支援を行い、PiO PARK から新ビジネスが創出されることを目指す。また、月額利用者の事業進捗等を定期的にヒアリングし、支援を行う。</p> <p>(エ) PiO PARK のショーケーシングエリアの活用拡大を進める。協会各部署によるマッチング成果の発表の場として活用するほか、区内企業の新事業創生に向けて大学との連携及びコラボ展示を進めていく。</p>	<p>37, 358 (補) 21, 347</p> <p>区内外の企業及び一般区民</p>
計		<p>189, 951 (補) 158, 811</p>

第4号事業 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業

区内中小企業の持続・発展の鍵となる後継者や若手人材の育成・確保を行う。若手人材育成では、高専と連携した教育を展開し、技術の底上げを目指す。人材確保では Web サイトやイベントを通じて採用への支援を行うほか、多様な働き方の広がりや踏まえ、内職希望者のあっせんにも注力する。

[事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和8年度の具体的な取組(内容)	予算額(千円)及び対象等
<p>1 おしごとナビ大田区 インターネット上に、区内中小企業の求人情報と企業PRを発信する場を提供し、登録掲載企業の求人活動を支援する。</p> <p>求人情報サイト「おしごとナビ大田区」の管理運営</p>	<p>TOP ページでの特集や求職者向けイベント・支援等の情報を随時更新し、サイトの魅力度を高め、応募者数ならびに登録企業数の向上を図る。また、サイト構成及びデザイン、保守契約等全面的に見直し、閲覧者の流入数、操作性及び回遊性を高める。</p>	<p>4,453 (補) 2,529</p> <p>区内の企業及び一般の求職者</p>
<p>2 中小企業次世代ものづくり人材の育成事業 区内中小企業の中核となるものづくり人材の育成と、高校生の区内産業への関心を高める支援を行う。</p> <p>(ア) 都立産業技術高等専門学校との連携 都立産業技術高等専門学校の教授陣による講座の開催により、区内中小企業の人材育成を行う。学校施設を使った講座の他に、講師を企業に派遣する出張型の出前講座を実施する。</p> <p>(イ) 産業人材育成事業 区内にある高等学校の生徒に職業観の醸成を促し、併せて区内への就職につながるような取組を行う。</p>	<p>(ア) メルマガや工業団体などへのチラシの配布等により、区内中小製造業に広く事業を周知し、研修制度等未整備の企業の参加を促すことにより、区内中小製造業の人材育成体制強化を推進する。</p> <p>(イ) 各産業界の経営者の講話や見学・体験によって、産業課題について考察することにより、高等学校生徒の区内企業や産業への理解を深める。</p>	<p>6,615 (補) 6,515</p> <p>(ア) 区内中小企業の従業員 (イ) 区内高等学校生徒</p>
<p>3 若者と中小企業とのマッチング事業 企業の後継者・若手人材の確保に向け、若者の動向把握、働きがいのある環境の整備、自社の強み・弱み分析等による区内企業の採用・定着ビジョンの明確化及び自社の魅力発信を推進する。</p>	<p>ワークショップ、個別面談、合同企業説明会等のマッチングイベント、振り返りセミナー等を組み合わせた総合的な人材確保支援を行う。</p>	<p>2,773 (補) 2,653</p> <p>区内中小企業及び若手を中心とした求職者</p>

<p>4 +WORK(旧内職あっせん・相談)事業 区内の求職者及び求人企業を対象として、内職の相談・あっせんを行う。</p> <p>(ア) あっせん相談 協会事務所での常設窓口の設置の他、ハローワーク大森での出張相談(偶数月に1回)を実施</p> <p>(イ) 求人開拓 内職作業を発注する求人企業の新規開拓を行うとともに既存発注企業に対し、さらなる発注を促し、案件の増を図る。</p> <p>(ウ) 普及啓発用印刷物の作成 求職者に向けた募集パンフレットを作成し、求職者の登録を促す。</p>	<p>(ア) 求人企業及び求職者のオンライン化、データベース化を進め、マッチング率を高める。</p> <p>(イ) 付加価値があり、単価の高い内職作業を発注する企業の出展が見込まれる展示会へ直接来場し、求人開拓を行う。また、羽田で開催する超専門技術ミニ展示会に出展ブースを設けることで、効果的なPRを行う。</p> <p>(ウ) 子育て世代の求職者に事業の認知と具体的な活用につなげるため、区立の児童館を中心に配布する。</p>	<p>611 (補) 611</p> <p>区内中小企業及び区民一般</p>
計		<p>14, 452 (補) 12, 308</p>

第5号事業 区内中小企業の技術開発支援に関する事業

区内中小企業が時代に即した技術開発を行えるように、産学、医工及び企業間連携などを推進する。

区内産業の競争力が向上するよう、情報提供、助成、セミナーや展示会の開催など相互交流による支援を行う。各種事業を通じて、産業クラスター(新事業・新産業が創出される状態)の形成や、技術の高度化、開発力の向上に資する。

[事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和8年度の 具体的な取組(内容)	予算額(千円) 及び対象等
<p>1 新製品・新技術開発支援事業</p> <p>(ア) トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成 区内中小企業が新たな付加価値を産み出す取組を後押しするため、市場調査及び試作開発費用の一部を助成する。</p> <p>(イ) 新製品・新技術コンクール 区内中小企業が開発した優秀な新製品・新技術を表彰するとともに、受賞製品技術の販路拡大等支援を行う。</p>	<p>(ア)(イ) 共通 協会Webサイトや産業情報誌への掲載、工場アパートや区内金融機関窓口等でのチラシ配布により事業PRを行う。また、技術連携相談員と連携し、試作品開発案件に対する本事業活用の促進や巡回訪問時等における事業PR等に積極的に取り組む。併せて、申請手続きの電子化を進め、ペーパーレス化および事務手続きの効率化に取り組む。</p> <p>(ア) 開発ステップアップ助成および実用化・製品化助成については、採択予定件数を増やすとともに、市場化につながる案件の採択拡大を図る。</p> <p>(イ) 六郷BASEやKOCA、innoba大田等、区内の各種インキュベーション施設への周知を強化する。また、開発ステップアップ助成及び実用化・製品化助成の採択企業に対して本コンクールへの応募を促し、段階的な支援の流れを構築することで、企業の販路拡大を後押しする。</p>	<p>76,975 (補) 76,975</p> <p>区内中小企業</p>

<p>2 次世代産業創造・産業クラスター形成事業 区内中小企業に親和性が見込める産業分野を中心に次世代産業への参入と新事業・新産業が創出される状態の実現に資する事業を実施する。</p> <p>(ア) 区内の研究開発型企业及び協会サービスに関する情報の発信 大学等研究開発機関の開発ニーズと区内中小企業の技術とのマッチングを促進するため、連携事例集の発行を行う。</p> <p>(イ) 産学公相談 区内中小企業の新製品・新技術開発における課題を、産学連携相談や大学・研究機関等との連携により事業化できるようマッチングを行う。</p> <p>(ウ) オープン・イノベーションマッチング 大学等研究開発機関や大手企業の開発ニーズを捉え、区内中小企業とのマッチングを推進することにより、区内中小企業の新産業、次世代産業への参入の機会提供を行う。</p> <p>(エ) 各種セミナー・ワークショップの開催 区内企業の先端産業分野に対する知識向上、対応力醸成するために、各種テーマを設定したセミナー・ワークショップを行う。 想定テーマは、レアアース泥開発、ライフサイエンス・ヘルスケア、ロボティクス、次世代モビリティ、環境・海洋プラスチックごみ、農工連携、危機管理、意匠デザイン等。</p> <p>(オ) 新産業分野の展示会への出展 次世代産業分野を中心に出展し、区内中小企業の技術力をPRするとともに、将来的に産業クラスターの形成につながる研究開発型案件を獲得する。また、来場者や出展企業と交流を図り、オープンイノベーションの実施に繋げる。</p>	<p>(ア) 展示会・イベントや企業訪問などで積極的にPRする。</p> <p>(イ) おおた研究・開発フェアにおける事前マッチングや大学・研究機関や開発企業への訪問を実施することで区内中小企業とのマッチングを図る。</p> <p>(ウ) 宇宙分野・医療機器分野・AM技術(アディティブマニファクチャリング)分野などの企業や研究機関などとオープンイノベーション実施を図る。</p> <p>(エ) レアアース泥開発、宇宙、ライフサイエンス・ヘルスケア、AM技術(アディティブマニファクチャリング)などをテーマとしたセミナー・ワークショップを実施し、先端産業分野に対する知識・対応力の向上を図る。</p> <p>(オ) 「メディカルクリエーションふくしま」に出展し、研究開発型案件の獲得を図りつつ、来場者や出展企業と交流を深め、オープンイノベーションの実施に繋げる。</p>	<p>37, 955 (補) 34, 688</p> <p>区内中小企業及び大学等研究機関・医療機関及び公的機関</p>
<p>3 おおた研究・開発フェア 開発した技術の使い途や共同研究先を探す出展者と技術革新を目指す来場者との出会いの場を提供する。これにより「産学」「産産」連携や、「技術移転」等への展開を通して新たなイノベーション創出に繋げる。</p>	<p>「大田区 × 次世代産業」を軸としたテーマ型の展示構成とし、レアアース泥開発、宇宙・航空、医療・ヘルスケア、次世代ものづくり(AM)、脱炭素・SDGs関連技術等の分野に整理することで、区内企業が自社との関連性を理解しやすい展示を行う。また、職員および技術連携相談員による相談対応やマッチング支援を行うことで、展示会をきっかけとした継続的な連携や事業化につなげる。</p>	<p>19,345 (補) 15,231</p> <p>区内中小企業及び大学等研究機関・医療機関及び公的機関</p>
<p>計</p>		<p>134, 275 (補) 126, 894</p>

第6号事業 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業

区内中小企業が個別に取り組むことが難しい福利厚生サービスを協会が事務局となって実施する。勤労者共済制度を基盤として、事業主及び勤労者の健康維持や余暇の有意義な活用を目的とした事業や、慶弔見舞金などの給付金事業など、各種事業を実施する。

[事業区分:全細事業ともその他事業]

細事業名及び事業概要	令和8年度の具体的な取組(内容)	予算額(千円)及び対象等
<p>1 加入促進事業</p> <p>(ア) 勤労者共済事業の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> 勤労者共済事業紹介パンフレット類の制作 会報誌の発行やHP等による情報発信 加入促進及び会員の満足度向上につながる企画の実施 <p>(イ) 会費管理と事業参加・給付状況把握及び加入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 会員の事業利用状況の把握及び給付申請促進 会員募集パンフレット類の配布や促進員及び職員の訪問勧奨による加入促進 	<p>(ア)・(イ) 共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 勤労者共済事業全体のさらなるデジタル化を進め、会員の利便性向上や職員の業務効率化を図るため、令和9年度稼働予定である共済の基幹となる新システムの開発・構築を進める。 会員が即座に共済情報入手できるLINE公式アカウントの利用を促すため、窓口や会報で案内していく。 会員増強を図るため、共済制度の魅力をつかりやすく伝える会員募集パンフレットを作成・活用し、引き続き加入促進活動を展開する。 	<p>26, 145 (補) 17, 229</p> <p>区内中小企業事業主及び勤労者・共済会員</p>
<p>2 福利厚生事業</p> <p>(ア) 健康の維持増進に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間ドック、インフルエンザ予防接種の補助 公衆浴場、スポーツセンター、区営プールの割引 <p>(イ) レクリエーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> バスツアーの利用補助 <p>(ウ) 宿泊補助と生涯学習利用に関する割引</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定宿泊施設の利用補助 指定教室や通信教育の割引等 <p>(エ) 契約施設等の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> レジャー施設の利用補助 区内指定店、デパートの割引あっせん <p>(オ) 区内店舗等の利用補助</p> <ul style="list-style-type: none"> 協会事業の参加店舗等の利用補助や割引 <p>(カ) 各種チケットの割引あっせん</p> <ul style="list-style-type: none"> 映画・スポーツ観戦・観劇・コンサート類チケット、プリペイドカード、食事券等の割引あっせん 	<p>(ア)～(カ)共通</p> <p>共済会員の健康増進及び福利厚生の充実を目的として、以下の取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間ドックの契約内容を見直すとともに、契約医療機関の拡充を図る。 ベネフィット・ワンのトライアル契約を締結し、次年度の本格導入の可否を検討する。 地域との連携による各種セミナーやイベント等を開催する。 	<p>50, 893 (補) 0</p> <p>共済会員</p>
<p>3 給付事業</p> <p>(ア) 共済会員への「祝金」「見舞金」「弔慰金」の給付</p> <ul style="list-style-type: none"> 祝金 — 結婚・銀婚・金婚、20歳、出生等 見舞金 — 入院、障害、住宅火災等 弔慰金 — 会員、家族死亡等 <p>(イ) 共済会員への「祝品」(継続祝、子の小・中学校入学祝)の贈呈</p>	<p>(ア)・(イ) 共通</p> <p>デジタル商品券の導入やキャッシュレス(口座振替)による給付を進める等会員の利便性向上を図る。</p>	<p>7, 740 (補) 0</p> <p>共済会員</p>
計		<p>84, 778 (補) 17, 229</p>

第7号事業 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他の機関等から受託する事業

大田区産業プラザの指定管理者として顧客満足度を高め、MICE 誘致の推進により区内産業振興の拠点として地域に貢献する。計画修繕により施設の更新とグレードアップを図り、利用者の利便性及び満足度の高い施設を提供する。

[事業区分:公益目的事業、収益事業及びその他事業]

細事業名及び事業概要	令和8年度の具体的な取組(内容)	予算額(千円)及び対象等
<p>1 産業プラザ展示ホール等の管理運営 [公益目的事業及びその他事業]</p> <p>大田区産業プラザ条例に定める施設管理について指定管理者(利用料金制度による)として、区内の産業振興に繋がる利用を促進するとともに、産業プラザの認知と集客力を高め、幅広い交流や情報交換の場を提供する。</p> <p>【指定管理期間】 令和4年4月1日～令和9年3月31日 ※今年度は、指定管理期間の最終年度 ※令和7年4月～令和9年10月まで大規模改修予定</p>	<p>刷新した予約システムの周知を進め、web による予約比率を高める。</p> <p>部分竣工後に、順次貸出しが再開されているため、混乱を避け、更新された設備が十分に活用されるよう丁寧に説明を行う。</p>	<p>(利)124,733</p> <p>区内外の企業及び一般区民</p> <p>※利用者の使用目的により公益目的事業とその他事業に区分</p>
<p>2 施設貸与に伴う付加サービス事業 [収益事業]</p> <p>大田区産業プラザの管理代行業務の実施に際し、区条例等に定めのないサービスを付加することで施設の利用者の利便性向上と利用促進を図る。</p> <p>(ア) 周辺マップ 来館者に、食事や宿泊、ショッピングなどの情報を紙面及びデジタルで提供することで、近隣の事業者・店舗への誘客を促し、地域産業の活性化につなげていく。</p> <p>(イ) PiO倶楽部 MICE誘致を推進するため、各種会議・イベントをサポートする事業者の紹介冊子である「PiO倶楽部(ケータリング・弁当・ホテル等の事業者を掲載)」を積極的にPRし、利用者の多種多様な要望にオールインクルーシブで対応する。</p>	<p>(ア) 産業プラザ来館者が手に取り、昼食時などの飲食店選びを容易にできるよう「周辺」情報の掲載を強化する。また、お土産などは対象エリアを拡大し、区内全域への経済波及効果を狙う。</p> <p>(イ) MICE誘致に必要な不可欠な掲載事業者との協力関係を築くと共に、新たな掲載事業者を募ることで、利用者の多種多様な要望にきめ細かく対応できる内容に拡充する。また、宿泊施設やケータリング等の紹介を強化することで、自主収入増に努める。</p> <p>(ア)、(イ)ともにWEB申込フォーム等を導入し、掲載事業者の手続き負担を軽減する。また、施設利用者への新たな付加価値を提供する機会として、区内回遊(観光)への仕組みづくりを進める。</p>	<p>(自)4,861</p>

<p>3 産業プラザ施設維持の管理運営 [その他事業]</p> <p>大田区産業プラザ等の施設維持管理業務受託者(区契約)に対し、協会は管理監督業務を受託する。貸館部分の管理代行と合わせてより効率的な業務運営に努める。また、施設・設備の劣化状況を把握し、計画的な小規模修繕を実施することで、施設の長寿命化に努める。</p>	<p>小破修繕工事を適切に実施するとともに、大規模改修が円滑に進むよう、東京都をはじめ関係者との連絡調整等を行い、区を全面的にサポートする。</p>	<p>(委) 60,079</p>
計		<p>189, 673</p> <p>うち</p> <p>(利) 124, 733</p> <p>(自) 4, 861</p> <p>(委) 60, 079</p>

公益財団法人大田区産業振興協会

令和8年度収支予算書

[正味財産増減計算ベース]

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	4,215,000	3,865,000	350,000
② 特定資産運用益	465,000	400,000	65,000
③ 事業収益	170,393,000	209,183,000	△ 38,790,000
④ 受取補助金等収益	924,959,000	860,069,000	64,890,000
⑤ 受取寄附金	10,000	10,000	0
⑥ 雑収益	400,000	400,000	0
経常収益計	1,100,442,000	1,073,927,000	26,515,000
(2) 経常費用			
事業費	1,100,428,000	1,081,556,000	18,872,000
管理費	8,016,000	5,675,000	2,341,000
大田区返納金		0	0
経常費用計	1,108,444,000	1,087,231,000	21,213,000
当期経常増減額	△ 8,002,000	△ 13,304,000	5,302,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
指定正味財産からの振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,002,000	△ 13,304,000	5,302,000
一般正味財産期首残高	218,025,000	231,329,000	△ 13,304,000
一般正味財産期末残高	210,023,000	218,025,000	△ 8,002,000
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	0
III 正味財産期末残高	710,023,000	718,025,000	△ 8,002,000

令和8年度 収支予算書内訳書

令和8年度 収支予算書

科 目	公益目的事業会計		収 1 産業プラザの指定管理に伴う付加サービス事業	他 1 区内中小企業勤労者の福祉向上を図る事業
	公 1 区内中小企業の振興を図る事業	小 計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用収益	2,811,000	2,811,000	0	0
基本財産運用収益	2,811,000	2,811,000	0	0
② 特定資産受取利息	0	0	0	100,000
特定資産運用収益	0	0	0	100,000
③ 事業収益	100,686,000	100,686,000	4,637,000	58,722,000
支援事業収入等	100,686,000	100,686,000	4,637,000	58,722,000
④ 受取補助金等収益	787,378,000	787,378,000	0	64,227,000
受取大田区補助金	732,252,000	732,252,000	0	64,227,000
受取大田区受託料	55,126,000	55,126,000	0	0
⑤ 受取寄附金	10,000	10,000	0	0
寄附金収益	10,000	10,000	0	0
⑥ 雑収益	400,000	400,000	0	0
雑収益	140,000	140,000	0	0
受取利息収益	250,000	250,000	0	0
受取配当金収益	10,000	10,000	0	0
経常収益計	891,285,000	891,285,000	4,637,000	123,049,000
(2) 経常費用				
事業費	891,648,000	891,648,000	4,011,000	132,217,000
報酬	89,966,000	89,966,000		
委員報酬	0	0		220,000
給料手当	260,593,000	260,593,000	699,000	31,706,000
退職給付費用	7,021,000	7,021,000	19,000	854,000
福利厚生費	60,215,000	60,215,000	162,000	7,326,000
会議費	1,125,000	1,125,000		3,000
旅費交通費	9,036,000	9,036,000		96,000
通信運搬費	3,565,000	3,565,000	20,000	1,171,000
消耗什器備品費	11,857,000	11,857,000		232,000
消耗品費	10,133,000	10,133,000	603,000	698,000
修繕費	4,508,000	4,508,000	110,000	335,000
印刷製本費	6,641,000	6,641,000	986,000	2,874,000
燃料費	111,000	111,000		14,000

〔正味財産増減計算ベース〕

(単位：円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
他2	他3	小計			
産業プラザの指定管理に伴う公益目的外貸出に伴う事業	大田区産業プラザ施設の維持・管理				
0	0	0	1,404,000		4,215,000
0	0	0	1,404,000		4,215,000
0	0	100,000	365,000		465,000
0	0	100,000	365,000		465,000
6,348,000	0	69,707,000	0		170,393,000
6,348,000		69,707,000	0		170,393,000
6,125,000	60,079,000	130,431,000	7,150,000		924,959,000
0	0	64,227,000	7,150,000		803,629,000
6,125,000	60,079,000	66,204,000	0		121,330,000
0		0	0		10,000
0	0	0			10,000
0	0	0	0		400,000
0	0	0	0		140,000
0	0	0	0		250,000
0	0	0	0		10,000
12,473,000	60,079,000	200,238,000	8,919,000		1,100,442,000
12,473,000	60,079,000	208,780,000			1,100,428,000
		0			89,966,000
		220,000			220,000
1,998,000	17,216,000	51,619,000			312,212,000
54,000	464,000	1,391,000			8,412,000
462,000	3,978,000	11,928,000			72,143,000
		3,000			1,128,000
86,000	17,000	199,000			9,235,000
33,000		1,224,000			4,789,000
1,083,000		1,315,000			13,172,000
452,000	3,098,000	4,851,000			14,984,000
165,000	31,021,000	31,631,000			36,139,000
12,000		3,872,000			10,513,000
	57,000	71,000			182,000

科 目	公益目的事業会計		収 1	他 1
	公 1	小 計		
賃借料	30,889,000	30,889,000	37,000	3,352,000
情報使用料	23,098,000	23,098,000		2,581,000
保険料	1,223,000	1,223,000	1,000	74,000
諸謝金	21,120,000	21,120,000		318,000
租税公課	3,186,000	3,186,000		105,000
負担金	18,262,000	18,262,000		2,944,000
助成金	88,900,000	88,900,000		
委託費	232,024,000	232,024,000	1,371,000	20,183,000
宣伝広告費	5,176,000	5,176,000		37,000
利用補助費	0	0		6,425,000
施設利用券購入費	0	0		41,151,000
給付金	0	0		7,740,000
渉外費	348,000	348,000		45,000
雑費	2,467,000	2,467,000	3,000	1,733,000
減価償却費	184,000	184,000		
管理費				
役員報酬				
給料手当				
退職給付費用				
福利厚生費				
会議費				
旅費交通費				
通信運搬費				
費用弁償				
消耗什器備品費				
消耗品費				
修繕費				
印刷製本費				
燃料費				
賃借料				
情報使用料				
保険料				
諸謝金				
租税公課				
負担金				
委託費				
宣伝広告費				
渉外費				
雑費				
大田区返納金		0		
経常費用計	891,648,000	891,648,000	4,011,000	132,217,000

(単位：円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
他2	他3	小計			
108,000	672,000	4,169,000			35,058,000
349,000		2,930,000			26,028,000
15,000	6,000	96,000			1,319,000
0		318,000			21,438,000
265,000	2,247,000	2,617,000			5,803,000
13,000		2,957,000			21,219,000
	0	0			88,900,000
7,317,000	1,294,000	30,165,000			262,189,000
28,000	0	65,000			5,241,000
	0	6,425,000			6,425,000
	0	41,151,000			41,151,000
	0	7,740,000			7,740,000
	0	45,000			393,000
33,000	9,000	1,778,000			4,245,000
					184,000
			8,016,000		8,016,000
			680,000		680,000
			4,825,000		4,825,000
			130,000		130,000
			1,115,000		1,115,000
			16,000		16,000
			3,000		3,000
			8,000		8,000
			102,000		102,000
			35,000		35,000
			45,000		45,000
			47,000		47,000
			4,000		4,000
			2,000		2,000
			113,000		113,000
			332,000		332,000
			11,000		11,000
			49,000		49,000
			16,000		16,000
			240,000		240,000
			209,000		209,000
			6,000		6,000
			7,000		7,000
			21,000		21,000
		0			0
12,473,000	60,079,000	208,780,000	8,016,000		1,108,444,000

科 目	公益目的事業会計		収 1	他 1
	公 1	小 計		
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 363,000	△ 363,000	626,000	△ 9,168,000
当期経常増減額	△ 363,000	△ 363,000	626,000	△ 9,168,000
2.経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額				
指定正味財産からの振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高				
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取寄附金等	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
Ⅲ 正味財産期末残高				

(単位：円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
他2	他3	小計			
0	0	△ 8,542,000	903,000		△ 8,002,000
0	0	△ 8,542,000	903,000		△ 8,002,000
0	0	0	0		0
0	0	0	0		0
0	0	0	0		0
					△ 8,002,000
					218,025,000
					210,023,000
0	0	0	0		0
0	0	0	0		0
					0
					500,000,000
					500,000,000
					710,023,000

公益財団法人大田区産業振興協会

令和 8 年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合はその借入先等を記載する。

借入れの予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業 番号	借入先	金額	使途		

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容を記載する。

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途		

